

【表紙】

| | |
|------------|---|
| 【提出書類】 | 有価証券報告書 |
| 【提出先】 | 関東財務局長殿 |
| 【提出日】 | 2025年6月9日提出 |
| 【計算期間】 | 第49期(自 2024年9月11日至 2025年3月10日) |
| 【ファンド名】 | 三菱UFJ スタイルセレクト・グロースファンド 三菱UFJ スタイルセレクト・バリューファンド 三菱UFJ スタイルセレクト・ブレンドファンド BWマネープールファンド |
| 【発行者名】 | 三菱UFJアセットマネジメント株式会社 |
| 【代表者の役職氏名】 | 取締役社長 横川 直 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区東新橋一丁目9番1号 |
| 【事務連絡者氏名】 | 伊藤 晃 |
| 【連絡場所】 | 東京都港区東新橋一丁目9番1号 |
| 【電話番号】 | 03-4223-3037 |
| 【縦覧に供する場所】 | 該当事項はありません。 |

第一部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

- 「三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド」
- 「三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド」
- 「三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド」

当ファンドは、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。

- 「BWマネーパールファンド」

当ファンドは、安定した収益の確保を目的とした運用を行います。

信託金の限度額は、各ファンドについて、1兆円です。

* 委託会社は、受託会社と合意のうえ、信託金の限度額を変更することができます。

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会が定める商品の分類方法において、以下の商品分類および属性区分に該当します。

商品分類表

- 「三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド」
- 「三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド」
- 「三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド」

| 単位型・追加型 | 投資対象地域 | 投資対象資産 (収益の源泉) | 独立区分 | 補足分類 |
|---------|----------|-------------------|-------|------------|
| 単位型 | 国内 | 株式 | M M F | インデックス型 |
| | | 債券 | | |
| | | 不動産投信 | | |
| | 海外 内外 | その他資産 () | M R F | 特殊型 () |
| | | 資産複合 | | |
| | | | | |

「BWマネーパールファンド」

| 単位型・追加型 | 投資対象地域 | 投資対象資産 (収益の源泉) | 独立区分 | 補足分類 |
|---------|----------|-------------------|-------|------------|
| 単位型 | 国内 | 株式 | M M F | インデックス型 |
| | | 債券 | | |
| | | 不動産投信 | | |
| | 海外 内外 | その他資産 () | M R F | 特殊型 () |
| | | 資産複合 | | |
| | | | | |

属性区分表

- 「三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド」
- 「三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド」

「三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド」

| 投資対象資産 | 決算頻度 | 投資対象地域 | 投資形態 | 為替ヘッジ | 対象インデックス | 特殊型 |
|------------------------------|--------------|-------------------------------------|--------------|-------|----------|---------------------|
| 株式 | 年1回 | グローバル | ファミリーファンド | あり() | 日経225 | ブル・ベア型 |
| 一般 | 年2回 | 日本 | | | | |
| 大型株 | 年4回 | 北米 | | | TOPIX | 条件付運用型 |
| 中小型株 | 年6回 (隔月) | 欧州 アジア | ファンド・オブ・ファンズ | なし | その他() | ロング・ショート型 / 絶対収益追求型 |
| 債券 | 年12回 (毎月) | オセアニア 中南米 アフリカ 中近東 (中東) | | | | その他() |
| 一般 | 日々 | その他 | | | | |
| 公債 | | | | | | |
| 社債 | | | | | | |
| その他債券 | | | | | | |
| クレジット | | | | | | |
| 属性 | | | | | | |
| () | | | | | | |
| 不動産投信 | | | | | | |
| その他資産 (投資信託証券 (株式 一般)) | | | | | | |
| 資産複合 | | | | | | |
| () | | | | | | |

「BWマネーパールファンド」

| 投資対象資産 | 決算頻度 | 投資対象地域 | 投資形態 | 為替ヘッジ | 対象インデックス | 特殊型 |
|--------|--------------|-------------------------------------|--------------|-------|----------|---------------------|
| 株式 | 年1回 | グローバル | ファミリーファンド | あり() | 日経225 | ブル・ベア型 |
| 一般 | 年2回 | 日本 | | | | |
| 大型株 | 年4回 | 北米 | | | TOPIX | 条件付運用型 |
| 中小型株 | 年6回 (隔月) | 欧州 アジア | ファンド・オブ・ファンズ | なし | その他() | ロング・ショート型 / 絶対収益追求型 |
| 債券 | 年12回 (毎月) | オセアニア 中南米 アフリカ 中近東 (中東) | | | | その他() |
| 一般 | 日々 | その他 | | | | |
| 公債 | | | | | | |
| 社債 | | | | | | |
| その他債券 | | | | | | |
| クレジット | | | | | | |
| 属性 | | | | | | |
| () | | | | | | |
| 不動産投信 | | | | | | |
| その他資産 | | | | | | |
| () | | | | | | |
| 資産複合 | | | | | | |
| () | | | | | | |

当ファンドが該当する商品分類・属性区分を網掛け表示しています。商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人投資信託協会のホームページ(<https://www.toushin.or.jp/>)でご覧いただけます。

ファミリーファンド、ファンド・オブ・ファンズに該当する場合、投資信託証券を通じて投資収益の源泉となる資産に投資しますので商品分類表と属性区分表の投資対象資産は異なります。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

商品分類の定義

| | | |
|---------|-----|--|
| 単位型・追加型 | 単位型 | 当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われないファンドをいいます。 |
| | 追加型 | 一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ、従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。 |

| | | |
|--------|----------------------|--|
| 投資対象地域 | 国内 | 信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| | 海外 | 信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| | 内外 | 信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| 投資対象資産 | 株式 | 信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| | 債券 | 信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| | 不動産投信（リート） | 信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| | その他資産 | 信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式、債券および不動産投信以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| | 資産複合 | 信託約款において、株式、債券、不動産投信およびその他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| 独立区分 | MMF（マネー・マネジメント・ファンド） | 一般社団法人投資信託協会が定める「MRF及びMMFの運営に関する規則」に規定するMMFをいいます。 |
| | MRF（マネー・リザーブ・ファンド） | 一般社団法人投資信託協会が定める「MRF及びMMFの運営に関する規則」に規定するMRFをいいます。 |
| | ETF | 投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号および第2号に規定する証券投資信託ならびに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいいます。 |
| 補足分類 | インデックス型 | 信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。 |
| | 特殊型 | 信託約款において、投資家（受益者）に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。 |

上記定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したもので

属性区分の定義

| | | | |
|--------|-------|------|---|
| 投資対象資産 | 株式 | 一般 | 次の大型株、中小型株属性にあてはまらない全てのものをいいます。 |
| | | 大型株 | 信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいいます。 |
| | | 中小型株 | 信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいいます。 |
| | 債券 | 一般 | 次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらない全てのものをいいます。 |
| | | 公債 | 信託約款において、日本国または各国の政府の発行する国債（地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含みます。以下同じ。）に主として投資する旨の記載があるものをいいます。 |
| | | 社債 | 信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいいます。 |
| | その他債券 | | 信託約款において、公債または社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいいます。 |

| | | |
|--------|--------------|--|
| | クレジット属性 | 目論見書または信託約款において、信用力が高い債券に選別して投資する、あるいは投資適格債（B B B格相当以上）を投資対象の範囲とする旨の記載があるものについて高格付債、ハイイールド債等（B B格相当以下）を主要投資対象とする旨の記載があるものについて低格付債を債券の属性として併記します。 |
| | 不動産投信 | 信託約款において、主として不動産投信に投資する旨の記載があるものをいいます。 |
| | その他資産 | 信託約款において、主として株式、債券および不動産投信以外に投資する旨の記載があるものをいいます。 |
| | 資産複合 | 信託約款において、複数資産を投資対象とする旨の記載があるものをいいます。 |
| 決算頻度 | 年1回 | 信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいいます。 |
| | 年2回 | 信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいいます。 |
| | 年4回 | 信託約款において、年4回決算する旨の記載があるものをいいます。 |
| | 年6回（隔月） | 信託約款において、年6回決算する旨の記載があるものをいいます。 |
| | 年12回（毎月） | 信託約款において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるものをいいます。 |
| | 日々 | 信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいいます。 |
| | その他 | 上記属性にあてはまらない全てのものをいいます。 |
| 投資対象地域 | グローバル | 信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| | 日本 | 信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| | 北米 | 信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| | 欧州 | 信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| | アジア | 信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| | オセアニア | 信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| | 中南米 | 信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| | アフリカ | 信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| | 中近東（中東） | 信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| | エマージング | 信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域（新興成長国（地域））の資産（一部組み入れている場合等を除きます。）を源泉とする旨の記載があるものをいいます。 |
| 投資形態 | ファミリーファンド | 信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除きます。）を投資対象として投資するものをいいます。 |
| | ファンド・オブ・ファンズ | 一般社団法人投資信託協会が定める「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいいます。 |
| 為替ヘッジ | あり | 信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいいます。 |

| | | |
|----------|---------------------|--|
| | なし | 信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいいます。 |
| 対象インデックス | 日経225 | 信託約款において、日経225に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。 |
| | TOPIX | 信託約款において、TOPIXに連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。 |
| | その他 | 信託約款において、上記以外の指数に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。 |
| 特殊型 | ブル・ペア型 | 信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動もしくは逆連動（一定倍の連動もしくは逆連動を含みます。）を目指す旨の記載があるものをいいます。 |
| | 条件付運用型 | 信託約款において、仕組債への投資またはその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果（基準価額、償還価額、収益分配金等）や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいいます。 |
| | ロング・ショート型 / 絶対収益追求型 | 信託約款において、ロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨もしくは特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨の記載があるものをいいます。 |
| | その他 | 信託約款において、上記特殊型に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。 |

上記定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したものです。

[ファンドの目的・特色]

ファンドの目的

「三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド」

わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、“グロース”（企業の成長性）に着目した運用を行うことにより、株価純資産倍率の高い銘柄で構成されるRUSSELL/NOMURA Total Market Growthインデックス（配当込み）を上回る投資成果をめざします。

「三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド」

わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、“バリュー”（株価の割安度）に着目した運用を行うことにより、株価純資産倍率の低い銘柄で構成されるRUSSELL/NOMURA Total Market Valueインデックス（配当込み）を上回る投資成果をめざします。

「三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド」

わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、“グロース”と“バリュー”的両観点からポートフォリオを構築することにより、わが国の株式の指標である東証株価指数（TOPIX）（配当込み）を上回る投資成果をめざします。

「BWマネープールファンド」

わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を目的とした運用を行います。

ファンドの特色

特色
1

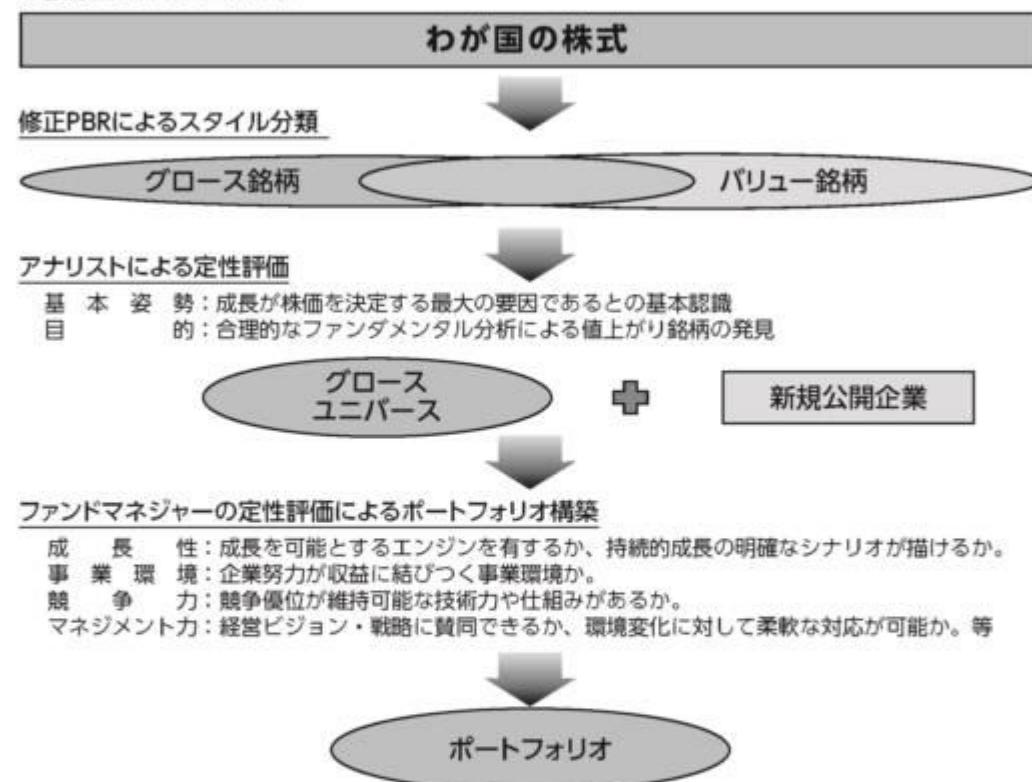
わが国の株式を投資対象とし、グロース株投資とバリュー株投資に着目し積極的な成長をめざします。

- 各ファンドの運用にあたりましては、それぞれ別の運用担当者が運用を行います。
 - ・三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド（愛称「飛躍」）
 - ・三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド（愛称「変革」）
 - ・三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド（愛称「潮流」）
 - ・BWマネープールファンド

三菱UFJ スタイルセレクト・グロースファンド

- ① “グロース”(企業の成長性)に着目し、運用を行います。
 - ② 銘柄選定にあたっては、企業の定性評価を重視します。
定性評価の判断では、企業が置かれている事業環境、競争力、マネジメント力などに着目します。
業績低迷企業であっても、将来の「成長」が期待できる銘柄は投資対象となります。
 - ③ 企業訪問等を中心とするボトムアップ・アプローチ方式により銘柄選定を行います。
ファンドマネジャーおよび当社アナリストによる企業訪問調査結果をベースとします。

＜銘柄選定のプロセス＞



□ PBR(株価純資産倍率)とは、Price Book-value Ratioの略で、株価を1株当たり純資産で割って求められる指標です。この数値が低いほど企業の資産価値と比較して株価は割安だと評価されます。
修正PBRとは、野村證券金融工学研究センターによって定義された、有価証券含み損益と未認識退職給付債務を考慮した自己資本で計算したもので。

- ④ 株式の組入比率は高位とすることを基本とします。
運用にあたっては、現物株式への投資を基本としますが、市況動向、資産規模等によつては、株価指数先物取引等を利用することがあります。

上記は銘柄選定の視点を示したものであり、実際にファンドで投資する銘柄が常に上記の条件を満たすわけではありません。また、こうした企業が必ず利益成長を達成し、株価が上昇するわけではなく、環境によっては業績が悪化し、株価が下落することがある点にご留意ください。

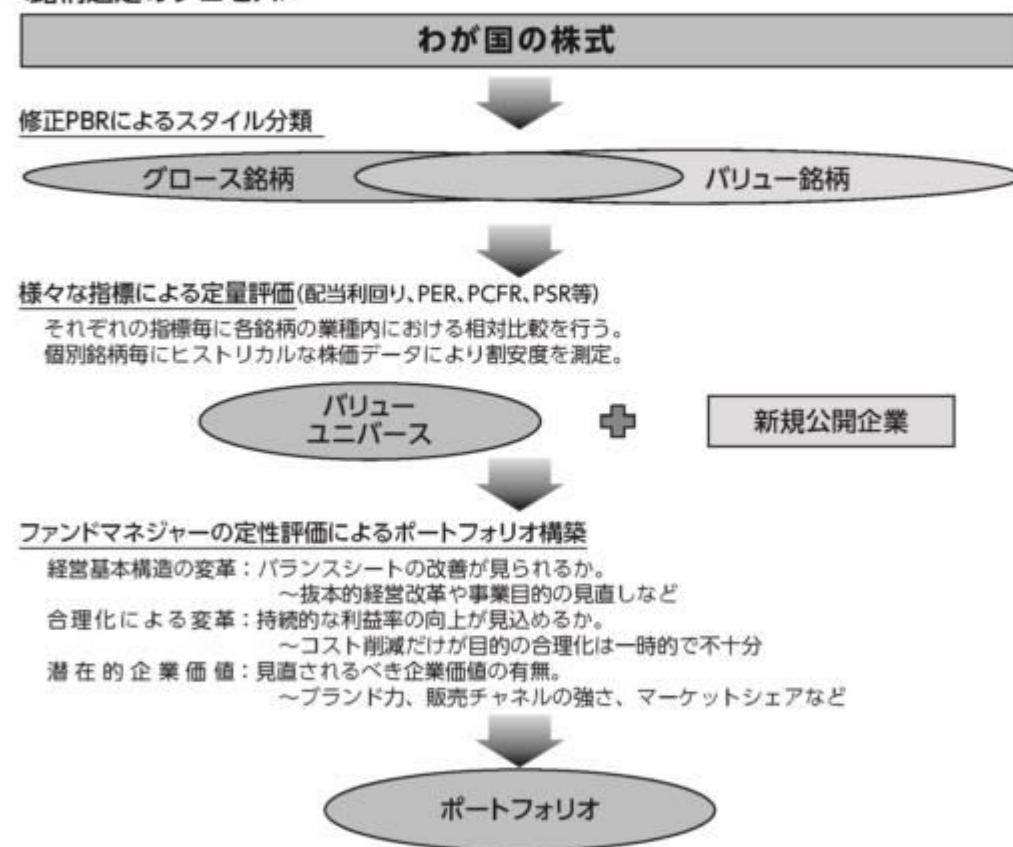
■ 上記の運用プロセスは変更される場合があります。また、市場環境等によっては上記のような運用ができない場合があります。

「運用担当者による事項」については、委託会社のホームページをご覧いただけます。
(https://www.am.mufg.jp/investment_policy/fm.html)

三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド

- ① “バリュー”（株価の割安度）に着目し、運用を行います。
- ② 銘柄選定にあたっては、定量評価を重視します。
配当利回り、PER、PCFR、PSRなどの様々な指標を用います。
 - PER（株価収益率）とは、Price Earnings Ratioの略で、株価を1株当たり利益で割って求められる指標です。この数値が低いほど収益性と比較して株価は割安だと評価されます。
 - PCFR（株価キャッシュフロー倍率）とは、Price Cash Flow Ratioの略で、株価を1株当たりキャッシュフローで割って求められる指標です。この数値が低いほど健全性を含めた実質的な収益面と比較して株価は割安だと評価されます。PERと異なり、会計制度の影響を受けにくいため、国際比較する際に用いられます。
 - PSR（株価売上高倍率）とは、Price to Sales Ratioの略で、時価総額を年間売上高で割って求められる指標です。売上高が同等の会社を比較する場合に、この数値が低いほど株価は割安だと評価されます。
- ③ 定性評価による銘柄選定も行います。
定量分析には表れない企業価値を判断します。

＜銘柄選定のプロセス＞

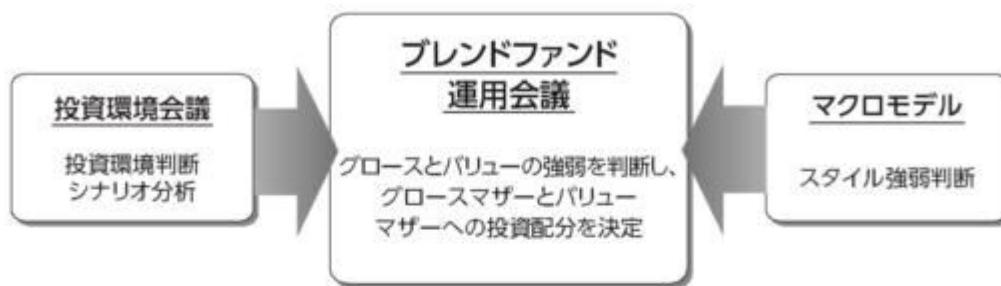


- ④ 株式の組入比率は高位とすることを基本とします。
運用にあたっては、現物株式への投資を基本としますが、市況動向、資産規模等によつては、株価指数先物取引等を利用することがあります。
 - ! 上記は銘柄選定の視点を示したものであり、実際にファンドで投資する銘柄が常に上記の条件を満たすわけではありません。また、こうした企業が必ず利益成長を達成し、株価が上昇するわけではなく、環境によっては業績が悪化し、株価が下落することがある点にご留意ください。
 - ! 上記の運用プロセスは変更される場合があります。また、市場環境等によっては上記のような運用ができない場合があります。
 - ☞ 「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページでご覧いただけます。
(https://www.am.mufg.jp/investment_policy/fm.html)

三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド

- ① “グロース”と“バリュー”的両観点からポートフォリオを構築します。
- ② “グロース”と“バリュー”への投資配分は、50%ずつを基本とし、ブレンドファンド運用会議にて決定します。

＜ブレンドファンドの投資配分決定プロセス＞



・ブレンドファンド運用会議は原則月1回程度開催します。

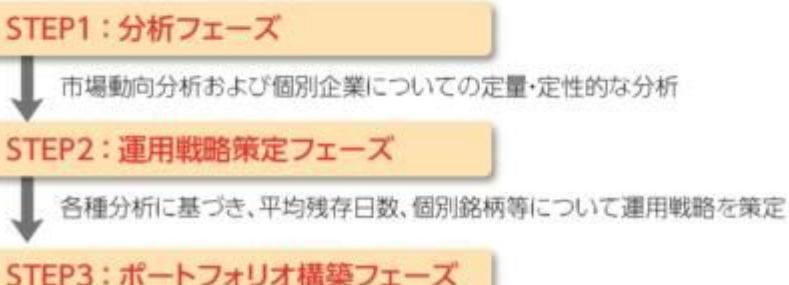
! 上記の運用プロセスは変更される場合があります。また、市場環境等によっては上記のような運用ができない場合があります。

「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページでご覧いただけます。
(https://www.am.mufg.jp/investment_policy/fm.html)

BWマネープールファンド

- ① わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定運用を行います。
- ② ご投資された資金を一時待機させておくためのポートフォリオです。
直接に購入をお申込みいただくことはできません。

＜運用プロセス＞



! 上記の運用プロセスは変更される場合があります。また、市場環境等によっては上記のような運用ができない場合があります。

「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページでご覧いただけます。
(https://www.am.mufg.jp/investment_policy/fm.html)

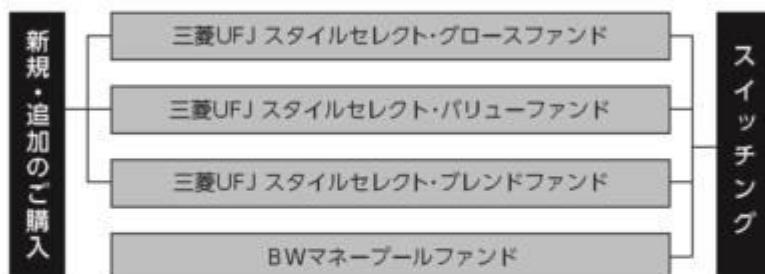
- 三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド、三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド、三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンドについては、各ファンド毎に設定されたベンチマークを上回る投資成果をめざします。

| ファンド | ベンチマーク |
|------------------------|--|
| 三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド | RUSSELL/NOMURA Total Market Growthインデックス(配当込み) |
| 三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド | RUSSELL/NOMURA Total Market Valueインデックス(配当込み) |
| 三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド | 東証株価指数(TOPIX)(配当込み) |

■ ベンチマークとは、ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標です。

特色2

各ファンドはスイッチング(乗換)が可能です。



- スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して信託財産留保額(BWマネーブールファンドは除きます。)および税金がかかります。
- 販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。
- BWマネーブールファンドの購入は、BWマネーブールファンド以外の各ファンドからのスイッチングの場合に限定します。

■ファンドの仕組み

運用は主にグロースマザーファンドおよびバリューマザーファンドへの投資を通じて、わが国の株式へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。



■主な投資制限

各ファンド(BWマネープールファンドを除く)

| | |
|----------|--|
| 株式 | 株式への実質投資割合に制限を設けません。 |
| 株式の一銘柄制限 | 同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 |
| デリバティブ | デリバティブの使用はヘッジ目的に限定します。 |

BWマネープールファンド

| | |
|--------|------------------------|
| デリバティブ | デリバティブの使用はヘッジ目的に限定します。 |
|--------|------------------------|

■分配方針

- 年2回の決算時(3・9月の各10日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- 各ファンド(BWマネープールファンドを除く)の分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合に、当期の基準価額上昇分の範囲内で分配します。
- BWマネープールファンドの分配金額は、経費等を控除後の配当等収益等の全額とし、売買益等は信託財産に留保します。
- 分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。



指数について

・RUSSELL/NOMURA Total Market Growthインデックス(配当込み)は、RUSSELL/NOMURA 日本株インデックスを構成するインデックスの一つです。RUSSELL/NOMURA Total Market Growthインデックス(配当込み)は、わが国の全金融商品取引所全上場銘柄の全時価総額(時価総額は全て安定持株控除後)の98%超をカバーするRUSSELL/NOMURA Total Marketインデックスのうち、高修正PBR銘柄により構成されています。RUSSELL/NOMURA 日本株インデックスは、Frank Russell Companyと野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が作成している株価指数で、当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は両社に帰属します。なお、両社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

・RUSSELL/NOMURA Total Market Valueインデックス(配当込み)は、RUSSELL/NOMURA 日本株インデックスを構成するインデックスの一つです。RUSSELL/NOMURA Total Market Valueインデックス(配当込み)は、わが国の全金融商品取引所全上場銘柄の全時価総額(時価総額は全て安定持株控除後)の98%超をカバーするRUSSELL/NOMURA Total Marketインデックスのうち、低修正PBR銘柄により構成されています。

・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)(以下「TOPIX」といいます。)とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

(2) 【ファンドの沿革】

| | |
|-----------|---|
| 2000年5月2日 | 設定日、信託契約締結、運用開始 |
| 2001年4月2日 | 名称を「パートナーズ スタイルセレクト・グロースファンド」から「UFJパートナーズ スタイルセレクト・グロースファンド」に、「パートナーズ スタイルセレクト・バリューファンド」から「UFJパートナーズ スタイルセレクト・バリューファンド」に、「パートナーズ スタイルセレクト・ブレンドファンド」から「UFJパートナーズ スタイルセレクト・ブレンドファンド」に変更 |

2005年10月1日

ファンドの委託会社としての業務をユーワフジエイパートナーズ投信株式会社から三菱UFJ投信株式会社に承継
 名称を「UFJパートナーズ スタイルセレクト・グロースファンド」から「三菱UFJ スタイルセレクト・グロースファンド」に、「UFJパートナーズ スタイルセレクト・バリューファンド」から「三菱UFJ スタイルセレクト・バリューファンド」に、「UFJパートナーズ スタイルセレクト・ブレンドファンド」から「三菱UFJ スタイルセレクト・ブレンドファンド」に、「マネーブールファンド」から「BWマネーブールファンド」に変更

(3) 【ファンドの仕組み】

委託会社およびファンドの関係法人の役割

| |
|----------|
| 投資家（受益者） |
|----------|

お申込金 収益分配金、解約代金等

| | |
|------|--|
| 販売会社 | 募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱い等を行います。 |
|------|--|

お申込金 収益分配金、解約代金等

| | |
|--|----------------------------------|
| 受託会社（受託者） 三菱UFJ信託銀行株式会社 (再信託受託会社：日本マスタートラスト 信託銀行株式会社) | 委託会社（委託者） 三菱UFJアセットマネジメント株式会社 |
| 信託財産の保管・管理等を行います。 | 信託財産の運用の指図、受益権の発行等を行います。 |

投資 損益

| |
|---------|
| マザーファンド |
|---------|

投資 損益

| |
|-------|
| 有価証券等 |
|-------|

ただし、BWマネーブールファンドへの取得申込みは、スイッチングの場合に限ります。

また、BWマネーブールファンドは、マザーファンドを通じての投資は行いません。

委託会社と関係法人との契約の概要

| | 概要 |
|-------------------------------------|---|
| 委託会社と受託会社との契約 「信託契約」 | 運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。 |
| 委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱に関する契約」 | 販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。 |

委託会社の概況（2025年3月末現在）

- 金融商品取引業者登録番号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- 設立年月日
1985年8月1日
- 資本金

2,000百万円

・沿革

1997年5月

東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始

2004年10月

東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更

2005年10月

三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱UFJ投信株式会社に変更

2015年7月

三菱UFJ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱UFJ国際投信株式会社に変更

2023年10月

エム・ユー投資顧問株式会社の有価証券運用事業を三菱UFJ国際投信株式会社へ統合し、商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更

・大株主の状況

| 株主名 | 住所 | 所有株式数 | 所有比率 |
|-----------------------|-------------------|----------|--------|
| 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 | 211,581株 | 100.0% |

2 【投資方針】

(1) 【投資方針】

「三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド」

主として、グロースマザーファンド受益証券に投資します。このほか、わが国の株式・公社債に直接投資することがあります。

マザーファンド受益証券の組入比率は原則として高位を維持することとします。

RUSSELL/NOMURA Total Market Growthインデックス（配当込み）をベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。

株式以外の資産への実質投資割合（信託財産に属する株式以外の資産の時価総額と信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の総額に占める株式以外の資産の時価総額の割合を乗じて得た額との合計額が信託財産の総額に占める割合）は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。

なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

「三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド」

主として、バリューマザーファンド受益証券に投資します。このほか、わが国の株式・公社債に直接投資することがあります。

マザーファンド受益証券の組入比率は原則として高位を維持することとします。

RUSSELL/NOMURA Total Market Valueインデックス（配当込み）をベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。

株式以外の資産への実質投資割合（信託財産に属する株式以外の資産の時価総額と信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の総額に占める株式以外の資産の時価総額の割合を乗じて得た額との合計額が信託財産の総額に占める割合）は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。

なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

「三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド」

主として、バリューマザーファンド受益証券およびグロースマザーファンド受益証券に投資します。

このほか、わが国の株式・公社債に直接投資することができます。

マザーファンド受益証券の組入比率は原則として高位を維持することとします。

各マザーファンド受益証券への投資配分は50%ずつを基本とし、日本経済のファンダメンタルズ分析、各種テクニカル分析などを基に委託会社のブレンドファンド運用会議にて決定します。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）をベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。

株式以外の資産への実質投資割合（信託財産に属する株式以外の資産の時価総額と信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の総額に占める株式以外の資産の時価総額の割合を乗じて得た額との合計額が信託財産の総額に占める割合）は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。

なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

「B Wマネーピールファンド」

わが国の短期公社債および短期金融商品に投資し、利子等収益の確保を図ります。

なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

(2) 【投資対象】

「三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド」

投資の対象とする資産の種類

この信託において投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）

イ. 有価証券

ロ. デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、信託約款に定める次のもとに限ります。）

　a. 有価証券先物取引等

　b. スワップ取引

ハ. 約束手形

ニ. 金銭債権

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

イ. 為替手形

有価証券の指図範囲

この信託において投資の対象とする有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社を委託会社とし、三菱UFJ信託銀行株式会社を受託会社とするグロースマザーファンド（「マザーファンド」または「親投資信託」といいます。）の受益証券のほか、次に掲げるものとします。なお、当該有価証券は本邦通貨表示のものに限ります。

1. 株券または新株引受権証書

2. 国債証券

3. 地方債証券

4. 特別の法律により法人の発行する債券

5. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）

6. 資産の流動化に係る特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）

7. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）

8. 協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）

9. 資産の流動化に係る優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）

10. 資産の流動化に係る特定目的信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第13号で定めるものをいいます。）

11. コマーシャル・ペーパー

12. 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）
　および新株予約権証券

13. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、1.から12.の証券または証書の性質を有するもの

14. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）

15. 投資証券もしくは新投資口予約権証券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。16.において同じ。）で16.で定めるもの以外のもの

16. 投資法人債券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。以下16.において同じ。）または外国投資証券で投資法人債券に類する証券
17. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
18. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。）
19. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
20. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
21. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
22. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
23. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
24. 外国の者に対する権利で23.の有価証券の性質を有するもの

なお、1.の証券または証書ならびに13.および19.の証券または証書のうち1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、2.から6.までの証券ならびに16.の証券ならびに13.および19.の証券または証書のうち2.から6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、14.および15.の証券を以下「投資信託証券」といいます。

金融商品の指図範囲

この信託において投資の対象とする金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）は、次に掲げるものとします。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で5.の権利の性質を有するもの

「三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド」

投資の対象とする資産の種類

この信託において投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）
 - イ. 有価証券
 デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、信託約款に定める次のものに限ります。）
 - a. 有価証券先物取引等
 - b. スワップ取引
 - ハ. 約束手形
 - 二. 金銭債権
2. 次に掲げる特定資産以外の資産
 - イ. 為替手形

有価証券の指図範囲

この信託において投資の対象とする有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社を委託会社とし、三菱UFJ信託銀行株式会社を受託会社とするバリューマザーファンド（「マザーファンド」または「親投資信託」といいます。）の受益証券のほか、次に掲げるものとします。なお、当該有価証券は本邦通貨表示のものに限ります。

1. 株券または新株引受権証書
2. 国債証券
3. 地方債証券
4. 特別の法律により法人の発行する債券
5. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
6. 資産の流動化に係る特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいい

ます。）

7. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）
8. 協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）
9. 資産の流動化に係る優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）
10. 資産の流動化に係る特定目的信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第13号で定めるものをいいます。）
11. コマーシャル・ペーパー
12. 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）
および新株予約権証券
13. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、1.から12.の証券または証書の性質を有するもの
14. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
15. 投資証券もしくは新投資口予約権証券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。16.において同じ。）で16.で定めるもの以外のもの
16. 投資法人債券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。以下16.において同じ。）または外国投資証券で投資法人債券に類する証券
17. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
18. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。）
19. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
20. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
21. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
22. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
23. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
24. 外国の者に対する権利で23.の有価証券の性質を有するもの

なお、1.の証券または証書ならびに13.および19.の証券または証書のうち1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、2.から6.までの証券ならびに16.の証券ならびに13.および19.の証券または証書のうち2.から6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、14.および15.の証券を以下「投資信託証券」といいます。

金融商品の指図範囲

この信託において投資の対象とする金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）は、次に掲げるものとします。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で5.の権利の性質を有するもの

「三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド」

投資の対象とする資産の種類

この信託において投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）
 - イ. 有価証券
 - ロ. デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、信託約款に定める次のものに限ります。）

- a. 有価証券先物取引等
- b. スワップ取引
- 八. 約束手形
- 二. 金銭債権
- 2. 次に掲げる特定資産以外の資産
 - イ. 為替手形

有価証券の指図範囲

この信託において投資の対象とする有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社を委託会社とし、三菱UFJ信託銀行株式会社を受託会社とするバリューマザーファンドおよびグロースマザーファンド（「マザーファンド」または「親投資信託」といいます。）の受益証券のほか、次に掲げるものとします。なお、当該有価証券は本邦通貨表示のものに限ります。

- 1. 株券または新株引受権証書
 - 2. 国債証券
 - 3. 地方債証券
 - 4. 特別の法律により法人の発行する債券
 - 5. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
 - 6. 資産の流動化に係る特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
 - 7. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）
 - 8. 協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）
 - 9. 資産の流動化に係る優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）
 - 10. 資産の流動化に係る特定目的信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第13号で定めるものをいいます。）
 - 11. コマーシャル・ペーパー
 - 12. 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券
 - 13. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、1.から12.の証券または証書の性質を有するもの
 - 14. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
 - 15. 投資証券もしくは新投資口予約権証券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。16.において同じ。）で16.で定めるもの以外のもの
 - 16. 投資法人債券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。以下16.において同じ。）または外国投資証券で投資法人債券に類する証券
 - 17. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
 - 18. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。）
 - 19. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
 - 20. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
 - 21. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
 - 22. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
 - 23. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
 - 24. 外国の者に対する権利で23.の有価証券の性質を有するもの
- なお、1.の証券または証書ならびに13.および19.の証券または証書のうち1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、2.から6.までの証券ならびに16.の証券ならびに13.および19.の証券または証書のうち2.から6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、14.および15.の証券を以下「投資信託証券」といいます。

金融商品の指図範囲

この信託において投資の対象とする金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）は、次に掲げるものとします。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で5.の権利の性質を有するもの

「BWマネープールファンド」

投資の対象とする資産の種類

この信託において投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）
 - イ. 有価証券
 - ロ. デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、信託約款に定める次のものに限ります。）
 - a. 有価証券先物取引等
 - b. スワップ取引
 - ハ. 約束手形
 - 二. 金銭債権
2. 次に掲げる特定資産以外の資産
 - イ. 為替手形

有価証券の指図範囲

この信託において投資の対象とする有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）は、次に掲げるものとします。なお、当該有価証券は本邦通貨表示のものに限ります。

1. 株券または新株引受権証書
2. 国債証券
3. 地方債証券
4. 特別の法律により法人の発行する債券
5. 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
6. 資産の流動化に係る特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
7. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）
8. 協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）
9. 資産の流動化に係る優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）
10. 資産の流動化に係る特定目的信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第13号で定めるものをいいます。）
11. コマーシャル・ペーパー
12. 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）
および新株予約権証券
13. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、1.から12.の証券または証書の性質を有するもの
14. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
15. 投資証券もしくは新投資口予約権証券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。16.において同じ。）で16.で定めるもの以外のもの
16. 投資法人債券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。以下16.において同じ。）または外国投資証券で投資法人債券に類する証券

17. 外国貸付債権信託受益証券(金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。)
18. オプションを表示する証券または証書(金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。)
19. 預託証書(金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。)
20. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
21. 指定金銭信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。)
22. 抵当証券(金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。)
23. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
24. 外国の者に対する権利で23.の有価証券の性質を有するもの

なお、1.の証券または証書ならびに13.および19.の証券または証書のうち1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、2.から6.までの証券ならびに16.の証券ならびに13.および19.の証券または証書のうち2.から6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、14.および15.の証券を以下「投資信託証券」といいます。

金融商品の指図範囲

この信託において投資の対象とする金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)は、次に掲げるものとします。

1. 預金
2. 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託を除きます。)
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で5.の権利の性質を有するもの

<マザーファンドの概要>

グロースマザーファンド

(基本方針)

この投資信託は、信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

(運用方法)

投資対象

わが国の金融商品取引所に上場されている株式および店頭登録株式を主要投資対象とします。

投資態度

わが国の金融商品取引所に上場されている株式および店頭登録株式の中から、将来の成長が期待できる銘柄に投資します。

銘柄選定にあたっては、ファンドマネジャーおよび委託会社アナリストの企業訪問調査をベースにした、企業の定性評価を重視します。

企業の定性評価にあたっては、企業が置かれている事業環境、競争力、マネジメント力等に注目します。

株式の組入比率は原則として高位を維持することとします。

R U S S E L L / N O M U R A T o t a l M a r k e t G r o w t h インデックス(配当込み)をベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。

なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

(投資制限)

株式への投資割合に制限を設けません。

新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。

投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総

額の10%以下とします。

外貨建資産への投資は行いません。

有価証券先物取引等は価格変動リスクを回避するため行うことができます。

スワップ取引は効率的な運用に資するためならびに価格変動リスクを回避するため行うことができます。

バリューマザーファンド

(基本方針)

この投資信託は、信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

(運用方法)

投資対象

わが国の金融商品取引所に上場されている株式および店頭登録株式を主要投資対象とします。

投資態度

わが国の金融商品取引所に上場されている株式および店頭登録株式の中から、株価が割安と判断される銘柄に投資します。

銘柄選定にあたっては、配当利回り、P E R、P C F R、P S Rなどの様々な指標を用いた定量評価を重視します。

株式の組入比率は原則として高位を維持することとします。

R U S S E L L / N O M U R A T o t a l M a r k e t V a l u e インデックス（配当込み）をベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。

なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

(投資制限)

株式への投資割合に制限を設けません。

新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。

投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

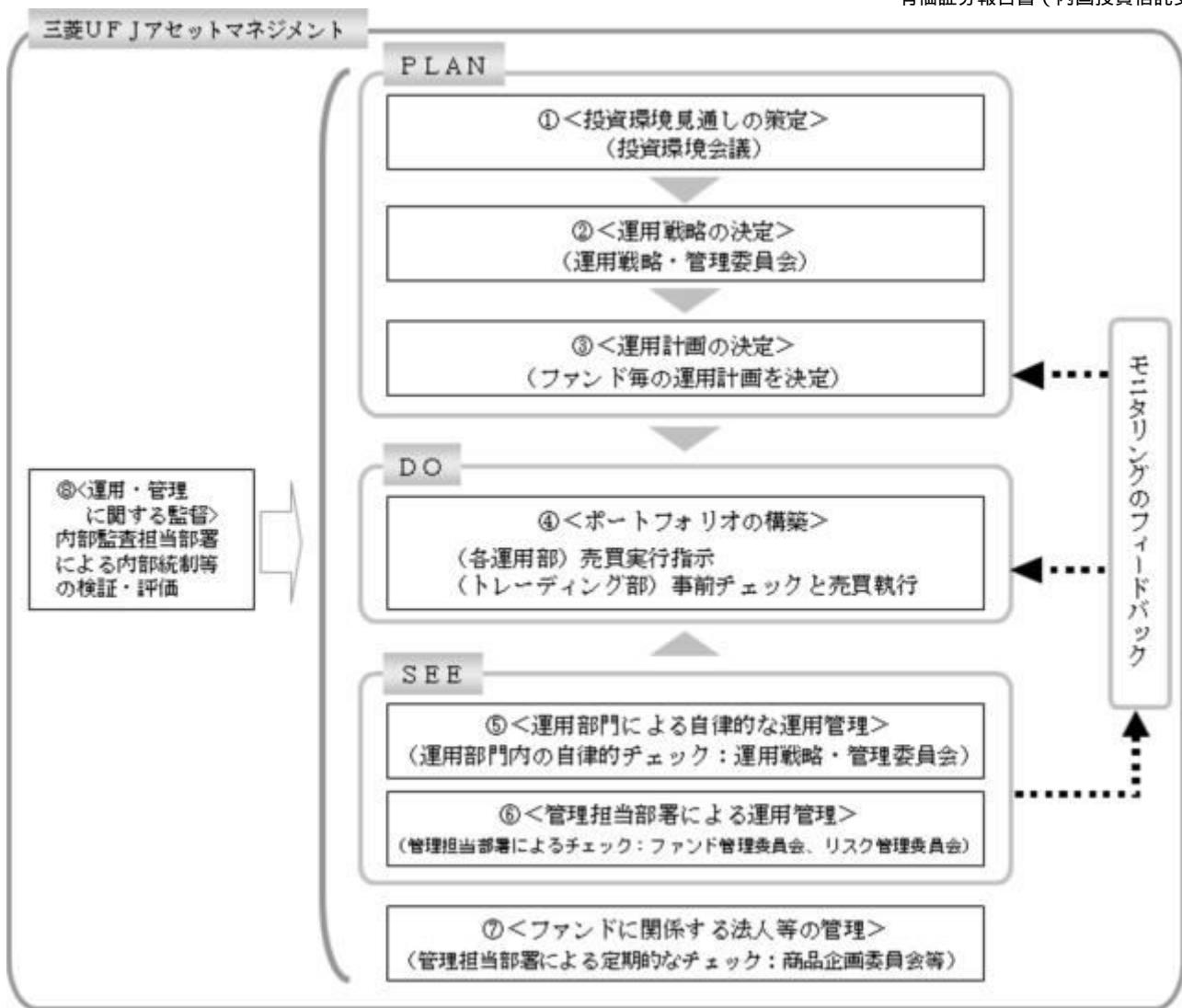
同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

外貨建資産への投資は行いません。

有価証券先物取引等は価格変動リスクを回避するため行うことができます。

スワップ取引は効率的な運用に資するためならびに価格変動リスクを回避するため行うことができます。

(3) 【運用体制】



投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

運用戦略の決定

運用戦略・管理委員会において、**②**で策定された投資環境見通しに沿って運用戦略を決定します。

運用計画の決定

③で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

運用部門による自律的な運用管理

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、運用部門内の管理担当部署は逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。また、運用戦略・管理委員会を通じて運用状況のモニタリングを行い、運用部門内の自律的牽制により運用改善を図ります。

管理担当部署による運用管理

運用部から独立した管理担当部署(40~60名程度)は、(a)運用に関するパフォーマンス測定・分析のほか、(b)リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、(a)についてはファンド管理委員会を経て運用担当部・商品開発担当部にフィードバックされ、(b)についてはリスク管理委員会を通じて運用担当部にフィードバックされ、必要に応じて部署間連携の上で是正・改善の検討が行われます。

ファンドに関する法人等の管理

受託会社等、ファンドの運営に関する法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、商品企画委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。
運用・管理に関する監督

内部監査担当部署（10名程度）は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

なお、委託会社に関する「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページでご覧いただけます。

「運用担当者に係る事項」 https://www.am.mufg.jp/investment_policy/fm.html

（4）【分配方針】

「三菱UFJ スタイルセレクト・グロースファンド」

「三菱UFJ スタイルセレクト・バリューファンド」

「三菱UFJ スタイルセレクト・ブレンドファンド」

毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

収益の分配にあてなかった利益については、信託約款に定める運用の基本方針に基づいて運用を行います。

「BWマネープールファンド」

毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

収益分配金額は、経費等を控除後の配当等収益等の全額とし、売買益等は信託財産に留保します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

収益の分配にあてなかった利益については、信託約款に定める運用の基本方針に基づいて運用を行います。

（5）【投資制限】

＜信託約款に定められた投資制限＞

「三菱UFJ スタイルセレクト・グロースファンド」

「三菱UFJ スタイルセレクト・バリューファンド」

「三菱UFJ スタイルセレクト・ブレンドファンド」

外貨建資産

外貨建資産への投資は行いません。

新株引受権証券および新株予約権証券

a. 委託会社は、信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の100分の20を超えることとなる投資の指図をしません。

b. a.において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

投資信託証券

a. 委託会社は、信託財産に属する投資信託証券（マザーファンドの受益証券を除きます。以下同じ。）の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する投資信託証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の100分の5を超えること

となる投資の指図をしません。

- b . a . において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める投資信託証券の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

同一銘柄の株式等

- a . 委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の株式の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該株式の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。
- b . a . において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める当該株式の時価総額の割合を乗じて得た額とします。
- c . 委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- d . c . において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める当該新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

同一銘柄の転換社債等

- a . 委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債（新株予約権付社債のうち、会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているものならびに会社法施行前の旧商法第341条の3第1項第7号および第8号の定めがあるものをいいます。）の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する当該転換社債および当該転換社債型新株予約権付社債の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。
- b . a . において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める当該転換社債および当該転換社債型新株予約権付社債の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

有価証券先物取引等

- a . 委託会社は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の金融商品取引所におけるわが国の有価証券に係るこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取り扱うものとします（以下同じ。）。

- 1 . 先物取引の売建およびコール・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、ヘッジの対象とする有価証券（以下「ヘッジ対象有価証券」といいます。）の時価総額の範囲内とします。
- 2 . 先物取引の買建およびプット・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、ヘッジ対象有価証券の組入可能額（組入ヘッジ対象有価証券を差し引いた額）に信託財産が限月までに受け取る組入公社債、組入外国貸付債権信託受益証券、組入貸付債権信託受益権、および組入抵当証券の利払金および償還金を加えた額を限度とし、かつ信託財産が限月までに受け取る組入有価証券に係る利払金および償還金等ならびに（2）投資対象 金融商品の指図範囲の1 . から4 . に掲げる金融商品で運用している額の範囲内とします。
- 3 . コール・オプションおよびプット・オプションの買付けの指図は、で規定する全オプション取引に係る支払プレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5 %を上回らない範囲内とします。
- b . 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における金利に係る先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるわが国の金利に係るこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行うことの指図をすることができます。
- 1 . 先物取引の売建およびコール・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、ヘッジの

対象とする金利商品（信託財産が1年以内に受け取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに（2）投資対象 金融商品の指図範囲の1.から4.に掲げる金融商品で運用されているものをいい、以下「ヘッジ対象金利商品」といいます。）の時価総額の範囲内とします。

2. 先物取引の買建およびプット・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、信託財産が限月までに受け取る組入有価証券に係る利払金および償還金等ならびに（2）投資対象 金融商品の指図範囲の1.から4.に掲げる金融商品で運用している額の範囲内とします。
3. コール・オプションおよびプット・オプションの買付けの指図は、支払プレミアム額の合計額が取引時点のヘッジ対象金利商品の時価総額の5%を上回らない範囲内とし、かつで規定する全オプション取引に係る支払プレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

スワップ取引

- a. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。
- b. スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- c. スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産に係るスワップ取引の想定元本の総額とマザーファンドの信託財産に係るスワップ取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額（以下「スワップ取引の想定元本の合計額」といいます。以下c.において同じ。）が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。
- d. c.においてマザーファンドの信託財産に係るスワップ取引の想定元本の総額のうち信託財産に属するとみなした額とは、マザーファンドの信託財産に係るスワップ取引の想定元本の総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額の割合を乗じて得た額とします。
- e. スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- f. 委託会社は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

信用取引

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売り付けることの指図をすることができます。なお、当該売付けの決済については、株券の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができます。
- b. a.の信用取引の指図は、次に掲げる有価証券の発行会社の発行する株券について行うことができるものとし、かつ次に掲げる株券数の合計数を超えないものとします。
 1. 信託財産に属する株券および新株引受権証書により取得する株券
 2. 株式分割により取得する株券
 3. 有償増資により取得する株券
 4. 売出しにより取得する株券
 5. 信託財産に属する転換社債の転換請求および新株予約権（に規定する転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。）の行使により取得可能な株券
 6. 信託財産に属する新株引受権証券および新株引受権付社債券の新株引受権の行使、または信託財産に属する新株予約権証券および新株予約権付社債券の新株予約権（5.に定めるものを除きます。）の行使により取得可能な株券

有価証券の借入れ

有価証券の借入れを行いません。

資金の借入れ

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借り入れた資金の返済を含みま

す。）を目的として、または再投資に係る収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。

- b . 一部解約に伴う支払資金の手当てに係る借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金の借入額は、借入指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。
- c . 収益分配金の再投資に係る借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

投資する株式等の範囲

- a . 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するものおよび金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券についてはこの限りではありません。
- b . a . の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては委託会社が投資することを指図することができます。

有価証券の貸付

- a . 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の範囲内で貸し付けることの指図をすることができます。
 - 1 . 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
 - 2 . 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
- b . a . に規定する限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- c . 委託会社は、有価証券の貸付にあたって必要と認めたときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

デリバティブ取引等

デリバティブ取引等（金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号に定めるデリバティブ取引をいう。）については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないこととします。

信用リスクの分散規制

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

「BWマネーパールファンド」

株式

委託会社は、信託財産に属する株式（株式を組入可能な投資信託証券、新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）の時価総額が信託財産の純資産総額の100分の30を超えることとなる投資の指図をしません。

外貨建資産

外貨建資産への投資は行いません。

新株引受権証券および新株予約権証券

委託会社は、信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額が信託財産の純資産総額の100分の20を超えることとなる投資の指図をしません。

投資信託証券

委託会社は、信託財産に属する投資信託証券の時価総額が信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。

同一銘柄の株式等

- a . 委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の株式の時価総額が信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。
- b . 委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額が信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。

同一銘柄の転換社債等

委託会社は、信託財産に属する同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債（新株予約権付社債のうち、会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているものならびに会社法施行前の旧商法第341条の3第1項第7号および第8号の定めがあるものをいいます。）の時価総額が信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

有価証券先物取引等

- a . 委託会社は、信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の金融商品取引所におけるわが国の有価証券に係るこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取り扱うものとします（以下同じ。）。

- 1 . 先物取引の売建およびコール・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、ヘッジの対象とする有価証券（以下「ヘッジ対象有価証券」といいます。）の時価総額の範囲内とします。
 - 2 . 先物取引の買建およびプット・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、ヘッジ対象有価証券の組入可能額（組入ヘッジ対象有価証券を差し引いた額）に信託財産が限月までに受け取る組入公社債、組入外国貸付債権信託受益証券、組入貸付債権信託受益権、および組入抵当証券の利払金および償還金を加えた額を限度とし、かつ信託財産が限月までに受け取る組入有価証券に係る利払金および償還金等ならびに（2）投資対象 金融商品の指図範囲の1 . から4 . に掲げる金融商品で運用している額の範囲内とします。
 - 3 . コール・オプションおよびプット・オプションの買付けの指図は、で規定する全オプション取引に係る支払プレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5 %を上回らない範囲内とします。
- b . 委託会社は、信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するため、わが国の金融商品取引所における金利に係る先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるわが国の金利に係るこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行うことの指図をすることができます。
- 1 . 先物取引の売建およびコール・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、ヘッジの対象とする金利商品（信託財産が1年以内に受け取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに（2）投資対象 金融商品の指図範囲の1 . から4 . に掲げる金融商品で運用されているものをいい、以下「ヘッジ対象金利商品」といいます。）の時価総額の範囲内とします。
 - 2 . 先物取引の買建およびプット・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、信託財産が限月までに受け取る組入有価証券に係る利払金および償還金等ならびに（2）投資対象 金融商品の指図範囲の1 . から4 . に掲げる金融商品で運用している額の範囲内とします。
 - 3 . コール・オプションおよびプット・オプションの買付けの指図は、支払プレミアム額の合計額が取引時点のヘッジ対象金利商品の時価総額の5 %を上回らない範囲内とし、かつで規定する全オプション取引に係る支払プレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5 %を上回らない範囲内とします。

スワップ取引

- a . 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもと

に交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。

- b . スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- c . スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産に係るスワップ取引の想定元本の合計額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。
- d . スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- e . 委託会社は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

信用取引

- a . 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売り付けることの指図をすることができます。なお、当該売付けの決済については、株券の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができます。
- b . a . の信用取引の指図は、次に掲げる有価証券の発行会社の発行する株券について行うことができるものとし、かつ次に掲げる株券数の合計数を超えないものとします。
 - 1 . 信託財産に属する株券および新株引受権証書により取得する株券
 - 2 . 株式分割により取得する株券
 - 3 . 有償増資により取得する株券
 - 4 . 売出しにより取得する株券
 - 5 . 信託財産に属する転換社債の転換請求および新株予約権（ に規定する転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。 ）の行使により取得可能な株券
 - 6 . 信託財産に属する新株引受権証券および新株引受権付社債券の新株引受権の行使、または信託財産に属する新株予約権証券および新株予約権付社債券の新株予約権（ 5 . に定めるものを除きます。 ）の行使により取得可能な株券

有価証券の借入れ

有価証券の借入れを行いません。

資金の借入れ

- a . 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、一部解約に伴う支払資金の手当（一部解約に伴う支払資金の手当のために借り入れた資金の返済を含みます。 ）を目的として、または再投資に係る収益分配金の支払資金の手当を目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。 ）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- b . 一部解約に伴う支払資金の手当に係る借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が 5 営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金の借入額は、借入指図を行う日における信託財産の純資産総額の 10% を超えないこととします。
- c . 収益分配金の再投資に係る借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

投資する株式等の範囲

- a . 委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するものおよび金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券についてはこの限りではありません。
- b . a . の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては委託会社が投資することを指図することができます。

有価証券の貸付

- a . 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の範囲内で貸し付けることの指図をすることができます。
 - 1 . 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
 - 2 . 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
- b . a . に規定する限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- c . 委託会社は、有価証券の貸付にあたって必要と認めたときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

デリバティブ取引等

デリバティブ取引等（金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号に定めるデリバティブ取引をいう。）については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないこととします。

信用リスクの分散規制

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポートジャー、債券等エクスポートジャーおよびデリバティブ等エクスポートジャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

<その他法令等に定められた投資制限>

- ・同一の法人の発行する株式への投資制限

委託会社は、同一の法人の発行する株式を、その運用の指図を行うすべての委託者指図型投資信託につき、投資信託財産として有する当該株式に係る議決権の総数が当該株式に係る議決権の総数に100分の50の率を乗じて得た数を超えることとなる場合においては、投資信託財産をもって取得することを受託会社に指図しないものとします。

3 【投資リスク】

(1) 投資リスク

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

（主なリスクであり、以下に限定されるものではありません。）

価格変動リスク

「三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド」

「三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド」

「三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド」

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、当ファンドはその影響を受け株式の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

「BWマネープールファンド」

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け公社債の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

信用リスク

信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等

の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

流動性リスク

「三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド」

「三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド」

「三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド」

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている株式の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

「BWマネープールファンド」

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている公社債の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

留意事項

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てる必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。

投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。当ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

「三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド」

「三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド」

「三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド」

- 当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、当ファンドの基準価額に影響する場合があります。

「BWマネープールファンド」

- 投資環境によっては、マイナス利回りの公社債や金融商品等での運用となることがあります、この場合、基準価額の下落要因となりますのでご留意ください。

（2）投資リスクに対する管理体制

委託会社では、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行い、ファンド管理委員会およびリスク管理委員会においてそれらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を検討しています。

また、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策を策定し流動性リスクの評価と管理プロセスの検証な

どを行います。リスク管理委員会は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

具体的な、投資リスクに対するリスク管理体制は以下の通りです。

コンプライアンス担当部署

法令上の禁止行為、約款の投資制限等のモニタリングを通じ、法令等遵守のための管理態勢の状況を把握・管理し、必要に応じて改善の指導を行います。

リスク管理担当部署

運用リスク全般の状況をモニタリング・管理するとともに、運用実績の分析および評価を行い、必要に応じて改善策等を提言します。また、事務・情報資産・その他のリスクの統括的管理を行っています。

内部監査担当部署

委託会社のすべての業務から独立した立場より、リスク管理体制の適切性および有効性について評価を行い、改善策の提案等を通して、リスク管理機能の維持・向上をはかります。

* 組織変更等により、前記の名称および内容は変更となる場合があります。

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

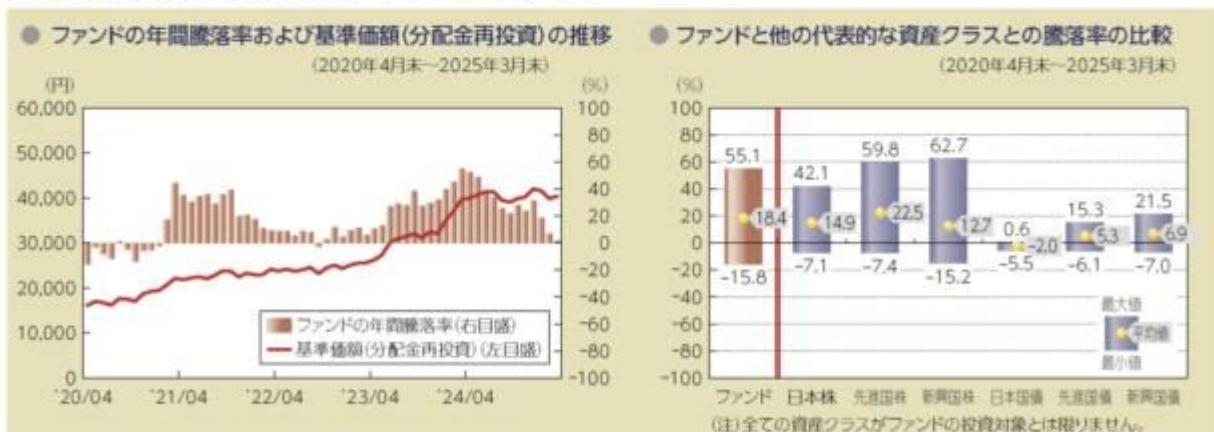
下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド



- ・基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとして計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- ・年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ・ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド



- ・基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとして計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- ・年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ・ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

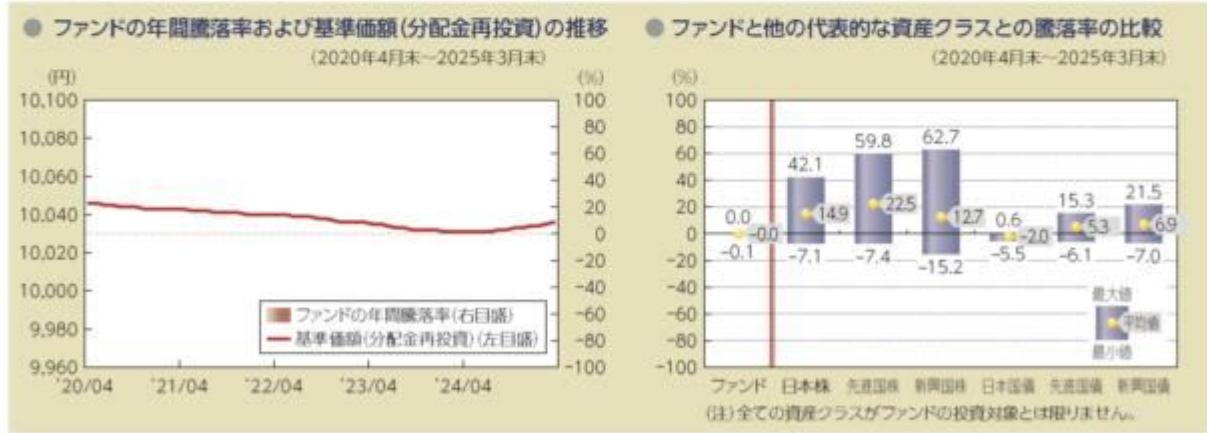
上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド



- ・基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとして計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- ・年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ・ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

BWマネープールファンド



- ・基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとして計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- ・年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ・ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

代表的な資産クラスの指標について

| 資産クラス | 指標名 | 注記等 |
|-------|-------------------------------|--|
| 日本株 | 東証株価指数(TOPIX) (配当込み) | 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指數値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX純研又は株式会社JPX純研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指數値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ソウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。 |
| 先進国株 | MSCIコクサイ・インデックス (配当込み) | MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。 |
| 新興国株 | MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み) | MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。 |
| 日本国債 | NOMURA-BPI(国債) | NOMURA-BPI(国債)とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(総合)のサブインデックスです。当該指標の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指標の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指標を用いて運用されるファンドの運用成績等に関して一切責任を負いません。 |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス (除く日本) | FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。 |
| 新興国債 | JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド | JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指標で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指標の著作権はJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。 |

(注)海外の指標は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

申込価額(発行価格) × 3.3% (税抜 3%) を上限として販売会社が定める手数料率

申込手数料は販売会社にご確認ください。

申込みには分配金受取コース(一般コース)と分配金再投資コース(累積投資コース)があり、分配金再投資コース(累積投資コース)の場合、再投資される収益分配金については、申込手数料はかかりません。

「BWマネープールファンド」を取得する場合には、無手数料とします。(「BWマネープールファンド」への取得申込みは、スイッチングの場合に限ります。)

申込手数料の対価として提供する役務の内容は、ファンドおよび投資環境の説明・情報提供、購入に関する事務手続等です。

(2)【換金(解約)手数料】

かかりません。

ただし、「三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド」、「三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド」および「三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド」は解約時に信託財産留保額(当該基準価額の0.3%)が差し引かれます。「BWマネープールファンド」は、信託財産留保額はかかりません。

換金(解約)手数料の対価として提供する役務の内容は、商品の換金に関する事務手続等です。

(3)【信託報酬等】

「三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド」

「三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド」

「三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド」

- ・信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に、年1.705%（税抜1.55%）の率を乗じて得た額とし、日々ファンドの基準価額に反映されます。

1万口当たりの信託報酬：保有期間中の平均基準価額×信託報酬率×（保有日数／365）
上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

- ・信託報酬は、毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。

- ・信託報酬の各支払先への配分（税抜）は、以下の通りです。

| 支払先 | 配分（税抜） | 対価として提供する役務の内容 |
|------|--------|---|
| 委託会社 | 0.65% | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等 |
| 販売会社 | 0.80% | 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等 |
| 受託会社 | 0.10% | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等 |

上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

「BWマネーパールファンド」

- ・信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に、年0.99%（税抜0.9%）以内の率を乗じて得た額とし、日々ファンドの基準価額に反映されます。

1万口当たりの信託報酬：保有期間中の平均基準価額×信託報酬率×（保有日数／365）
上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

- ・信託報酬は、毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。

- ・毎月の最終営業日（委託会社の営業日をいいます。以下同じ。）の翌日から、翌月の最終営業日までにかかる信託報酬は、当該各月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値（「コールレート平均値」といいます。）に応じ、信託財産の純資産総額に以下に定める率を乗じて得た額とします。

| コールレート 平均値 | 信託報酬率 (税込 年率) | 配分（税抜 年率） | | | |
|--------------------|------------------|-----------|--------|--------|--------|
| | | 合計 | 委託会社 | 販売会社 | 受託会社 |
| 1.00%以上 | 0.99% | 0.9% | 0.4% | 0.4% | 0.1% |
| 0.6%以上 1.00%未満 | 0.605% | 0.55% | 0.24% | 0.25% | 0.06% |
| 0.3%以上 0.6%未満 | 0.33% | 0.3% | 0.132% | 0.133% | 0.035% |
| 0.15%以上 0.3%未満 | 0.165% | 0.15% | 0.06% | 0.07% | 0.02% |
| 0.05%以上 0.15%未満 | 0.055% | 0.05% | 0.022% | 0.023% | 0.005% |
| 0.05%未満 | 0.011% | 0.01% | 0.003% | 0.004% | 0.003% |

上記各支払先への配分には、別途消費税等相当額がかかります。

各支払先が信託報酬の対価として提供する役務の内容は以下の通りです。

| 支払先 | 対価として提供する役務の内容 |
|------|---|
| 委託会社 | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等 |
| 販売会社 | 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等 |
| 受託会社 | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等 |

（4）【その他の手数料等】

- ・信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入を行う場合の借入金の利息および借入れに関する品借料は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。
- ・信託財産に係る監査費用（消費税等相当額を含みます。）は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に一定率を乗じて得た額とし、信託財産中から支弁します。支弁時期は信託報酬と同様です。
- ・信託財産（投資している投資信託を含みます。）の組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料等（消費税等相当額を含みます。）、先物取引・オプション取引等に要する費用および外貨建資産の保管等に要する費用についても信託財産が負担するものとします。

売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

（注）手数料等については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

（5）【課税上の取扱い】

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

1. 収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、総合課税（三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド、三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンドおよび三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンドは、配当控除の適用があります。BWマネーパールファンドは、配当控除は適用されません。）・申告分離課税を選択することもできます。

2. 解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に「NISA（少額投資非課税制度）」の適用対象となります。ファンドは、NISAの対象ではありません。

法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は2025年3月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

（参考情報）ファンドの総経費率

直近の運用報告書作成対象期間（以下「当期間」といいます。）（2024年9月11日～2025年3月10日）における当ファンドの総経費率は以下の通りです。

| | 総経費率(①+②) | ①運用管理費用の比率 | ②その他費用の比率 |
|------------------------|-----------|------------|-----------|
| 三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド | 1.79% | 1.79% | 0.00% |
| 三菱UFJスタイルセレクト・リリューファンド | 1.79% | 1.79% | 0.00% |
| 三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド | 1.79% | 1.79% | 0.00% |
| BWマネーブールファンド | 0.20% | 0.20% | 0.00% |

（比率は年率、表示桁数未満四捨五入）

※各ファンド（BWマネーブールファンドを除く）は、当期間中に信託報酬率の変更を行っています。

※当期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。消費税等のかかるものは消費税等を含む。）を当期間の平均受益権口数に平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除しています。

詳細につきましては、当期間の運用報告書（全体版）をご覧ください。

5【運用状況】

【三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド】

（1）【投資状況】

2025年 3月31日現在

（単位：円）

| 資産の種類 | 国 / 地域 | 時価合計 | 投資比率（%） |
|-----------|--------|---------------|---------|
| 親投資信託受益証券 | 日本 | 1,194,493,385 | 99.76 |

| | | | |
|--------------------------|--|---------------|--------|
| コール・ローン、その他資産 (負債控除後) | | 2,919,533 | 0.24 |
| 純資産総額 | | 1,197,412,918 | 100.00 |

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(2)【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

2025年 3月31日現在

| 国/地域 | 種類 | 銘柄名 | 数量 | 簿価 単価 (円) | 簿価 金額 (円) | 評価 単価 (円) | 評価 金額 (円) | 投資 比率 (%) |
|------|-----------|-------------|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 日本 | 親投資信託受益証券 | グロースマザーファンド | 679,964,357 | 1.8067 | 1,228,491,604 | 1.7567 | 1,194,493,385 | 99.76 |

(注)投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類/業種別投資比率

2025年 3月31日現在

| 種類 | 投資比率(%) |
|-----------|---------|
| 親投資信託受益証券 | 99.76 |
| 合計 | 99.76 |

(注)投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3)【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および2025年3月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

(単位:円)

| | | 純資産総額 | | 基準価額 (1万口当たりの純資産価額) | |
|-----------|---------------|---------------|---------------|------------------------|-------|
| | | (分配落) | (分配付) | (分配落) | (分配付) |
| 第30計算期間末日 | (2015年 9月10日) | 1,912,736,456 | 1,912,736,456 | 6,235 | 6,235 |
| 第31計算期間末日 | (2016年 3月10日) | 1,708,291,723 | 1,708,291,723 | 5,850 | 5,850 |
| 第32計算期間末日 | (2016年 9月12日) | 1,585,349,232 | 1,585,349,232 | 5,662 | 5,662 |
| 第33計算期間末日 | (2017年 3月10日) | 1,769,220,241 | 1,769,220,241 | 6,794 | 6,794 |
| 第34計算期間末日 | (2017年 9月11日) | 1,806,551,443 | 1,806,551,443 | 7,344 | 7,344 |
| 第35計算期間末日 | (2018年 3月12日) | 1,950,088,435 | 1,950,088,435 | 8,401 | 8,401 |
| 第36計算期間末日 | (2018年 9月10日) | 1,788,600,289 | 1,788,600,289 | 7,961 | 7,961 |
| 第37計算期間末日 | (2019年 3月11日) | 1,526,868,710 | 1,526,868,710 | 7,142 | 7,142 |
| 第38計算期間末日 | (2019年 9月10日) | 1,509,351,187 | 1,509,351,187 | 7,346 | 7,346 |
| 第39計算期間末日 | (2020年 3月10日) | 1,371,080,342 | 1,371,080,342 | 7,014 | 7,014 |
| 第40計算期間末日 | (2020年 9月10日) | 1,625,955,030 | 1,625,955,030 | 8,654 | 8,654 |

| | | | | | |
|-----------|---------------|---------------|---------------|--------|--------|
| 第41計算期間末日 | (2021年 3月10日) | 1,766,832,736 | 1,851,360,372 | 10,451 | 10,951 |
| 第42計算期間末日 | (2021年 9月10日) | 1,795,760,666 | 1,851,221,465 | 11,333 | 11,683 |
| 第43計算期間末日 | (2022年 3月10日) | 1,351,407,129 | 1,351,407,129 | 8,886 | 8,886 |
| 第44計算期間末日 | (2022年 9月12日) | 1,391,695,439 | 1,391,695,439 | 9,390 | 9,390 |
| 第45計算期間末日 | (2023年 3月10日) | 1,379,495,861 | 1,379,495,861 | 9,566 | 9,566 |
| 第46計算期間末日 | (2023年 9月11日) | 1,391,213,366 | 1,404,975,827 | 10,109 | 10,209 |
| 第47計算期間末日 | (2024年 3月11日) | 1,393,463,596 | 1,484,502,384 | 10,714 | 11,414 |
| 第48計算期間末日 | (2024年 9月10日) | 1,276,248,071 | 1,276,248,071 | 10,085 | 10,085 |
| 第49計算期間末日 | (2025年 3月10日) | 1,232,609,870 | 1,232,609,870 | 9,975 | 9,975 |
| | 2024年 3月末日 | 1,429,267,081 | | 11,053 | |
| | 4月末日 | 1,360,182,192 | | 10,577 | |
| | 5月末日 | 1,380,671,543 | | 10,774 | |
| | 6月末日 | 1,398,032,473 | | 11,008 | |
| | 7月末日 | 1,374,814,158 | | 10,856 | |
| | 8月末日 | 1,365,655,736 | | 10,784 | |
| | 9月末日 | 1,334,320,459 | | 10,544 | |
| | 10月末日 | 1,355,497,719 | | 10,719 | |
| | 11月末日 | 1,325,997,861 | | 10,554 | |
| | 12月末日 | 1,359,477,311 | | 10,878 | |
| | 2025年 1月末日 | 1,340,723,244 | | 10,774 | |
| | 2月末日 | 1,247,535,843 | | 10,096 | |
| | 3月末日 | 1,197,412,918 | | 9,690 | |

【分配の推移】

| | 1万口当たりの分配金 |
|---------|------------|
| 第30計算期間 | 0円 |
| 第31計算期間 | 0円 |
| 第32計算期間 | 0円 |
| 第33計算期間 | 0円 |
| 第34計算期間 | 0円 |
| 第35計算期間 | 0円 |
| 第36計算期間 | 0円 |
| 第37計算期間 | 0円 |
| 第38計算期間 | 0円 |
| 第39計算期間 | 0円 |
| 第40計算期間 | 0円 |
| 第41計算期間 | 500円 |
| 第42計算期間 | 350円 |
| 第43計算期間 | 0円 |
| 第44計算期間 | 0円 |
| 第45計算期間 | 0円 |
| 第46計算期間 | 100円 |

| | |
|---------|------|
| 第47計算期間 | 700円 |
| 第48計算期間 | 0円 |
| 第49計算期間 | 0円 |

【収益率の推移】

| | 収益率(%) |
|---------|--------|
| 第30計算期間 | 5.22 |
| 第31計算期間 | 6.17 |
| 第32計算期間 | 3.21 |
| 第33計算期間 | 19.99 |
| 第34計算期間 | 8.09 |
| 第35計算期間 | 14.39 |
| 第36計算期間 | 5.23 |
| 第37計算期間 | 10.28 |
| 第38計算期間 | 2.85 |
| 第39計算期間 | 4.51 |
| 第40計算期間 | 23.38 |
| 第41計算期間 | 26.54 |
| 第42計算期間 | 11.78 |
| 第43計算期間 | 21.59 |
| 第44計算期間 | 5.67 |
| 第45計算期間 | 1.87 |
| 第46計算期間 | 6.72 |
| 第47計算期間 | 12.90 |
| 第48計算期間 | 5.87 |
| 第49計算期間 | 1.09 |

(注)「収益率」とは、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額)を控除した額を当該基準価額(分配落の額)で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

(4)【設定及び解約の実績】

| | 設定口数 | 解約口数 | 発行済口数 |
|---------|-----------|-------------|---------------|
| 第30計算期間 | 6,073,810 | 174,636,317 | 3,067,871,785 |
| 第31計算期間 | 2,474,746 | 150,318,636 | 2,920,027,895 |
| 第32計算期間 | 294,815 | 120,359,715 | 2,799,962,995 |
| 第33計算期間 | 1,831,681 | 197,745,247 | 2,604,049,429 |
| 第34計算期間 | 390,116 | 144,583,243 | 2,459,856,302 |
| 第35計算期間 | 1,260,668 | 139,774,838 | 2,321,342,132 |
| 第36計算期間 | 3,605,916 | 78,379,787 | 2,246,568,261 |
| 第37計算期間 | 145,812 | 108,870,360 | 2,137,843,713 |
| 第38計算期間 | 80,478 | 83,381,830 | 2,054,542,361 |
| 第39計算期間 | 396,298 | 100,230,251 | 1,954,708,408 |
| 第40計算期間 | 686,936 | 76,538,292 | 1,878,857,052 |
| 第41計算期間 | 3,215,309 | 191,519,625 | 1,690,552,736 |

| | | | |
|---------|-----------|-------------|---------------|
| 第42計算期間 | 1,163,430 | 107,121,883 | 1,584,594,283 |
| 第43計算期間 | 8,726,404 | 72,555,393 | 1,520,765,294 |
| 第44計算期間 | 755,601 | 39,455,874 | 1,482,065,021 |
| 第45計算期間 | 478,363 | 40,391,312 | 1,442,152,072 |
| 第46計算期間 | 172,768 | 66,078,700 | 1,376,246,140 |
| 第47計算期間 | 250,883 | 75,942,906 | 1,300,554,117 |
| 第48計算期間 | 5,034,543 | 40,069,959 | 1,265,518,701 |
| 第49計算期間 | 136,519 | 29,990,713 | 1,235,664,507 |

【三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド】

(1) 【投資状況】

2025年 3月31日現在
(単位:円)

| 資産の種類 | 国 / 地域 | 時価合計 | 投資比率(%) |
|--------------------------|--------|-------------|---------|
| 親投資信託受益証券 | 日本 | 486,264,326 | 99.76 |
| コール・ローン、その他資産 (負債控除後) | | 1,185,117 | 0.24 |
| 純資産総額 | | 487,449,443 | 100.00 |

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(2) 【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

2025年 3月31日現在

| 国 / 地域 | 種類 | 銘柄名 | 数量 | 簿価 単価 (円) | 簿価 金額 (円) | 評価 単価 (円) | 評価 金額 (円) | 投資 比率 (%) |
|--------|-----------|-------------|------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 日本 | 親投資信託受益証券 | バリューマザーファンド | 77,614,775 | 6.1956 | 480,870,100 | 6.2651 | 486,264,326 | 99.76 |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

2025年 3月31日現在

| 種類 | 投資比率(%) |
|-----------|---------|
| 親投資信託受益証券 | 99.76 |
| 合計 | 99.76 |

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なものの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および2025年3月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

(単位：円)

| | 純資産総額 | 基準価額 (1万口当たりの純資産価額) | |
|-------------------------|-------------|------------------------|--------|
| | | (分配落) | (分配付) |
| 第30計算期間末日 (2015年 9月10日) | 904,290,198 | 904,290,198 | 12,429 |
| 第31計算期間末日 (2016年 3月10日) | 741,170,345 | 741,170,345 | 10,821 |
| 第32計算期間末日 (2016年 9月12日) | 699,015,778 | 699,015,778 | 10,597 |
| 第33計算期間末日 (2017年 3月10日) | 704,826,741 | 791,199,018 | 12,241 |
| 第34計算期間末日 (2017年 9月11日) | 678,082,501 | 686,343,697 | 12,312 |
| 第35計算期間末日 (2018年 3月12日) | 677,418,103 | 690,593,170 | 12,854 |
| 第36計算期間末日 (2018年 9月10日) | 626,076,786 | 626,076,786 | 12,104 |
| 第37計算期間末日 (2019年 3月11日) | 502,111,358 | 502,111,358 | 10,931 |
| 第38計算期間末日 (2019年 9月10日) | 476,733,398 | 476,733,398 | 10,638 |
| 第39計算期間末日 (2020年 3月10日) | 390,542,406 | 390,542,406 | 9,265 |
| 第40計算期間末日 (2020年 9月10日) | 423,003,049 | 433,412,182 | 10,159 |
| 第41計算期間末日 (2021年 3月10日) | 436,709,809 | 479,106,200 | 11,331 |
| 第42計算期間末日 (2021年 9月10日) | 464,763,610 | 483,715,009 | 12,262 |
| 第43計算期間末日 (2022年 3月10日) | 410,952,706 | 410,952,706 | 11,221 |
| 第44計算期間末日 (2022年 9月12日) | 427,177,163 | 445,098,509 | 11,918 |
| 第45計算期間末日 (2023年 3月10日) | 451,684,351 | 464,569,026 | 12,270 |
| 第46計算期間末日 (2023年 9月11日) | 474,475,997 | 526,600,676 | 13,654 |
| 第47計算期間末日 (2024年 3月11日) | 552,002,585 | 593,567,404 | 14,609 |
| 第48計算期間末日 (2024年 9月10日) | 506,432,961 | 509,876,710 | 14,706 |
| 第49計算期間末日 (2025年 3月10日) | 486,530,804 | 502,598,194 | 15,140 |
| 2024年 3月末日 | 548,873,109 | | 15,632 |
| 4月末日 | 523,641,716 | | 15,727 |
| 5月末日 | 530,269,128 | | 16,025 |
| 6月末日 | 537,771,153 | | 16,297 |
| 7月末日 | 537,140,291 | | 16,306 |
| 8月末日 | 529,480,168 | | 15,556 |
| 9月末日 | 515,889,584 | | 15,274 |
| 10月末日 | 508,821,340 | | 15,577 |
| 11月末日 | 511,621,965 | | 15,738 |
| 12月末日 | 533,248,616 | | 16,453 |
| 2025年 1月末日 | 516,740,252 | | 16,247 |
| 2月末日 | 495,355,076 | | 15,571 |
| 3月末日 | 487,449,443 | | 15,297 |

【分配の推移】

| | 1万口当たりの分配金 |
|---------|------------|
| 第30計算期間 | 0円 |
| 第31計算期間 | 0円 |

| | |
|---------|--------|
| 第32計算期間 | 0円 |
| 第33計算期間 | 1,500円 |
| 第34計算期間 | 150円 |
| 第35計算期間 | 250円 |
| 第36計算期間 | 0円 |
| 第37計算期間 | 0円 |
| 第38計算期間 | 0円 |
| 第39計算期間 | 0円 |
| 第40計算期間 | 250円 |
| 第41計算期間 | 1,100円 |
| 第42計算期間 | 500円 |
| 第43計算期間 | 0円 |
| 第44計算期間 | 500円 |
| 第45計算期間 | 350円 |
| 第46計算期間 | 1,500円 |
| 第47計算期間 | 1,100円 |
| 第48計算期間 | 100円 |
| 第49計算期間 | 500円 |

【收益率の推移】

| | 收益率(%) |
|---------|--------|
| 第30計算期間 | 1.04 |
| 第31計算期間 | 12.93 |
| 第32計算期間 | 2.07 |
| 第33計算期間 | 29.66 |
| 第34計算期間 | 1.80 |
| 第35計算期間 | 6.43 |
| 第36計算期間 | 5.83 |
| 第37計算期間 | 9.69 |
| 第38計算期間 | 2.68 |
| 第39計算期間 | 12.90 |
| 第40計算期間 | 12.34 |
| 第41計算期間 | 22.36 |
| 第42計算期間 | 12.62 |
| 第43計算期間 | 8.48 |
| 第44計算期間 | 10.66 |
| 第45計算期間 | 5.89 |
| 第46計算期間 | 23.50 |
| 第47計算期間 | 15.05 |
| 第48計算期間 | 1.34 |
| 第49計算期間 | 6.35 |

(注)「收益率」とは、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額)を控除した額を当該基準価額(分配落の額)で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

(4) 【設定及び解約の実績】

| | 設定口数 | 解約口数 | 発行済口数 |
|---------|------------|------------|-------------|
| 第30計算期間 | 16,341,565 | 30,773,089 | 727,574,649 |
| 第31計算期間 | 242,525 | 42,850,139 | 684,967,035 |
| 第32計算期間 | 274,600 | 25,624,476 | 659,617,159 |
| 第33計算期間 | 120,086 | 83,922,064 | 575,815,181 |
| 第34計算期間 | 1,959,049 | 27,027,814 | 550,746,416 |
| 第35計算期間 | 513,503 | 24,257,233 | 527,002,686 |
| 第36計算期間 | 437,128 | 10,183,382 | 517,256,432 |
| 第37計算期間 | | 57,916,052 | 459,340,380 |
| 第38計算期間 | | 11,201,558 | 448,138,822 |
| 第39計算期間 | 798 | 26,635,397 | 421,504,223 |
| 第40計算期間 | 426,283 | 5,565,156 | 416,365,350 |
| 第41計算期間 | 55,997 | 30,999,605 | 385,421,742 |
| 第42計算期間 | 375,250 | 6,769,007 | 379,027,985 |
| 第43計算期間 | 999,358 | 13,789,968 | 366,237,375 |
| 第44計算期間 | 432,557 | 8,243,008 | 358,426,924 |
| 第45計算期間 | 19,167,434 | 9,460,781 | 368,133,577 |
| 第46計算期間 | 14,598,307 | 35,234,021 | 347,497,863 |
| 第47計算期間 | 56,495,388 | 26,131,259 | 377,861,992 |
| 第48計算期間 | 36,497,669 | 69,984,734 | 344,374,927 |
| 第49計算期間 | 5,076,952 | 28,104,071 | 321,347,808 |

【三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド】

(1) 【投資状況】

2025年 3月31日現在
(単位:円)

| 資産の種類 | 国 / 地域 | 時価合計 | 投資比率(%) |
|--------------------------|--------|---------------|---------|
| 親投資信託受益証券 | 日本 | 1,600,984,493 | 99.76 |
| コール・ローン、その他資産 (負債控除後) | | 3,907,815 | 0.24 |
| 純資産総額 | | 1,604,892,308 | 100.00 |

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(2) 【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

2025年 3月31日現在

| 国 / 地域 | 種類 | 銘柄名 | 数量 | 簿価 単価 (円) | 簿価 金額 (円) | 評価 単価 (円) | 評価 金額 (円) | 投資 比率 (%) |
|--------|-----------|-------------|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 日本 | 親投資信託受益証券 | バリューマザーファンド | 128,437,547 | 6.1952 | 795,702,769 | 6.2651 | 804,674,075 | 50.14 |

| | | | | | | | | |
|----|-----------|-------------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|-------|
| 日本 | 親投資信託受益証券 | グロースマザーファンド | 453,299,037 | 1.8086 | 819,836,639 | 1.7567 | 796,310,418 | 49.62 |
|----|-----------|-------------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|-------|

(注)投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

2025年 3月31日現在

| 種類 | 投資比率(%) |
|-----------|---------|
| 親投資信託受益証券 | 99.76 |
| 合計 | 99.76 |

(注)投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および2025年3月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

(単位:円)

| | | 純資産総額 | | 基準価額 (1万口当たりの純資産価額) | |
|-----------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------|
| | | (分配落) | (分配付) | (分配落) | (分配付) |
| 第30計算期間末日 | (2015年 9月10日) | 2,682,202,444 | 2,682,202,444 | 9,940 | 9,940 |
| 第31計算期間末日 | (2016年 3月10日) | 2,313,182,334 | 2,313,182,334 | 9,005 | 9,005 |
| 第32計算期間末日 | (2016年 9月12日) | 2,117,776,004 | 2,117,776,004 | 8,793 | 8,793 |
| 第33計算期間末日 | (2017年 3月10日) | 2,350,119,814 | 2,450,192,605 | 10,568 | 11,018 |
| 第34計算期間末日 | (2017年 9月11日) | 2,297,055,335 | 2,350,001,735 | 10,846 | 11,096 |
| 第35計算期間末日 | (2018年 3月12日) | 2,294,148,780 | 2,373,500,395 | 11,564 | 11,964 |
| 第36計算期間末日 | (2018年 9月10日) | 2,130,580,664 | 2,130,580,664 | 10,932 | 10,932 |
| 第37計算期間末日 | (2019年 3月11日) | 1,820,806,639 | 1,820,806,639 | 9,831 | 9,831 |
| 第38計算期間末日 | (2019年 9月10日) | 1,750,252,999 | 1,750,252,999 | 9,857 | 9,857 |
| 第39計算期間末日 | (2020年 3月10日) | 1,526,328,440 | 1,526,328,440 | 8,988 | 8,988 |
| 第40計算期間末日 | (2020年 9月10日) | 1,705,193,895 | 1,755,065,337 | 10,258 | 10,558 |
| 第41計算期間末日 | (2021年 3月10日) | 1,780,610,134 | 1,981,296,659 | 11,534 | 12,834 |
| 第42計算期間末日 | (2021年 9月10日) | 1,868,890,449 | 1,936,291,669 | 12,478 | 12,928 |
| 第43計算期間末日 | (2022年 3月10日) | 1,583,411,404 | 1,583,411,404 | 10,755 | 10,755 |
| 第44計算期間末日 | (2022年 9月12日) | 1,636,276,982 | 1,679,431,610 | 11,375 | 11,675 |
| 第45計算期間末日 | (2023年 3月10日) | 1,633,296,038 | 1,661,440,862 | 11,606 | 11,806 |
| 第46計算期間末日 | (2023年 9月11日) | 1,668,120,712 | 1,776,612,597 | 12,300 | 13,100 |
| 第47計算期間末日 | (2024年 3月11日) | 1,733,867,615 | 1,853,053,926 | 13,093 | 13,993 |
| 第48計算期間末日 | (2024年 9月10日) | 1,629,125,276 | 1,629,125,276 | 12,665 | 12,665 |
| 第49計算期間末日 | (2025年 3月10日) | 1,621,346,946 | 1,640,324,774 | 12,815 | 12,965 |
| | 2024年 3月末日 | 1,803,562,115 | | 13,694 | |

| | | | |
|------------|---------------|--------|--|
| 4月末日 | 1,753,874,593 | 13,360 | |
| 5月末日 | 1,780,476,773 | 13,614 | |
| 6月末日 | 1,804,109,916 | 13,885 | |
| 7月末日 | 1,773,532,117 | 13,768 | |
| 8月末日 | 1,729,367,757 | 13,446 | |
| 9月末日 | 1,692,343,302 | 13,198 | |
| 10月末日 | 1,718,948,274 | 13,427 | |
| 11月末日 | 1,708,750,924 | 13,379 | |
| 12月末日 | 1,765,118,069 | 13,878 | |
| 2025年 1月末日 | 1,741,170,345 | 13,727 | |
| 2月末日 | 1,647,034,608 | 13,012 | |
| 3月末日 | 1,604,892,308 | 12,703 | |

【分配の推移】

| | 1万口当たりの分配金 |
|---------|------------|
| 第30計算期間 | 0円 |
| 第31計算期間 | 0円 |
| 第32計算期間 | 0円 |
| 第33計算期間 | 450円 |
| 第34計算期間 | 250円 |
| 第35計算期間 | 400円 |
| 第36計算期間 | 0円 |
| 第37計算期間 | 0円 |
| 第38計算期間 | 0円 |
| 第39計算期間 | 0円 |
| 第40計算期間 | 300円 |
| 第41計算期間 | 1,300円 |
| 第42計算期間 | 450円 |
| 第43計算期間 | 0円 |
| 第44計算期間 | 300円 |
| 第45計算期間 | 200円 |
| 第46計算期間 | 800円 |
| 第47計算期間 | 900円 |
| 第48計算期間 | 0円 |
| 第49計算期間 | 150円 |

【收益率の推移】

| | 收益率(%) |
|---------|----------|
| 第30計算期間 | 2.40 |
| 第31計算期間 | 9.40 |
| 第32計算期間 | 2.35 |
| 第33計算期間 | 25.30 |
| 第34計算期間 | 4.99 |

| | |
|---------|-------|
| 第35計算期間 | 10.30 |
| 第36計算期間 | 5.46 |
| 第37計算期間 | 10.07 |
| 第38計算期間 | 0.26 |
| 第39計算期間 | 8.81 |
| 第40計算期間 | 17.46 |
| 第41計算期間 | 25.11 |
| 第42計算期間 | 12.08 |
| 第43計算期間 | 13.80 |
| 第44計算期間 | 8.55 |
| 第45計算期間 | 3.78 |
| 第46計算期間 | 12.87 |
| 第47計算期間 | 13.76 |
| 第48計算期間 | 3.26 |
| 第49計算期間 | 2.36 |

(注)「收益率」とは、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額)を控除した額を当該基準価額(分配落の額)で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

(4) 【設定及び解約の実績】

| | 設定口数 | 解約口数 | 発行済口数 |
|---------|-----------|-------------|---------------|
| 第30計算期間 | 251,690 | 287,234,768 | 2,698,366,067 |
| 第31計算期間 | 178,435 | 129,770,818 | 2,568,773,684 |
| 第32計算期間 | 2,194,513 | 162,520,905 | 2,408,447,292 |
| 第33計算期間 | 174,193 | 184,781,682 | 2,223,839,803 |
| 第34計算期間 | 660,586 | 106,644,350 | 2,117,856,039 |
| 第35計算期間 | 277,019 | 134,342,676 | 1,983,790,382 |
| 第36計算期間 | 321,158 | 35,088,776 | 1,949,022,764 |
| 第37計算期間 | 202,369 | 97,062,733 | 1,852,162,400 |
| 第38計算期間 | 177,997 | 76,665,395 | 1,775,675,002 |
| 第39計算期間 | 197,757 | 77,679,027 | 1,698,193,732 |
| 第40計算期間 | 316,675 | 36,129,007 | 1,662,381,400 |
| 第41計算期間 | 950,299 | 119,589,198 | 1,543,742,501 |
| 第42計算期間 | 2,742,122 | 48,679,712 | 1,497,804,911 |
| 第43計算期間 | 2,760,458 | 28,356,755 | 1,472,208,614 |
| 第44計算期間 | 738,976 | 34,459,981 | 1,438,487,609 |
| 第45計算期間 | 1,555,217 | 32,801,589 | 1,407,241,237 |
| 第46計算期間 | 594,001 | 51,686,674 | 1,356,148,564 |
| 第47計算期間 | 1,961,862 | 33,818,078 | 1,324,292,348 |
| 第48計算期間 | 2,228,447 | 40,238,788 | 1,286,282,007 |
| 第49計算期間 | 324,403 | 21,417,855 | 1,265,188,555 |

【BWマネープールファンド】

(1) 【投資状況】

| 資産の種類 | 国 / 地域 | 時価合計 | 投資比率(%) |
|--------------------------|--------|------------|---------|
| コール・ローン、その他資産 (負債控除後) | | 11,940,847 | 100.00 |
| 純資産総額 | | 11,940,847 | 100.00 |

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(2) 【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

該当事項はありません。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

該当事項はありません。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なものの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および2025年3月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

(単位：円)

| | 純資産総額 | | 基準価額 (1万口当たりの純資産価額) | |
|-------------------------|------------|------------|------------------------|--------|
| | (分配落) | (分配付) | (分配落) | (分配付) |
| 第30計算期間末日 (2015年 9月10日) | 17,837,981 | 17,837,981 | 10,076 | 10,076 |
| 第31計算期間末日 (2016年 3月10日) | 17,031,465 | 17,031,465 | 10,074 | 10,074 |
| 第32計算期間末日 (2016年 9月12日) | 17,899,564 | 17,899,564 | 10,070 | 10,070 |
| 第33計算期間末日 (2017年 3月10日) | 17,894,652 | 17,894,652 | 10,067 | 10,067 |
| 第34計算期間末日 (2017年 9月11日) | 17,887,935 | 17,887,935 | 10,063 | 10,063 |
| 第35計算期間末日 (2018年 3月12日) | 17,886,045 | 17,886,045 | 10,060 | 10,060 |
| 第36計算期間末日 (2018年 9月10日) | 17,880,183 | 17,880,183 | 10,056 | 10,056 |
| 第37計算期間末日 (2019年 3月11日) | 17,873,567 | 17,873,567 | 10,052 | 10,052 |
| 第38計算期間末日 (2019年 9月10日) | 17,867,162 | 17,867,162 | 10,049 | 10,049 |
| 第39計算期間末日 (2020年 3月10日) | 12,582,097 | 12,582,097 | 10,047 | 10,047 |
| 第40計算期間末日 (2020年 9月10日) | 11,830,266 | 11,830,266 | 10,044 | 10,044 |
| 第41計算期間末日 (2021年 3月10日) | 11,945,106 | 11,945,106 | 10,043 | 10,043 |
| 第42計算期間末日 (2021年 9月10日) | 11,946,506 | 11,946,506 | 10,041 | 10,041 |
| 第43計算期間末日 (2022年 3月10日) | 11,945,845 | 11,945,845 | 10,040 | 10,040 |
| 第44計算期間末日 (2022年 9月12日) | 11,944,158 | 11,944,158 | 10,039 | 10,039 |
| 第45計算期間末日 (2023年 3月10日) | 11,940,751 | 11,940,751 | 10,036 | 10,036 |
| 第46計算期間末日 (2023年 9月11日) | 11,936,844 | 11,936,844 | 10,032 | 10,032 |

| | | | | | |
|-----------|---------------|------------|------------|--------|--------|
| 第47計算期間末日 | (2024年 3月11日) | 11,935,319 | 11,935,319 | 10,031 | 10,031 |
| 第48計算期間末日 | (2024年 9月10日) | 11,936,453 | 11,936,453 | 10,032 | 10,032 |
| 第49計算期間末日 | (2025年 3月10日) | 11,939,898 | 11,939,898 | 10,035 | 10,035 |
| | 2024年 3月末日 | 11,935,453 | | 10,031 | |
| | 4月末日 | 11,935,229 | | 10,031 | |
| | 5月末日 | 11,935,231 | | 10,031 | |
| | 6月末日 | 11,935,199 | | 10,031 | |
| | 7月末日 | 11,935,050 | | 10,031 | |
| | 8月末日 | 11,936,306 | | 10,032 | |
| | 9月末日 | 11,936,819 | | 10,032 | |
| | 10月末日 | 11,937,383 | | 10,033 | |
| | 11月末日 | 11,937,591 | | 10,033 | |
| | 12月末日 | 11,938,136 | | 10,034 | |
| | 2025年 1月末日 | 11,938,862 | | 10,034 | |
| | 2月末日 | 11,939,497 | | 10,035 | |
| | 3月末日 | 11,940,847 | | 10,036 | |

【分配の推移】

| | 1万口当たりの分配金 |
|---------|------------|
| 第30計算期間 | 0円 |
| 第31計算期間 | 0円 |
| 第32計算期間 | 0円 |
| 第33計算期間 | 0円 |
| 第34計算期間 | 0円 |
| 第35計算期間 | 0円 |
| 第36計算期間 | 0円 |
| 第37計算期間 | 0円 |
| 第38計算期間 | 0円 |
| 第39計算期間 | 0円 |
| 第40計算期間 | 0円 |
| 第41計算期間 | 0円 |
| 第42計算期間 | 0円 |
| 第43計算期間 | 0円 |
| 第44計算期間 | 0円 |
| 第45計算期間 | 0円 |
| 第46計算期間 | 0円 |
| 第47計算期間 | 0円 |
| 第48計算期間 | 0円 |
| 第49計算期間 | 0円 |

【收益率の推移】

| | 收益率(%) |
|---------|----------|
| 第30計算期間 | 0.01 |

| | |
|---------|------|
| 第31計算期間 | 0.01 |
| 第32計算期間 | 0.03 |
| 第33計算期間 | 0.02 |
| 第34計算期間 | 0.03 |
| 第35計算期間 | 0.02 |
| 第36計算期間 | 0.03 |
| 第37計算期間 | 0.03 |
| 第38計算期間 | 0.02 |
| 第39計算期間 | 0.01 |
| 第40計算期間 | 0.02 |
| 第41計算期間 | 0.00 |
| 第42計算期間 | 0.01 |
| 第43計算期間 | 0.00 |
| 第44計算期間 | 0.00 |
| 第45計算期間 | 0.02 |
| 第46計算期間 | 0.03 |
| 第47計算期間 | 0.00 |
| 第48計算期間 | 0.00 |
| 第49計算期間 | 0.02 |

(注)「收益率」とは、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額)を控除した額を当該基準価額(分配落の額)で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

(4)【設定及び解約の実績】

| | 設定口数 | 解約口数 | 発行済口数 |
|---------|---------|-----------|------------|
| 第30計算期間 | | | 17,702,733 |
| 第31計算期間 | | 795,537 | 16,907,196 |
| 第32計算期間 | 868,623 | | 17,775,819 |
| 第33計算期間 | | | 17,775,819 |
| 第34計算期間 | | | 17,775,819 |
| 第35計算期間 | 4,969 | 994 | 17,779,794 |
| 第36計算期間 | 994 | | 17,780,788 |
| 第37計算期間 | | | 17,780,788 |
| 第38計算期間 | | | 17,780,788 |
| 第39計算期間 | | 5,257,086 | 12,523,702 |
| 第40計算期間 | | 745,378 | 11,778,324 |
| 第41計算期間 | 115,902 | | 11,894,226 |
| 第42計算期間 | 2,987 | | 11,897,213 |
| 第43計算期間 | 996 | | 11,898,209 |
| 第44計算期間 | | | 11,898,209 |
| 第45計算期間 | | | 11,898,209 |
| 第46計算期間 | | | 11,898,209 |
| 第47計算期間 | | | 11,898,209 |
| 第48計算期間 | | | 11,898,209 |

| | | | |
|---------|--|--|------------|
| 第49計算期間 | | | 11,898,209 |
|---------|--|--|------------|

(参考)

グロースマザーファンド

投資状況

2025年 3月31日現在

(単位:円)

| 資産の種類 | 国 / 地域 | 時価合計 | 投資比率(%) |
|--------------------------|--------|---------------|---------|
| 株式 | 日本 | 1,903,860,110 | 95.63 |
| コール・ローン、その他資産 (負債控除後) | | 86,961,350 | 4.37 |
| 純資産総額 | | 1,990,821,460 | 100.00 |

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

2025年 3月31日現在

| 国 / 地域 | 種類 | 銘柄名 | 業種 | 数量 | 簿価 単価 (円) | 簿価 金額 (円) | 評価 単価 (円) | 評価 金額 (円) | 投資 比率 (%) |
|--------|----|---------------------|----------|--------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 日本 | 株式 | ソニーグループ | 電気機器 | 38,400 | 3,458.00 | 132,787,200 | 3,765.00 | 144,576,000 | 7.26 |
| 日本 | 株式 | 日立製作所 | 電気機器 | 28,900 | 3,703.00 | 107,016,700 | 3,458.00 | 99,936,200 | 5.02 |
| 日本 | 株式 | FOOD & LIFE COMPANY | 小売業 | 21,800 | 4,062.00 | 88,551,600 | 4,451.00 | 97,031,800 | 4.87 |
| 日本 | 株式 | 東京エレクトロン | 電気機器 | 4,700 | 21,465.55 | 100,888,127 | 20,110.00 | 94,517,000 | 4.75 |
| 日本 | 株式 | Sansan | 情報・通信業 | 46,000 | 1,988.00 | 91,448,000 | 1,914.00 | 88,044,000 | 4.42 |
| 日本 | 株式 | コナミグループ | 情報・通信業 | 4,000 | 16,735.00 | 66,940,000 | 17,580.00 | 70,320,000 | 3.53 |
| 日本 | 株式 | アドバンテスト | 電気機器 | 9,400 | 7,789.00 | 73,216,600 | 6,472.00 | 60,836,800 | 3.06 |
| 日本 | 株式 | ルネサスエレクトロニクス | 電気機器 | 30,300 | 2,338.50 | 70,856,550 | 1,987.50 | 60,221,250 | 3.02 |
| 日本 | 株式 | アシックス | その他製品 | 17,300 | 3,007.00 | 52,021,100 | 3,145.00 | 54,408,500 | 2.73 |
| 日本 | 株式 | トライアルホールディングス | 小売業 | 22,500 | 2,221.00 | 49,972,500 | 2,180.00 | 49,050,000 | 2.46 |
| 日本 | 株式 | マネーフォワード | 情報・通信業 | 11,500 | 4,231.00 | 48,656,500 | 4,005.00 | 46,057,500 | 2.31 |
| 日本 | 株式 | MARUWA | ガラス・土石製品 | 1,500 | 31,363.94 | 47,045,912 | 30,320.00 | 45,480,000 | 2.28 |
| 日本 | 株式 | 第一三共 | 医薬品 | 12,800 | 3,487.00 | 44,633,600 | 3,511.00 | 44,940,800 | 2.26 |
| 日本 | 株式 | 川崎重工業 | 輸送用機器 | 5,000 | 8,500.00 | 42,500,000 | 8,928.00 | 44,640,000 | 2.24 |
| 日本 | 株式 | デクセリアルズ | 化学 | 24,300 | 1,951.38 | 47,418,710 | 1,815.50 | 44,116,650 | 2.22 |
| 日本 | 株式 | スズキ | 輸送用機器 | 22,700 | 1,792.00 | 40,678,400 | 1,810.00 | 41,087,000 | 2.06 |
| 日本 | 株式 | ペプチドリーム | 医薬品 | 18,300 | 2,157.00 | 39,473,100 | 2,177.00 | 39,839,100 | 2.00 |
| 日本 | 株式 | トリケミカル研究所 | 化学 | 15,400 | 3,215.00 | 49,511,000 | 2,564.00 | 39,485,600 | 1.98 |
| 日本 | 株式 | リクルートホールディングス | サービス業 | 5,100 | 9,136.00 | 46,593,600 | 7,657.00 | 39,050,700 | 1.96 |
| 日本 | 株式 | 富士電機 | 電気機器 | 6,200 | 6,569.00 | 40,727,800 | 6,296.00 | 39,035,200 | 1.96 |
| 日本 | 株式 | 古河電気工業 | 非鉄金属 | 7,700 | 5,826.72 | 44,865,812 | 4,930.00 | 37,961,000 | 1.91 |

| | | | | | | | | | |
|----|----|----------------|--------|--------|-----------|------------|-----------|------------|------|
| 日本 | 株式 | インターネットイニシアティブ | 情報・通信業 | 14,400 | 2,529.00 | 36,417,600 | 2,599.00 | 37,425,600 | 1.88 |
| 日本 | 株式 | ファーストリテイリング | 小売業 | 800 | 45,660.00 | 36,528,000 | 44,060.00 | 35,248,000 | 1.77 |
| 日本 | 株式 | メイコー | 電気機器 | 5,100 | 7,185.20 | 36,644,523 | 6,840.00 | 34,884,000 | 1.75 |
| 日本 | 株式 | 丸紅 | 卸売業 | 14,600 | 2,405.00 | 35,113,000 | 2,379.50 | 34,740,700 | 1.75 |
| 日本 | 株式 | ダイキン工業 | 機械 | 2,100 | 17,030.00 | 35,763,000 | 16,140.00 | 33,894,000 | 1.70 |
| 日本 | 株式 | ソフトバンクグループ | 情報・通信業 | 4,300 | 8,067.00 | 34,688,100 | 7,479.00 | 32,159,700 | 1.62 |
| 日本 | 株式 | S M C | 機械 | 600 | 58,750.00 | 35,250,000 | 53,070.00 | 31,842,000 | 1.60 |
| 日本 | 株式 | トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 12,100 | 2,829.00 | 34,230,900 | 2,616.00 | 31,653,600 | 1.59 |
| 日本 | 株式 | 朝日インテック | 精密機器 | 11,900 | 2,439.50 | 29,030,050 | 2,404.50 | 28,613,550 | 1.44 |

(注)投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

2025年 3月31日現在

| 種類 | 業種 | 投資比率(%) |
|----|----------|---------|
| 株式 | 食料品 | 1.17 |
| | 化学 | 4.70 |
| | 医薬品 | 4.98 |
| | ガラス・土石製品 | 2.74 |
| | 非鉄金属 | 1.91 |
| | 機械 | 4.20 |
| | 電気機器 | 29.77 |
| | 輸送用機器 | 6.94 |
| | 精密機器 | 2.52 |
| | その他製品 | 2.73 |
| | 情報・通信業 | 16.35 |
| | 卸売業 | 2.99 |
| | 小売業 | 9.11 |
| | サービス業 | 5.52 |
| 小計 | | 95.63 |
| 合計 | | 95.63 |

(注)投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

バリューマザーファンド

投資状況

2025年 3月31日現在
(単位:円)

| 資産の種類 | 国 / 地域 | 時価合計 | 投資比率(%) |
|-------|--------|---------------|---------|
| 株式 | 日本 | 1,250,660,800 | 96.88 |

| | | | |
|--------------------------|--|---------------|--------|
| コール・ローン、その他資産 (負債控除後) | | 40,287,696 | 3.12 |
| 純資産総額 | | 1,290,948,496 | 100.00 |

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

2025年 3月31日現在

| 国/地域 | 種類 | 銘柄名 | 業種 | 数量 | 簿価 単価 (円) | 簿価 金額 (円) | 評価 単価 (円) | 評価 金額 (円) | 投資 比率 (%) |
|------|----|---------------------|--------|---------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 日本 | 株式 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 42,700 | 1,920.00 | 81,984,000 | 2,011.00 | 85,869,700 | 6.65 |
| 日本 | 株式 | みずほフィナンシャルグループ | 銀行業 | 10,900 | 4,114.00 | 44,842,600 | 4,051.00 | 44,155,900 | 3.42 |
| 日本 | 株式 | 三菱商事 | 卸売業 | 16,300 | 2,580.50 | 42,062,150 | 2,626.50 | 42,811,950 | 3.32 |
| 日本 | 株式 | トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 15,500 | 2,824.54 | 43,780,455 | 2,616.00 | 40,548,000 | 3.14 |
| 日本 | 株式 | ソニーグループ | 電気機器 | 10,400 | 3,458.00 | 35,963,200 | 3,765.00 | 39,156,000 | 3.03 |
| 日本 | 株式 | 東京海上ホールディングス | 保険業 | 6,700 | 5,311.00 | 35,583,700 | 5,736.00 | 38,431,200 | 2.98 |
| 日本 | 株式 | 三井物産 | 卸売業 | 13,100 | 2,781.50 | 36,437,650 | 2,799.50 | 36,673,450 | 2.84 |
| 日本 | 株式 | りそなホールディングス | 銀行業 | 28,400 | 1,229.50 | 34,917,800 | 1,287.00 | 36,550,800 | 2.83 |
| 日本 | 株式 | 三井住友フィナンシャルグループ | 銀行業 | 8,300 | 3,710.00 | 30,793,000 | 3,795.00 | 31,498,500 | 2.44 |
| 日本 | 株式 | 第一生命ホールディングス | 保険業 | 27,200 | 1,095.50 | 29,797,600 | 1,133.00 | 30,817,600 | 2.39 |
| 日本 | 株式 | 東洋水産 | 食料品 | 3,500 | 8,788.00 | 30,758,000 | 8,794.00 | 30,779,000 | 2.38 |
| 日本 | 株式 | セブン・&アイ・ホールディングス | 小売業 | 14,200 | 2,120.00 | 30,104,000 | 2,163.00 | 30,714,600 | 2.38 |
| 日本 | 株式 | ソフトバンクグループ | 情報・通信業 | 4,000 | 8,067.00 | 32,268,000 | 7,479.00 | 29,916,000 | 2.32 |
| 日本 | 株式 | 日本電信電話 | 情報・通信業 | 183,900 | 147.62 | 27,148,924 | 144.70 | 26,610,330 | 2.06 |
| 日本 | 株式 | コンコルディア・フィナンシャルグループ | 銀行業 | 27,100 | 914.20 | 24,774,820 | 981.20 | 26,590,520 | 2.06 |
| 日本 | 株式 | 鹿島建設 | 建設業 | 8,700 | 3,048.00 | 26,517,600 | 3,048.00 | 26,517,600 | 2.05 |
| 日本 | 株式 | リコー | 電気機器 | 16,700 | 1,647.00 | 27,504,900 | 1,577.00 | 26,335,900 | 2.04 |
| 日本 | 株式 | ルネサスエレクトロニクス | 電気機器 | 13,200 | 2,338.50 | 30,868,200 | 1,987.50 | 26,235,000 | 2.03 |
| 日本 | 株式 | スズキ | 輸送用機器 | 13,900 | 1,792.00 | 24,908,800 | 1,810.00 | 25,159,000 | 1.95 |
| 日本 | 株式 | 北國フィナンシャルホールディングス | 銀行業 | 4,100 | 5,410.00 | 22,181,000 | 5,870.00 | 24,067,000 | 1.86 |
| 日本 | 株式 | SOMPホールディングス | 保険業 | 5,300 | 4,573.00 | 24,236,900 | 4,521.00 | 23,961,300 | 1.86 |
| 日本 | 株式 | 古河電気工業 | 非鉄金属 | 4,400 | 5,835.00 | 25,674,000 | 4,930.00 | 21,692,000 | 1.68 |
| 日本 | 株式 | 積水ハウス | 建設業 | 5,800 | 3,355.00 | 19,459,000 | 3,340.00 | 19,372,000 | 1.50 |
| 日本 | 株式 | 東レ | 繊維製品 | 18,900 | 1,034.00 | 19,542,600 | 1,016.00 | 19,202,400 | 1.49 |
| 日本 | 株式 | SWCC | 非鉄金属 | 3,000 | 5,700.00 | 17,100,000 | 6,190.00 | 18,570,000 | 1.44 |
| 日本 | 株式 | ホシザキ | 機械 | 3,200 | 6,174.26 | 19,757,662 | 5,772.00 | 18,470,400 | 1.43 |
| 日本 | 株式 | 本田技研工業 | 輸送用機器 | 13,700 | 1,444.00 | 19,782,800 | 1,342.50 | 18,392,250 | 1.42 |
| 日本 | 株式 | TOPPANホールディングス | その他製品 | 4,400 | 4,410.00 | 19,404,000 | 4,054.00 | 17,837,600 | 1.38 |
| 日本 | 株式 | 東京瓦斯 | 電気・ガス業 | 3,600 | 4,490.00 | 16,164,000 | 4,763.00 | 17,146,800 | 1.33 |

| | | | | | | | | | |
|----|----|------|--------|-------|----------|------------|----------|------------|------|
| 日本 | 株式 | 関西電力 | 電気・ガス業 | 9,200 | 1,804.00 | 16,596,800 | 1,772.50 | 16,307,000 | 1.26 |
|----|----|------|--------|-------|----------|------------|----------|------------|------|

(注)投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

2025年 3月31日現在

| 種類 | 業種 | 投資比率(%) |
|----|----------|---------|
| 株式 | 鉱業 | 0.88 |
| | 建設業 | 5.69 |
| | 食料品 | 3.71 |
| | 繊維製品 | 1.49 |
| | 化学 | 3.83 |
| | 医薬品 | 1.20 |
| | 石油・石炭製品 | 0.55 |
| | 鉄鋼 | 0.54 |
| | 非鉄金属 | 3.12 |
| | 機械 | 2.29 |
| | 電気機器 | 8.32 |
| | 輸送用機器 | 10.35 |
| | 精密機器 | 0.48 |
| | その他製品 | 1.38 |
| | 電気・ガス業 | 3.51 |
| | 陸運業 | 0.96 |
| | 海運業 | 0.95 |
| | 空運業 | 0.40 |
| | 倉庫・運輸関連業 | 1.12 |
| | 情報・通信業 | 4.38 |
| | 卸売業 | 8.66 |
| | 小売業 | 2.38 |
| | 銀行業 | 19.27 |
| | 保険業 | 7.22 |
| | その他金融業 | 1.84 |
| | 不動産業 | 2.36 |
| 小計 | | 96.88 |
| 合計 | | 96.88 |

(注)投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なものの

該当事項はありません。

参考情報

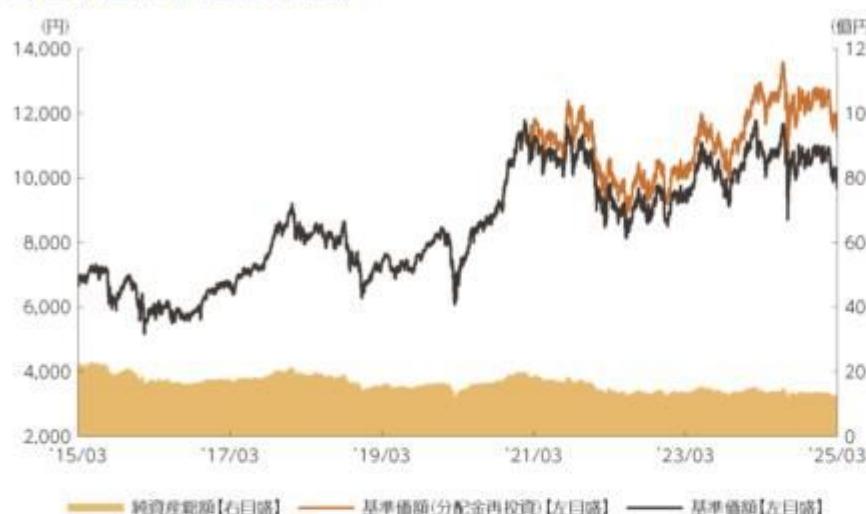


運用実績

2025年3月31日現在

三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド

■基準価額・純資産の推移 2015年3月31日～2025年3月31日



・基準価額(分配金再投資)はグラフの起点における基準価額に合わせて指数化

・基準価額、基準価額(分配金再投資)は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額 9,690円

純資産総額 11.9億円

・純資産総額は表示桁未満切捨て

■分配の推移

| | |
|---------|--------|
| 2025年3月 | 0円 |
| 2024年9月 | 0円 |
| 2024年3月 | 700円 |
| 2023年9月 | 100円 |
| 2023年3月 | 0円 |
| 2022年9月 | 0円 |
| 設定来累計 | 1,650円 |

・分配金は1万口当たり、税引前

■主要な資産の状況

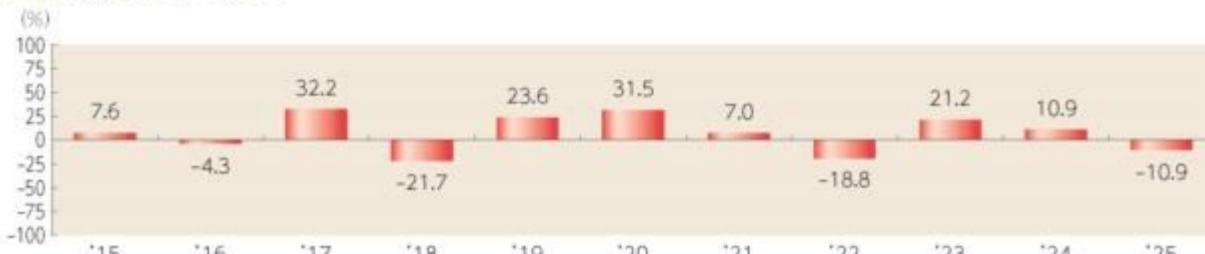
| 組入上位業種 | 比率 |
|-------------|-------|
| 1 電気機器 | 29.7% |
| 2 情報・通信業 | 16.3% |
| 3 小売業 | 9.1% |
| 4 輸送用機器 | 6.9% |
| 5 サービス業 | 5.5% |
| 6 医薬品 | 5.0% |
| 7 化学 | 4.7% |
| 8 機械 | 4.2% |
| 9 卸売業 | 3.0% |
| 10 ガラス・土石製品 | 2.7% |

| 組入上位銘柄 | 業種 | 比率 |
|------------------------|--------|------|
| 1 ソニーブループ | 電気機器 | 7.2% |
| 2 日立製作所 | 電気機器 | 5.0% |
| 3 FOOD & LIFE COMPANIE | 小売業 | 4.9% |
| 4 東京エレクトロン | 電気機器 | 4.7% |
| 5 Sansan | 情報・通信業 | 4.4% |
| 6 コナミグループ | 情報・通信業 | 3.5% |
| 7 アドバンテスト | 電気機器 | 3.0% |
| 8 ルネサスエレクトロニクス | 電気機器 | 3.0% |
| 9 アシックス | その他製品 | 2.7% |
| 10 トライアルホールディングス | 小売業 | 2.5% |

・各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)

・国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの

■年間收益率の推移



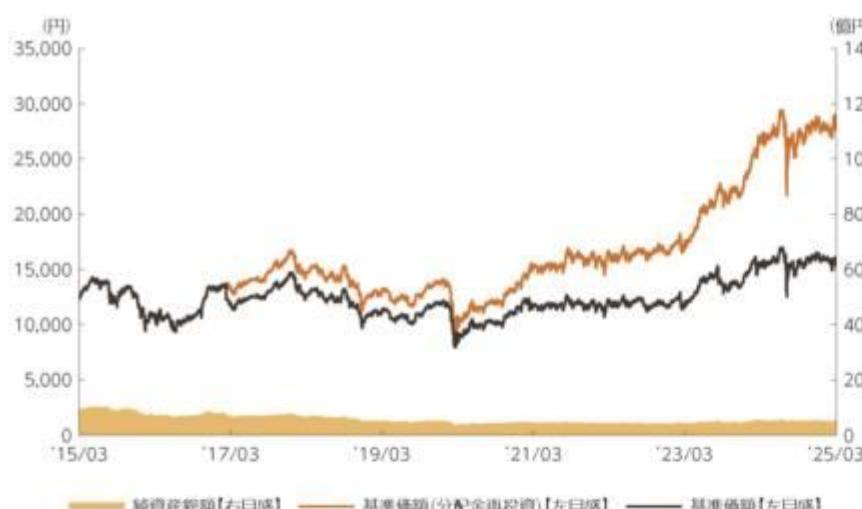
・收益率は基準価額(分配金再投資)で計算

・2025年は年初から3月31日までの收益率を表示

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド

■基準価額・純資産の推移 2015年3月31日～2025年3月31日



- ・基準価額(分配金再投資)はグラフの起点における基準価額に合わせて指数化
- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

| | |
|-------|---------|
| 基準価額 | 15,297円 |
| 純資産総額 | 4.8億円 |

・純資産総額は表示桁未満切捨て

■分配の推移

| | |
|----------|---------|
| 2025年 3月 | 500円 |
| 2024年 9月 | 100円 |
| 2024年 3月 | 1,100円 |
| 2023年 9月 | 1,500円 |
| 2023年 3月 | 350円 |
| 2022年 9月 | 500円 |
| 設定来累計 | 12,600円 |

・分配金は1万口当たり、税引前

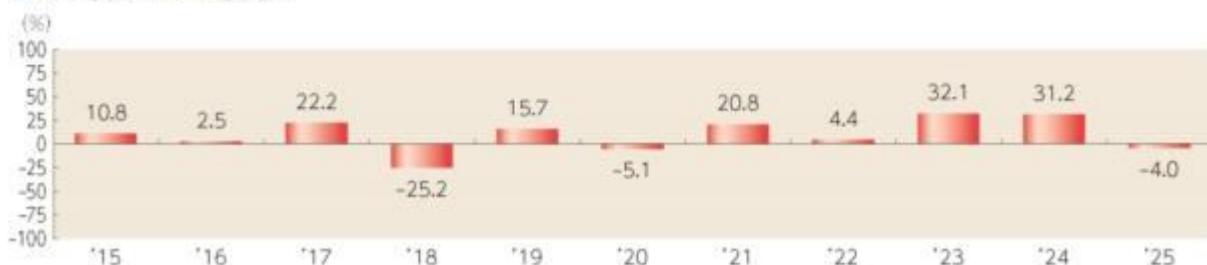
■主要な資産の状況

| 組入上位業種 | 比率 | 組入上位銘柄 | 業種 | 比率 |
|-----------|-------|---------------------|-------|------|
| 1 銀行業 | 19.2% | 1 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 6.6% |
| 2 輸送用機器 | 10.3% | 2 みずほフィナンシャルグループ | 銀行業 | 3.4% |
| 3 卸売業 | 8.6% | 3 三菱商事 | 卸売業 | 3.3% |
| 4 電気機器 | 8.3% | 4 トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 3.1% |
| 5 保険業 | 7.2% | 5 ソニーグループ | 電気機器 | 3.0% |
| 6 建設業 | 5.7% | 6 東京海上ホールディングス | 保険業 | 3.0% |
| 7 情報・通信業 | 4.4% | 7 三井物産 | 卸売業 | 2.8% |
| 8 化学 | 3.8% | 8 リソナホールディングス | 銀行業 | 2.8% |
| 9 食料品 | 3.7% | 9 三井住友フィナンシャルグループ | 銀行業 | 2.4% |
| 10 電気・ガス業 | 3.5% | 10 第一生命ホールディングス | 保険業 | 2.4% |

・各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)

・国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの

■年間收益率の推移

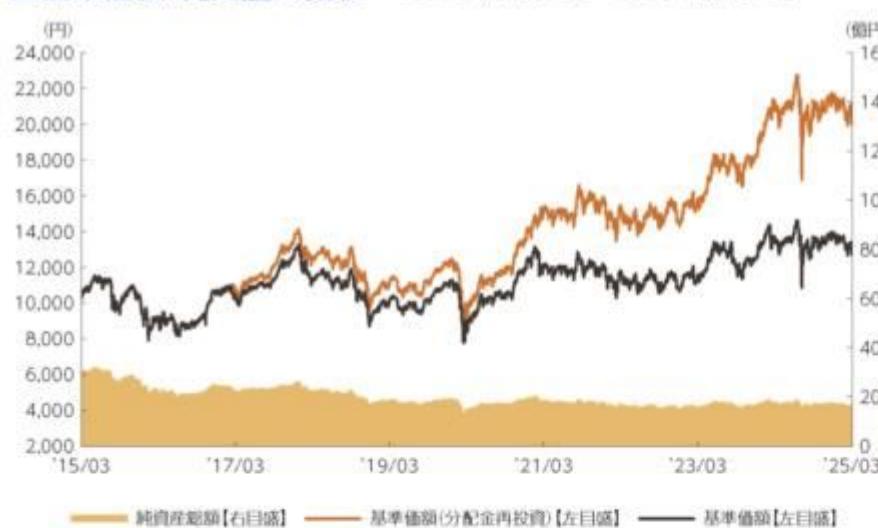


- ・收益率は基準価額(分配金再投資)で計算
- ・2025年は年初から3月31日までの收益率を表示

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド

■基準価額・純資産の推移 2015年3月31日～2025年3月31日



■分配の推移

| | |
|----------|--------|
| 2025年 3月 | 150円 |
| 2024年 9月 | 0円 |
| 2024年 3月 | 900円 |
| 2023年 9月 | 800円 |
| 2023年 3月 | 200円 |
| 2022年 9月 | 300円 |
| 設定来累計 | 6,250円 |

・分配金は1万口当たり、税引前

・基準価額(分配金再投資)はグラフの起点における基準価額に合わせて指数化

・基準価額、基準価額(分配金再投資)は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■主要な資産の状況

| 組入上位業種 | 比率 | 組入上位銘柄 | 業種 | 比率 |
|----------|-------|------------------------|--------|------|
| 1 電気機器 | 18.9% | 1 ソニーグループ | 電気機器 | 5.1% |
| 2 情報・通信業 | 10.3% | 2 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 3.3% |
| 3 銀行業 | 9.7% | 3 ルネサスエレクトロニクス | 電気機器 | 2.5% |
| 4 輸送用機器 | 8.6% | 4 白立製作所 | 電気機器 | 2.5% |
| 5 卸売業 | 5.8% | 5 FOOD & LIFE COMPANIE | 小売業 | 2.4% |
| 6 小売業 | 5.7% | 6 トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 2.4% |
| 7 化学 | 4.3% | 7 東京エレクトロン | 電気機器 | 2.4% |
| 8 保険業 | 3.6% | 8 Sansan | 情報・通信業 | 2.2% |
| 9 機械 | 3.2% | 9 スズキ | 輸送用機器 | 2.0% |
| 10 医薬品 | 3.1% | 10 ソフトバンクグループ | 情報・通信業 | 2.0% |

・各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)

・国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの

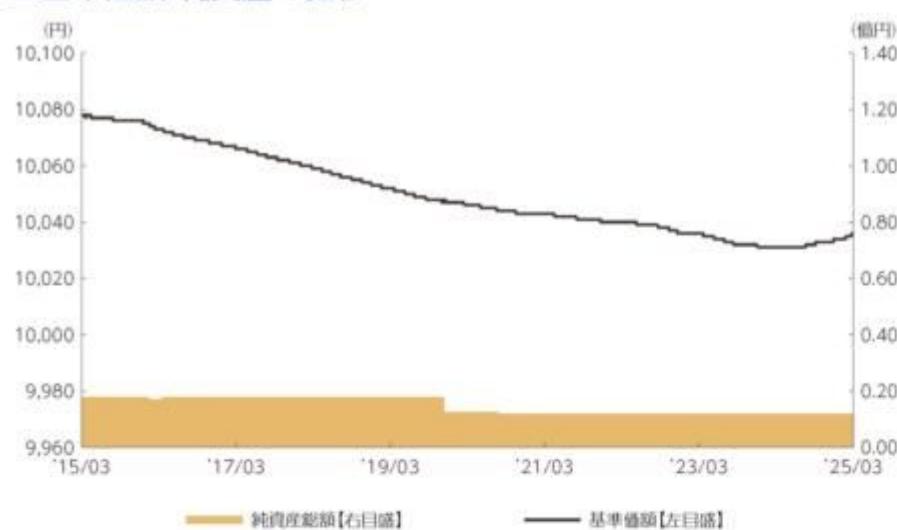
■年間收益率の推移



上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

BWマネープールファンド

■基準価額・純資産の推移 2015年3月31日～2025年3月31日



・基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

| | |
|-------|---------|
| 基準価額 | 10,036円 |
| 純資産総額 | 0.1億円 |

・純資産総額は表示桁未満切捨て

■分配の推移

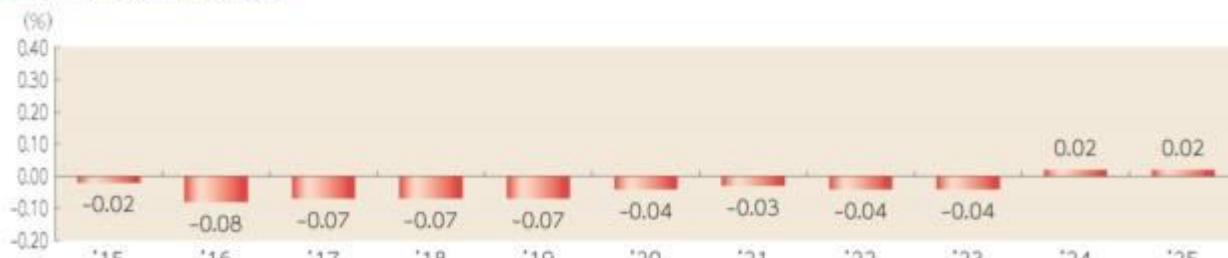
| | |
|----------|----|
| 2025年 3月 | 0円 |
| 2024年 9月 | 0円 |
| 2024年 3月 | 0円 |
| 2023年 9月 | 0円 |
| 2023年 3月 | 0円 |
| 2022年 9月 | 0円 |
| 設定来累計 | 0円 |

・分配金は1万口当たり、税引前

■主要な資産の状況

| 種別構成 | 比率 |
|--------------------|--------|
| コールローン他 (負債控除後) | 100.0% |
| 合計 | 100.0% |

■年間收益率の推移



・收益率は基準価額で計算

・2025年は年初から3月31日までの收益率を表示

・ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

申込みの受付

原則として、いつでも申込みができます。

ただし、「BWマネープールファンド」への取得申込みは、スイッチングの場合に限ります。

取得申込者の受益権は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されます。

申込単位

販売会社が定める単位

申込価額

取得申込受付日の基準価額

申込価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

申込単位・申込価額の照会方法

申込単位および申込価額は、販売会社にてご確認いただけます。

また、下記においてもご照会いただけます。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00）

なお、申込価額は委託会社のホームページでもご覧いただけます。

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

申込手数料

申込価額（発行価格）×3.3%（税抜 3%）を上限として販売会社が定める手数料率

申込みには分配金受取コース（一般コース）と分配金再投資コース（累積投資コース）があり、分配金再投資コース（累積投資コース）の場合、再投資される収益分配金については、申込手数料はかかりません。

「BWマネープールファンド」を取得する場合には、無手数料とします。「BWマネープールファンド」への取得申込みは、スイッチングの場合に限ります。

申込方法

取得申込者は、販売会社に取引口座を開設のうえ、申込みを行うものとします。

取得申込者は、申込金額および申込手数料（税込）を販売会社が定める日までに支払うものとします。

なお、申込みには分配金受取コース（一般コース）と分配金再投資コース（累積投資コース）があります。申込みコースの取扱いは販売会社により異なる場合があります。

申込受付時間

取得の申込みは、申込期間において、原則として販売会社の営業日の午後3時30分までに、販売会社所定の方法で行われます。取得申込みが行われ、かつ当該取得申込みに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。当該時刻を過ぎての申込みに関しては販売会社にご確認ください。なお、販売会社によっては、上記より早い時刻に取得申込みを締め切ることとしている場合があります。詳しくは販売会社にご確認ください。

取得申込みの受付の中止および取消し

金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、取得申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた取得申込みの受付を取り消すことがあります。

申込（販売）手続等の詳細に関しては販売会社にご確認ください。

2【換金（解約）手続等】

解約の受付

原則として、いつでも解約の請求ができます。

受益者の解約請求に係る受益権の口数の減少は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されます。

解約単位

1口単位

解約価額

解約請求受付日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額

ただし、「BWマネーパールファンド」の解約価額は、解約請求受付日の基準価額とします。

信託財産留保額

解約請求受付日の基準価額に0.3%をかけた額

ただし、「BWマネーパールファンド」は、信託財産留保額はかかりません。

解約価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

解約価額の照会方法

解約価額は、販売会社にてご確認いただけます。

なお、下記においてもご照会いただけます。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

(受付時間：営業日の9:00～17:00)

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

支払開始日

解約代金は、原則として解約請求受付日から起算して5営業日目から販売会社において支払います。

解約請求受付時間

解約の請求は、原則として販売会社の営業日の午後3時30分までに、販売会社所定の方法で行われます。解約請求が行われ、かつ当該換金請求に係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。当該時刻を過ぎての請求に関しては販売会社にご確認ください。なお、販売会社によっては、上記より早い時刻に解約請求を締め切ることとしている場合があります。詳しくは販売会社にご確認ください。

解約請求受付の中止および取消し

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、解約請求の受付を中止することおよびすでに受け付けた解約請求を取り消すことがあります。その場合には、受益者は、当該受付中止以前に行つた当日の解約請求を撤回できます。ただし、受益者がその解約請求を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に解約請求を受け付けたものとします。

また、市況動向等により、大口の解約請求に制限を設ける場合があります。

換金（解約）手続等の詳細に関しては販売会社にご確認ください。

3【資産管理等の概要】

(1)【資産の評価】

基準価額の算出方法

基準価額 = 信託財産の純資産総額 ÷ 受益権総口数

なお、便宜上1万口当たりに換算した価額で表示することがあります。

「信託財産の純資産総額」とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券および借入

有価証券を除きます。)を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。

(資産の評価方法)

・株式 / 上場投資信託証券 / 不動産投資信託証券

原則として、金融商品取引所における計算日の最終相場(外国で取引されているものについては、原則として、金融商品取引所における計算時に知りうる直近の日の最終相場)で評価します。

・転換社債 / 転換社債型新株予約権付社債

原則として、金融商品取引所における計算日の最終相場、計算日に入手した日本証券業協会発表の売買参考統計値(平均値)、金融商品取引業者・銀行等の提示する価額または価格情報会社の提供する価額のいずれかの価額(外国で取引されているものについては、原則として、計算日に入手した日本証券業協会発表の売買参考統計値(平均値)、金融商品取引業者・銀行等の提示する価額または価格情報会社の提供する価額のいずれかの価額)で評価します。

・公社債等

原則として、計算日に入手した日本証券業協会発表の売買参考統計値(平均値)、金融商品取引業者・銀行等の提示する価額(売気配相場を除く。)または価格情報会社の提供する価額のいずれかの価額で評価します。

残存期間1年以内の公社債等については、一部償却原価法による評価を適用することができます。

・マザーファンド

計算日における基準価額で評価します。

・投資信託証券(上場投資信託証券 / 不動産投資信託証券を除く。)

原則として、計算日に知りうる直近の日の基準価額で評価します。

・外貨建資産

原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円換算します。

・外国為替予約取引

原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値により評価します。

・市場デリバティブ取引

原則として、金融商品取引所が発表する計算日の清算値段等で評価します。

基準価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

基準価額の照会方法

基準価額は、販売会社にてご確認いただけます。

なお、下記においてもご照会いただけます。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

(受付時間: 営業日の9:00~17:00)

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

(2)【保管】

該当事項はありません。

(3)【信託期間】

無期限(2000年5月2日設定)

ただし、後記「ファンドの償還条件等」の規定によりファンドを償還させることができます。

（4）【計算期間】

毎年3月11日から9月10日および9月11日から翌年3月10日まで

ただし、各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日の場合、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。なお、最終計算期間の終了日は、ファンドの信託期間の終了日とします。

（5）【その他】

ファンドの償還条件等

委託会社は、以下の場合には、法令および信託約款に定める手続きにしたがい、受託会社と合意のうえ、ファンドを償還させることができます。（任意償還）

- ・各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合
- ・信託期間中において、ファンドを償還させることが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したとき

このほか、監督官庁よりファンドの償還の命令を受けたとき、委託会社の登録取消・解散・業務廃止のときは、原則として、ファンドを償還させます。

委託会社は、ファンドを償還しようとするときは、あらかじめその旨を監督官庁に届け出ます。

信託約款の変更

委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、法令および信託約款に定める手続きにしたがい、受託会社と合意のうえ、信託約款を変更することができます。委託会社は、信託約款を変更しようとするときは、あらかじめその旨を監督官庁に届け出ます。

委託会社は、監督官庁の命令に基づいて信託約款を変更しようとするときは、上記の手続きにしたがいます。

ファンドの償還等に関する開示方法

委託会社は、ファンドの任意償還または信託約款の変更のうち重大な内容の変更を行おうとする場合、あらかじめその旨およびその内容を公告し、かつ、原則としてこれらの事項を記載した書面を受益者に交付します（ただし、この信託約款に係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。）。この公告および書面には、原則として、受益者で異議のあるものは一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。

異議申立ておよび反対者の買取請求権

受益者は、委託会社がファンドの任意償還または信託約款について重大な内容の変更を行おうとする場合、原則として、一定の期間（1ヶ月以上）内に委託会社に対して異議を述べることができます。異議を述べた受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買い取るべき旨を請求することができます。なお、一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるときは、ファンドの償還または信託約款の変更を行いません。その場合、償還しない旨または信託約款を変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、原則として、これらの事項を記載した書面を受益者に交付します（ただし、この信託契約に係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。）。

関係法人との契約の更改

委託会社と販売会社との間で締結された「投資信託受益権の取扱に関する契約」の契約期間は、契約締結日から1年とします。ただし双方から契約満了日の3ヶ月前までに別段の意思表示のないときは、さらに1年間延長するものとし、その後も同様とします。

運用報告書

委託会社は、毎計算期間の末日および償還時に、交付運用報告書を作成し、原則として受益者に交付します。なお、信託約款の内容に委託会社が重要と判断した変更、ファンドの任意償還等があった場合は、その内容を交付運用報告書に記載します。

委託会社の事業の譲渡および承継に伴う取扱い

委託会社は、事業の全部または一部を譲渡する THERE があります。これに伴い、この信託契約に関する事業を譲渡する THERE があります。また、委託会社は、分割により事業の全部または一部を承継せざる THERE があります。これに伴い、この信託契約に関する事業を承継せざる THERE があります。

受託会社の辞任および解任に伴う取扱い

受託会社は、委託会社の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託会社がその任務に背いた場合、その他重要な事由が生じたときは、委託会社または受益者は、裁判所に受託会社の解任を請求することができます。受託会社が辞任した場合、または裁判所が受託会社を解任した場合、委託会社は、信託約款の規定にしたがい、新受託会社を選任します。委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社はファンドを償還させます。

信託事務の再信託

受託会社は、ファンドに係る信託事務の処理の一部について再信託受託会社と再信託契約を締結し、これを委託する THERE があります。その場合には、再信託に係る契約書類に基づいて所定の事務を行います。

公告

委託会社が受益者に対する公告は、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。

<https://www.am.mufg.jp/>

なお、電子公告による公告をすることのできない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

4 【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は以下の通りです。

(1) 収益分配金に対する受領権

受益者は、収益分配金を持ち分に応じて受領する権利を有します。

分配金受取コース（一般コース）

収益分配金は、税金を差引いた後、毎計算期間の終了日後1ヶ月以内の委託会社の指定する日（原則として決算日から起算して5営業日以内）から、販売会社において、受益者に支払います。

ただし、受益者が、収益分配金について支払開始日から5年間その支払いの請求を行わない場合はその権利を失い、その金銭は委託会社に帰属します。

分配金再投資コース（累積投資コース）

収益分配金は、税金を差引いた後、「累積投資契約」に基づいて、決算日の基準価額により自動的に無手数料で全額再投資されます。

(2) 償還金に対する受領権

受益者は、償還金を持ち分に応じて受領する権利を有します。

償還金は、信託終了日後1ヶ月以内の委託会社の指定する日（原則として償還日（休業日の場合は翌営業日）から起算して5営業日以内）から、販売会社において、受益者に支払います。

ただし、受益者が、償還金について支払開始日から10年間その支払いの請求を行わない場合はその権利を失い、その金銭は委託会社に帰属します。

(3) 換金（解約）請求権

受益者は、自己に帰属する受益権につき、換金（解約）請求する権利を有します。

くわしくは「第2 管理及び運営 2 換金（解約）手続等」を参照してください。

第3 【ファンドの経理状況】

- 1 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- 2 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期（2024年9月11日から2025年3月10日まで）の財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人により監査を受けております。

1 【財務諸表】

【三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンド】

(1) 【貸借対照表】

(単位:円)

| | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|-----------------|---------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| コール・ローン | 15,729,124 | 14,589,395 |
| 親投資信託受益証券 | 1,267,901,085 | 1,217,370,996 |
| 未収入金 | 6,385,110 | 12,490,677 |
| 未収利息 | 91 | 185 |
| 流動資産合計 | 1,290,015,410 | 1,244,451,253 |
| 資産合計 | 1,290,015,410 | 1,244,451,253 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払解約金 | 916,469 | - |
| 未払受託者報酬 | 754,787 | 727,713 |
| 未払委託者報酬 | 12,076,523 | 11,094,803 |
| その他未払費用 | 19,560 | 18,867 |
| 流動負債合計 | 13,767,339 | 11,841,383 |
| 負債合計 | 13,767,339 | 11,841,383 |
| 純資産の部 | | |
| 元本等 | | |
| 元本 | 1,265,518,701 | 1,235,664,507 |
| 剰余金 | | |
| 期末剰余金又は期末欠損金() | 10,729,370 | 3,054,637 |
| (分配準備積立金) | 201,414,983 | 196,707,289 |
| 元本等合計 | 1,276,248,071 | 1,232,609,870 |
| 純資産合計 | 1,276,248,071 | 1,232,609,870 |
| 負債純資産合計 | 1,290,015,410 | 1,244,451,253 |

(2) 【損益及び剩余金計算書】

(単位:円)

| | 第48期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日 | 第49期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日 |
|---|--|--|
| 営業収益 | | |
| 受取利息 | 5,514 | 13,627 |
| 有価証券売買等損益 | 66,667,666 | 116,090 |
| 営業収益合計 | 66,662,152 | 129,717 |
| 営業費用 | | |
| 支払利息 | 2 | - |
| 受託者報酬 | 754,787 | 727,713 |
| 委託者報酬 | 12,076,523 | 11,094,803 |
| その他費用 | 19,560 | 18,867 |
| 営業費用合計 | 12,850,872 | 11,841,383 |
| 営業利益又は営業損失() | 79,513,024 | 11,711,666 |
| 経常利益又は経常損失() | 79,513,024 | 11,711,666 |
| 当期純利益又は当期純損失() | 79,513,024 | 11,711,666 |
| 一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額() | 280,654 | 1,892,210 |
| 期首剩余金又は期首次損金() | 92,909,479 | 10,729,370 |
| 剩余金増加額又は欠損金減少額 | 362,923 | 9,020 |
| 当期追加信託に伴う剩余金増加額又は欠損金減少額 | 362,923 | 9,020 |
| 剩余金減少額又は欠損金増加額 | 2,749,354 | 189,151 |
| 当期一部解約に伴う剩余金減少額又は欠損金増加額 | 2,749,354 | 189,151 |
| 分配金 | - | - |
| 期末剩余金又は期末欠損金() | 10,729,370 | 3,054,637 |

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| | |
|--------------------|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法 | 親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。 |
|--------------------|---|

(重要な会計上の見積りに関する注記)

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

| | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|---|-------------------------|-------------------------|
| 1. 期首元本額 | 1,300,554,117円 | 1,265,518,701円 |
| 期中追加設定元本額 | 5,034,543円 | 136,519円 |
| 期中一部解約元本額 | 40,069,959円 | 29,990,713円 |
| 2. 元本の欠損 純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。 | 円 | 3,054,637円 |
| 3. 受益権の総数 | 1,265,518,701口 | 1,235,664,507口 |

(損益及び剩余金計算書に関する注記)

| 第48期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日 | 第49期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------------|--|--------------|---|---|---------------------------|---|---|--------|---|------------|----------|---|--------------|---------------|-----------|--------------|--------------|---|----------------|---------------|--------------|--------|------------|---|---|--------|--------------|---|--|----|--|--|--------------|---|---|---------------------------|---|---|--------|---|------------|----------|---|--------------|---------------|-----------|--------------|--------------|---|----------------|---------------|--------------|--------|------------|---|---|--------|--------------|---|
| 1. 分配金の計算過程 | 1. 分配金の計算過程 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>円</td></tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>円</td></tr> <tr> <td>収益調整金額</td><td>C</td><td>3,334,334円</td></tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>201,414,983円</td></tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>204,749,317円</td></tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>1,265,518,701口</td></tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>1,617円</td></tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>円</td></tr> <tr> <td>収益分配金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>円</td></tr> </tbody> </table> | 項目 | | | 費用控除後の配当等収益額 | A | 円 | 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | 円 | 収益調整金額 | C | 3,334,334円 | 分配準備積立金額 | D | 201,414,983円 | 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 204,749,317円 | 当ファンドの期末残存口数 | F | 1,265,518,701口 | 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,617円 | 1万口当たり分配金額 | H | 円 | 収益分配金額 | I=F*H/10,000 | 円 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>円</td></tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>円</td></tr> <tr> <td>収益調整金額</td><td>C</td><td>3,277,221円</td></tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>196,707,289円</td></tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>199,984,510円</td></tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>1,235,664,507口</td></tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>1,618円</td></tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>円</td></tr> <tr> <td>収益分配金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>円</td></tr> </tbody> </table> | 項目 | | | 費用控除後の配当等収益額 | A | 円 | 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | 円 | 収益調整金額 | C | 3,277,221円 | 分配準備積立金額 | D | 196,707,289円 | 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 199,984,510円 | 当ファンドの期末残存口数 | F | 1,235,664,507口 | 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,618円 | 1万口当たり分配金額 | H | 円 | 収益分配金額 | I=F*H/10,000 | 円 |
| 項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収益調整金額 | C | 3,334,334円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分配準備積立金額 | D | 201,414,983円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 204,749,317円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 1,265,518,701口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,617円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1万口当たり分配金額 | H | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収益分配金額 | I=F*H/10,000 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収益調整金額 | C | 3,277,221円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分配準備積立金額 | D | 196,707,289円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 199,984,510円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 1,235,664,507口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,618円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1万口当たり分配金額 | H | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収益分配金額 | I=F*H/10,000 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

| 区分 | 第48期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日 | 第49期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日 |
|--------------------------|--|--|
| 1. 金融商品に対する取組方針 | 当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和26年法律第198号)第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づいております。 | 同左 |
| 2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク | 当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 | 同左 |
| 3. 金融商品に係るリスク管理体制 | ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果はリスク管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。 | 同左 |

2 金融商品の時価等に関する事項

| 区分 | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|----------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額 | 時価で計上しているためその差額はありません。 | 同左 |

| 区分 | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|----------------------------|--|---|
| 2. 時価の算定方法 | <p>(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p> | <p>(1) 有価証券 同左</p> <p>(2) デリバティブ取引 同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 同左</p> |
| 3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 | 同左 |

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

| 種類 | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|-----------|---------------------------|---------------------------|
| | 当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円) | 当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円) |
| 親投資信託受益証券 | 66,521,568 | 2,425,396 |
| 合計 | 66,521,568 | 2,425,396 |

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

| | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) | 1.0085円 (10,085円) | 0.9975円 (9,975円) |

(4)【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

(単位:円)

| 種類 | 銘柄 | 口数 | 評価額 | 備考 |
|-----------|-------------|-------------|---------------|----|
| 親投資信託受益証券 | グロースマザーファンド | 673,734,571 | 1,217,370,996 | |
| | 合計 | 673,734,571 | 1,217,370,996 | |

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド】

(1) 【貸借対照表】

(単位:円)

| | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|-----------------|---------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| コール・ローン | 14,588,799 | 8,200,045 |
| 親投資信託受益証券 | 488,060,883 | 482,183,357 |
| 未収入金 | 12,744,153 | 16,774,441 |
| 未収利息 | 85 | 104 |
| 流動資産合計 | 515,393,920 | 507,157,947 |
| 資産合計 | 515,393,920 | 507,157,947 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払収益分配金 | 3,443,749 | 16,067,390 |
| 未払解約金 | 601,135 | 7,496 |
| 未払受託者報酬 | 288,755 | 279,787 |
| 未払委託者報酬 | 4,619,877 | 4,265,256 |
| その他未払費用 | 7,443 | 7,214 |
| 流動負債合計 | 8,960,959 | 20,627,143 |
| 負債合計 | 8,960,959 | 20,627,143 |
| 純資産の部 | | |
| 元本等 | | |
| 元本 | 344,374,927 | 321,347,808 |
| 剰余金 | | |
| 期末剰余金又は期末欠損金() | 162,058,034 | 165,182,996 |
| (分配準備積立金) | 100,884,137 | 106,155,041 |
| 元本等合計 | 506,432,961 | 486,530,804 |
| 純資産合計 | 506,432,961 | 486,530,804 |
| 負債純資産合計 | 515,393,920 | 507,157,947 |

(2) 【損益及び剩余金計算書】

(単位:円)

| | 第48期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日 | 第49期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日 |
|---|--|--|
| 営業収益 | | |
| 受取利息 | 2,407 | 5,454 |
| 有価証券売買等損益 | 12,791,596 | 36,011,505 |
| 営業収益合計 | 12,794,003 | 36,016,959 |
| 営業費用 | | |
| 支払利息 | 3 | - |
| 受託者報酬 | 288,755 | 279,787 |
| 委託者報酬 | 4,619,877 | 4,265,256 |
| その他費用 | 7,443 | 7,214 |
| 営業費用合計 | 4,916,078 | 4,552,257 |
| 営業利益又は営業損失() | 7,877,925 | 31,464,702 |
| 経常利益又は経常損失() | 7,877,925 | 31,464,702 |
| 当期純利益又は当期純損失() | 7,877,925 | 31,464,702 |
| 一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額() | 3,517,392 | 2,016,115 |
| 期首剩余金又は期首次損金() | 174,140,593 | 162,058,034 |
| 剩余金増加額又は欠損金減少額 | 19,089,303 | 2,873,246 |
| 当期追加信託に伴う剩余金増加額又は欠損金減少額 | 19,089,303 | 2,873,246 |
| 剩余金減少額又は欠損金増加額 | 32,088,646 | 13,129,481 |
| 当期一部解約に伴う剩余金減少額又は欠損金増加額 | 32,088,646 | 13,129,481 |
| 分配金 | 3,443,749 | 16,067,390 |
| 期末剩余金又は期末欠損金() | 162,058,034 | 165,182,996 |

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| | |
|--------------------|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法 | 親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。 |
|--------------------|---|

(重要な会計上の見積りに関する注記)

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

| | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|-----------|-------------------------|-------------------------|
| 1. 期首元本額 | 377,861,992円 | 344,374,927円 |
| 期中追加設定元本額 | 36,497,669円 | 5,076,952円 |
| 期中一部解約元本額 | 69,984,734円 | 28,104,071円 |
| 2. 受益権の総数 | 344,374,927口 | 321,347,808口 |

(損益及び剩余金計算書に関する注記)

| 第48期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日 | 第49期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日 |
|--|--|
| 1. 分配金の計算過程 | 1. 分配金の計算過程 |

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

| 区分 | 第48期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日 | 第49期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日 |
|--------------------------|--|--|
| 1. 金融商品に対する取組方針 | 当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和26年法律第198号)第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。 | 同左 |
| 2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク | 当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 | 同左 |
| 3. 金融商品に係るリスク管理体制 | ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果はリスク管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。 | 同左 |

2 金融商品の時価等に関する事項

| 区分 | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|----------------------|--|-------------------------|
| 1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額 | 時価で計上しているためその差額はありません。 | 同左 |
| 2. 時価の算定方法 | (1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 | (1) 有価証券 同左 |

| 区分 | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|----------------------------|---|--|
| 3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | <p>(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p> <p>金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p> | <p>(2) デリバティブ取引 同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 同左</p> <p>同左</p> |

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

| 種類 | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|-----------|---------------------------|---------------------------|
| | 当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円) | 当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円) |
| 親投資信託受益証券 | 9,149,611 | 32,263,321 |
| 合計 | 9,149,611 | 32,263,321 |

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

| | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) | 1.4706円 (14,706円) | 1.5140円 (15,140円) |

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

(単位：円)

| 種類 | 銘柄 | 口数 | 評価額 | 備考 |
|-----------|-------------|------------|-------------|----|
| 親投資信託受益証券 | バリューマザーファンド | 77,817,949 | 482,183,357 | |
| | 合計 | 77,817,949 | 482,183,357 | |

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド】

(1) 【貸借対照表】

(単位:円)

| | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|-----------------|---------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| コール・ローン | 20,141,873 | 19,083,620 |
| 親投資信託受益証券 | 1,593,285,875 | 1,598,575,790 |
| 未収入金 | 32,120,390 | 37,886,182 |
| 未収利息 | 117 | 242 |
| 流動資産合計 | 1,645,548,255 | 1,655,545,834 |
| 資産合計 | 1,645,548,255 | 1,655,545,834 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払収益分配金 | - | 18,977,828 |
| 未払解約金 | 68 | 35 |
| 未払受託者報酬 | 964,589 | 935,701 |
| 未払委託者報酬 | 15,433,309 | 14,261,052 |
| その他未払費用 | 25,013 | 24,272 |
| 流動負債合計 | 16,422,979 | 34,198,888 |
| 負債合計 | 16,422,979 | 34,198,888 |
| 純資産の部 | | |
| 元本等 | | |
| 元本 | 1,286,282,007 | 1,265,188,555 |
| 剰余金 | | |
| 期末剰余金又は期末欠損金() | 342,843,269 | 356,158,391 |
| (分配準備積立金) | 433,107,582 | 417,866,054 |
| 元本等合計 | 1,629,125,276 | 1,621,346,946 |
| 純資産合計 | 1,629,125,276 | 1,621,346,946 |
| 負債純資産合計 | 1,645,548,255 | 1,655,545,834 |

(2) 【損益及び剩余金計算書】

(単位:円)

| | 第48期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日 | 第49期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日 |
|---|--|--|
| 営業収益 | | |
| 受取利息 | 7,066 | 17,506 |
| 有価証券売買等損益 | 37,267,206 | 54,517,273 |
| 営業収益合計 | 37,260,140 | 54,534,779 |
| 営業費用 | | |
| 支払利息 | 3 | - |
| 受託者報酬 | 964,589 | 935,701 |
| 委託者報酬 | 15,433,309 | 14,261,052 |
| その他費用 | 25,013 | 24,272 |
| 営業費用合計 | 16,422,914 | 15,221,025 |
| 営業利益又は営業損失() | 53,683,054 | 39,313,754 |
| 経常利益又は経常損失() | 53,683,054 | 39,313,754 |
| 当期純利益又は当期純損失() | 53,683,054 | 39,313,754 |
| 一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額() | 1,451,313 | 1,488,361 |
| 期首剩余金又は期首次損金() | 409,575,267 | 342,843,269 |
| 剩余金増加額又は欠損金減少額 | 707,456 | 107,819 |
| 当期追加信託に伴う剩余金増加額又は欠損金減少額 | 707,456 | 107,819 |
| 剩余金減少額又は欠損金増加額 | 12,305,087 | 5,640,262 |
| 当期一部解約に伴う剩余金減少額又は欠損金増加額 | 12,305,087 | 5,640,262 |
| 分配金 | - | 18,977,828 |
| 期末剩余金又は期末欠損金() | 342,843,269 | 356,158,391 |

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| | |
|--------------------|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法 | 親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。 |
|--------------------|---|

(重要な会計上の見積りに関する注記)

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

| | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|-----------|-------------------------|-------------------------|
| 1. 期首元本額 | 1,324,292,348円 | 1,286,282,007円 |
| 期中追加設定元本額 | 2,228,447円 | 324,403円 |
| 期中一部解約元本額 | 40,238,788円 | 21,417,855円 |
| 2. 受益権の総数 | 1,286,282,007口 | 1,265,188,555口 |

(損益及び剩余金計算書に関する注記)

| 第48期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日 | 第49期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------------|--|--------------|---|---|---------------------------|---|---|--------|---|------------|----------|---|--------------|---------------|-----------|--------------|--------------|---|----------------|---------------|--------------|--------|------------|---|---|--------|--------------|---|---|----|--|--|--------------|---|-------------|---------------------------|---|---|--------|---|------------|----------|---|--------------|---------------|-----------|--------------|--------------|---|----------------|---------------|--------------|--------|------------|---|------|--------|--------------|-------------|
| <p>1. 分配金の計算過程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>5,460,848円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>433,107,582円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>438,568,430円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>1,286,282,007口</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F*10,000</td> <td>3,409円</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金額</td> <td>I=F*H/10,000</td> <td>円</td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | | | 費用控除後の配当等収益額 | A | 円 | 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | 円 | 収益調整金額 | C | 5,460,848円 | 分配準備積立金額 | D | 433,107,582円 | 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 438,568,430円 | 当ファンドの期末残存口数 | F | 1,286,282,007口 | 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 3,409円 | 1万口当たり分配金額 | H | 円 | 収益分配金額 | I=F*H/10,000 | 円 | <p>1. 分配金の計算過程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>10,878,996円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>5,480,366円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>425,964,886円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>442,324,248円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>1,265,188,555口</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F*10,000</td> <td>3,496円</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>150円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金額</td> <td>I=F*H/10,000</td> <td>18,977,828円</td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | | | 費用控除後の配当等収益額 | A | 10,878,996円 | 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | 円 | 収益調整金額 | C | 5,480,366円 | 分配準備積立金額 | D | 425,964,886円 | 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 442,324,248円 | 当ファンドの期末残存口数 | F | 1,265,188,555口 | 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 3,496円 | 1万口当たり分配金額 | H | 150円 | 収益分配金額 | I=F*H/10,000 | 18,977,828円 |
| 項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収益調整金額 | C | 5,460,848円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分配準備積立金額 | D | 433,107,582円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 438,568,430円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 1,286,282,007口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 3,409円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1万口当たり分配金額 | H | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収益分配金額 | I=F*H/10,000 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 10,878,996円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収益調整金額 | C | 5,480,366円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分配準備積立金額 | D | 425,964,886円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 442,324,248円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 1,265,188,555口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 3,496円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1万口当たり分配金額 | H | 150円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収益分配金額 | I=F*H/10,000 | 18,977,828円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

| 区分 | 第48期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日 | 第49期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日 |
|--------------------------|--|--|
| 1. 金融商品に対する取組方針 | 当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和26年法律第198号)第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っています。 | 同左 |
| 2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク | 当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 | 同左 |
| 3. 金融商品に係るリスク管理体制 | ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果はリスク管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。 | 同左 |

2 金融商品の時価等に関する事項

| 区分 | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|----------------------|--|---------------------------|
| 1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額 | 時価で計上しているためその差額はありません。 | 同左 |
| 2. 時価の算定方法 | (1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 | (1) 有価証券 同左 |

| 区分 | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|----------------------------|---|--|
| 3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | <p>(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p> <p>金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p> | <p>(2) デリバティブ取引 同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 同左</p> <p>同左</p> |

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

| 種類 | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|-----------|---------------------------|---------------------------|
| | 当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円) | 当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円) |
| 親投資信託受益証券 | 40,908,948 | 42,051,130 |
| 合計 | 40,908,948 | 42,051,130 |

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

| | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) | 1.2665円 (12,665円) | 1.2815円 (12,815円) |

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

(単位：円)

| 種類 | 銘柄 | 口数 | 評価額 | 備考 |
|---------------|-------------|-------------|---------------|----|
| 親投資信託受益 証券 | グロースマザーファンド | 427,597,202 | 772,625,384 | |
| | バリューマザーファンド | 133,297,356 | 825,950,406 | |
| | 合計 | 560,894,558 | 1,598,575,790 | |

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【BWマネーブールファンド】

(1) 【貸借対照表】

(単位:円)

| | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|-----------------|---------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| コール・ローン | 1,948,253 | 1,959,583 |
| 現先取引勘定 | 9,991,500 | 9,992,000 |
| 未収利息 | 11 | 24 |
| 流動資産合計 | 11,939,764 | 11,951,607 |
| 資産合計 | 11,939,764 | 11,951,607 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払受託者報酬 | 383 | 1,507 |
| 未払委託者報酬 | 2,928 | 10,201 |
| その他未払費用 | - | 1 |
| 流動負債合計 | 3,311 | 11,709 |
| 負債合計 | 3,311 | 11,709 |
| 純資産の部 | | |
| 元本等 | | |
| 元本 | 11,898,209 | 11,898,209 |
| 剰余金 | | |
| 期末剰余金又は期末欠損金() | 38,244 | 41,689 |
| (分配準備積立金) | 33,058 | 36,503 |
| 元本等合計 | 11,936,453 | 11,939,898 |
| 純資産合計 | 11,936,453 | 11,939,898 |
| 負債純資産合計 | 11,939,764 | 11,951,607 |

(2) 【損益及び剩余金計算書】

(単位：円)

| | 第48期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日 | 第49期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日 |
|---|--|--|
| 営業収益 | | |
| 受取利息 | 4,455 | 15,154 |
| 営業収益合計 | 4,455 | 15,154 |
| 営業費用 | | |
| 支払利息 | 10 | - |
| 受託者報酬 | 383 | 1,507 |
| 委託者報酬 | 2,928 | 10,201 |
| その他費用 | - | 1 |
| 営業費用合計 | 3,321 | 11,709 |
| 営業利益又は営業損失() | 1,134 | 3,445 |
| 経常利益又は経常損失() | 1,134 | 3,445 |
| 当期純利益又は当期純損失() | 1,134 | 3,445 |
| 一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額() | - | - |
| 期首剩余金又は期首次損金() | 37,110 | 38,244 |
| 分配金 | - | - |
| 期末剩余金又は期末欠損金() | 38,244 | 41,689 |

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

| | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|------------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. 期首元本額 期中追加設定元本額 期中一部解約元本額 | 11,898,209円 円 円 | 11,898,209円 円 円 |
| 2. 受益権の総数 | 11,898,209口 | 11,898,209口 |

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

| 第48期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日 | 第49期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-------------|--|--------------|---|--------|---------------------------|---|---|--------|---|---------|----------|---|---------|---------------|-----------|---------|--------------|---|-------------|---------------|--------------|-----|------------|---|---|--------|--------------|---|---|----|--|--|--------------|---|--------|---------------------------|---|---|--------|---|---------|----------|---|---------|---------------|-----------|----------|--------------|---|-------------|---------------|--------------|-----|------------|---|---|--------|--------------|---|
| <p>1. 分配金の計算過程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>1,134円</td></tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>円</td></tr> <tr> <td>収益調整金額</td><td>C</td><td>66,346円</td></tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>31,924円</td></tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>99,404円</td></tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>11,898,209口</td></tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>83円</td></tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>円</td></tr> <tr> <td>収益分配金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>円</td></tr> </tbody> </table> | 項目 | | | 費用控除後の配当等収益額 | A | 1,134円 | 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | 円 | 収益調整金額 | C | 66,346円 | 分配準備積立金額 | D | 31,924円 | 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 99,404円 | 当ファンドの期末残存口数 | F | 11,898,209口 | 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 83円 | 1万口当たり分配金額 | H | 円 | 収益分配金額 | I=F*H/10,000 | 円 | <p>1. 分配金の計算過程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th></th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>3,445円</td></tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>円</td></tr> <tr> <td>収益調整金額</td><td>C</td><td>66,346円</td></tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>33,058円</td></tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>102,849円</td></tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>11,898,209口</td></tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>86円</td></tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>円</td></tr> <tr> <td>収益分配金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>円</td></tr> </tbody> </table> | 項目 | | | 費用控除後の配当等収益額 | A | 3,445円 | 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | 円 | 収益調整金額 | C | 66,346円 | 分配準備積立金額 | D | 33,058円 | 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 102,849円 | 当ファンドの期末残存口数 | F | 11,898,209口 | 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 86円 | 1万口当たり分配金額 | H | 円 | 収益分配金額 | I=F*H/10,000 | 円 |
| 項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 1,134円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収益調整金額 | C | 66,346円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分配準備積立金額 | D | 31,924円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 99,404円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 11,898,209口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 83円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1万口当たり分配金額 | H | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収益分配金額 | I=F*H/10,000 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 3,445円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収益調整金額 | C | 66,346円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分配準備積立金額 | D | 33,058円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 102,849円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 11,898,209口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 86円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1万口当たり分配金額 | H | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収益分配金額 | I=F*H/10,000 | 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

| 区分 | 第48期 自 2024年 3月12日 至 2024年 9月10日 | 第49期 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日 |
|--------------------------|--|--|
| 1. 金融商品に対する取組方針 | 当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和26年法律第198号)第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。 | 同左 |
| 2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク | 当ファンドは、公社債等に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 | 同左 |
| 3. 金融商品に係るリスク管理体制 | ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果はリスク管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。 | 同左 |

2 金融商品の時価等に関する事項

| 区分 | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|----------------------|--|--------------------------------------|
| 1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額 | 時価で計上しているためその差額はありません。 | 同左 |
| 2. 時価の算定方法 | (1) 有価証券 売買目的有価証券は、該当事項はありません。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 | (1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 |

| 区分 | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|----------------------------|---|---------------------------|
| 3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 | (3) 上記以外の金融商品 同左 同左 |

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

| | 第48期 [2024年 9月10日現在] | 第49期 [2025年 3月10日現在] |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) | 1,0032円 (10,032円) | 1,0035円 (10,035円) |

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

当ファンドの主要投資対象の状況は以下の通りです。

なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

グロースマザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

| [2025年 3月10日現在] | |
|-------------------|---------------|
| 資産の部 | |
| 流動資産 | |
| コール・ローン | 30,798,947 |
| 株式 | 1,959,624,050 |
| 未収入金 | 28,270,542 |
| 未収配当金 | 2,184,100 |
| 未収利息 | 391 |
| 流動資産合計 | 2,020,878,030 |
| 資産合計 | 2,020,878,030 |

[2025年 3月10日現在]

負債の部

流動負債

| | |
|-------------|---------------|
| 未払解約金 | 30,898,601 |
| 流動負債合計 | 30,898,601 |
| 負債合計 | 30,898,601 |
| 純資産の部 | |
| 元本等 | |
| 元本 | 1,101,331,773 |
| 剰余金 | |
| 剰余金又は欠損金() | 888,647,656 |
| 元本等合計 | 1,989,979,429 |
| 純資産合計 | 1,989,979,429 |
| 負債純資産合計 | 2,020,878,030 |

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| | |
|--------------------|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法 | 株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。 |
|--------------------|---|

(重要な会計上の見積りに関する注記)

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

| | | [2025年 3月10日現在] |
|-------------------------|--|-------------------|
| 1. 期首 | | 2024年 9月11日 |
| 期首元本額 | | 1,216,292,914円 |
| 期中追加設定元本額 | | 18,435,208円 |
| 期中一部解約元本額 | | 133,396,349円 |
| 元本の内訳 | | |
| 三菱UFJ スタイルセレクト・グロースファンド | | 673,734,571円 |
| 三菱UFJ スタイルセレクト・ブレンドファンド | | 427,597,202円 |
| 合計 | | 1,101,331,773円 |
| 2. 受益権の総数 | | 1,101,331,773口 |

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

| 区分 | 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日 |
|--------------------------|--|
| 1. 金融商品に対する取組方針 | 当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和26年法律第198号)第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づいております。 |
| 2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク | 当ファンドは、株式に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 |
| 3. 金融商品に係るリスク管理体制 | ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果はリスク管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。 |

2 金融商品の時価等に関する事項

| 区分 | [2025年 3月10日現在] |
|----------------------|--|
| 1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額 | 時価で計上しているためその差額はありません。 |
| 2. 時価の算定方法 | (1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 |

| | |
|----------------------------|--|
| 区分 | [2025年 3月10日現在] |
| 3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 |

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

| 種類 | [2025年 3月10日現在] |
|----|--------------------|
| | 当期間の損益に含まれた評価差額(円) |
| 株式 | 13,899,362 |
| 合計 | 13,899,362 |

(注)当期間の開始日は、当該親投資信託の期首日であります。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

| | [2025年 3月10日現在] |
|--------------|-------------------|
| 1口当たり純資産額 | 1.8069円 |
| (1万口当たり純資産額) | (18,069円) |

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

(単位:円)

| | 銘柄 | 株式数 | 評価額 | | 備考 |
|------|------------------|--------|-----------|-------------|----|
| | | | 単価 | 金額 | |
| 2587 | サントリー食品インターナショナル | 4,700 | 4,914.00 | 23,095,800 | |
| 4369 | トリケミカル研究所 | 15,500 | 3,215.00 | 49,832,500 | |
| 4901 | 富士フィルムホールディングス | 800 | 3,075.00 | 2,460,000 | |
| 4980 | デクセリアルズ | 15,800 | 1,909.00 | 30,162,200 | |
| 8113 | ユニ・チャーム | 6,400 | 1,221.00 | 7,814,400 | |
| 4565 | ネクセラファーマ | 16,000 | 864.00 | 13,824,000 | |
| 4568 | 第一三共 | 12,900 | 3,487.00 | 44,982,300 | |
| 4587 | ペプチドリーム | 18,400 | 2,157.00 | 39,688,800 | |
| 3110 | 日東紡績 | 2,200 | 4,460.00 | 9,812,000 | |
| 5344 | MARUWA | 1,400 | 31,310.00 | 43,834,000 | |
| 5801 | 古河電気工業 | 7,400 | 5,835.00 | 43,179,000 | |
| 6146 | ディスコ | 600 | 33,020.00 | 19,812,000 | |
| 6273 | SMC | 600 | 58,750.00 | 35,250,000 | |
| 6367 | ダイキン工業 | 2,100 | 17,030.00 | 35,763,000 | |
| 4062 | イビデン | 5,400 | 4,354.00 | 23,511,600 | |
| 6501 | 日立製作所 | 29,100 | 3,703.00 | 107,757,300 | |
| 6504 | 富士電機 | 6,200 | 6,569.00 | 40,727,800 | |
| 6594 | ニデック | 4,900 | 2,690.50 | 13,183,450 | |

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|---------|-----------|---------------|--|
| 6723 | ルネサスエレクトロニクス | 30,500 | 2,338.50 | 71,324,250 | |
| 6758 | ソニーグループ | 38,700 | 3,458.00 | 133,824,600 | |
| 6787 | マイコー | 2,000 | 6,990.00 | 13,980,000 | |
| 6857 | アドバンテスト | 9,500 | 7,789.00 | 73,995,500 | |
| 6861 | キーエンス | 300 | 60,860.00 | 18,258,000 | |
| 6920 | レーザーテック | 200 | 15,210.00 | 3,042,000 | |
| 6961 | エンプラス | 1,100 | 4,865.00 | 5,351,500 | |
| 8035 | 東京エレクトロン | 4,500 | 21,475.00 | 96,637,500 | |
| 6902 | デンソー | 11,400 | 1,972.00 | 22,480,800 | |
| 7012 | 川崎重工業 | 5,000 | 8,500.00 | 42,500,000 | |
| 7203 | トヨタ自動車 | 12,200 | 2,829.00 | 34,513,800 | |
| 7269 | スズキ | 22,900 | 1,792.00 | 41,036,800 | |
| 4543 | テルモ | 1,700 | 2,702.50 | 4,594,250 | |
| 7741 | H O Y A | 1,000 | 17,395.00 | 17,395,000 | |
| 7747 | 朝日インテック | 12,000 | 2,439.50 | 29,274,000 | |
| 7936 | アシックス | 17,400 | 3,007.00 | 52,321,800 | |
| 3769 | G M Oペイメントゲートウェイ | 1,100 | 7,415.00 | 8,156,500 | |
| 3774 | インターネットイニシアティブ | 14,500 | 2,529.00 | 36,670,500 | |
| 3994 | マネーフォワード | 11,500 | 4,231.00 | 48,656,500 | |
| 4194 | ビジョナル | 700 | 7,146.00 | 5,002,200 | |
| 4443 | S a n s a n | 46,000 | 1,988.00 | 91,448,000 | |
| 4480 | メドレー | 2,600 | 3,130.00 | 8,138,000 | |
| 4483 | J M D C | 2,600 | 2,856.50 | 7,426,900 | |
| 9432 | 日本電信電話 | 23,500 | 147.40 | 3,463,900 | |
| 9613 | N T Tデータグループ | 7,200 | 2,767.00 | 19,922,400 | |
| 9766 | コナミグループ | 4,000 | 16,735.00 | 66,940,000 | |
| 9984 | ソフトバンクグループ | 4,300 | 8,067.00 | 34,688,100 | |
| 8001 | 伊藤忠商事 | 3,600 | 6,813.00 | 24,526,800 | |
| 8002 | 丸紅 | 14,700 | 2,405.00 | 35,353,500 | |
| 141A | トライアルホールディングス | 22,700 | 2,221.00 | 50,416,700 | |
| 3563 | F O O D & L I F E C O M P A N I E | 22,000 | 4,062.00 | 89,364,000 | |
| 9983 | ファーストリテイリング | 800 | 45,660.00 | 36,528,000 | |
| 186A | アストロスケールホールディングス | 33,900 | 735.00 | 24,916,500 | |
| 2413 | エムスリー | 14,200 | 1,735.50 | 24,644,100 | |
| 4661 | オリエンタルランド | 1,500 | 3,277.00 | 4,915,500 | |
| 6098 | リクルートホールディングス | 8,400 | 9,136.00 | 76,742,400 | |
| 6532 | ペイカレント | 2,800 | 5,887.00 | 16,483,600 | |
| 合 計 | | 563,400 | | 1,959,624,050 | |

(2)株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はありません。

バリューマザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

[2025年3月10日現在]

| 資産の部 | |
|-------------|---------------|
| 流動資産 | |
| コール・ローン | 22,040,480 |
| 株式 | 1,294,307,850 |
| 未収入金 | 26,205,328 |
| 未収配当金 | 1,823,800 |
| 未収利息 | 280 |
| 流動資産合計 | 1,344,377,738 |
| 資産合計 | 1,344,377,738 |
| 負債の部 | |
| 流動負債 | |
| 未払解約金 | 36,252,699 |
| 流動負債合計 | 36,252,699 |
| 負債合計 | 36,252,699 |
| 純資産の部 | |
| 元本等 | |
| 元本 | 211,115,305 |
| 剩余金 | |
| 剩余金又は欠損金() | 1,097,009,734 |
| 元本等合計 | 1,308,125,039 |
| 純資産合計 | 1,308,125,039 |
| 負債純資産合計 | 1,344,377,738 |

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| | |
|--------------------|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法 | 株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。 |
|--------------------|---|

(重要な会計上の見積りに関する注記)

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

| | | [2025年3月10日現在] |
|------------------------|--|----------------|
| 1. 期首 | | 2024年9月11日 |
| 期首元本額 | | 198,347,762円 |
| 期中追加設定元本額 | | 29,765,554円 |
| 期中一部解約元本額 | | 16,998,011円 |
| 元本の内訳 | | |
| 三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンド | | 77,817,949円 |
| 三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンド | | 133,297,356円 |
| 合計 | | 211,115,305円 |
| 2. 受益権の総数 | | 211,115,305口 |

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

| 区分 | 自 2024年9月11日 至 2025年3月10日 |
|-----------------|---|
| 1. 金融商品に対する取組方針 | 当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和26年法律第198号)第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づいております。 |

| | |
|------------------------------|--|
| 区分 | 自 2024年 9月11日 至 2025年 3月10日 |
| 2. 金融商品の内容及び当該金融商品に 係るリスク | 当ファンドは、株式に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の 市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 |
| 3. 金融商品に係るリスク管理体制 | ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、 運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファン ドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等 のリスク管理を行っており、この結果はリスク管理委員会等を通じて運用部門に フィードバックされます。 |

2 金融商品の時価等に関する事項

| | |
|--------------------------------|--|
| 区分 | [2025年 3月10日現在] |
| 1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額 | 時価で計上しているためその差額はありません。 |
| 2. 時価の算定方法 | (1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載してお ります。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額 と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 |
| 3. 金融商品の時価等に関する事項につ いての補足説明 | 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる 前提条件等によっては、当該価額が異なることがあります。 |

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

| 種類 | [2025年 3月10日現在] |
|----|--------------------|
| | 当期間の損益に含まれた評価差額(円) |
| 株式 | 36,518,716 |
| 合計 | 36,518,716 |

(注)当期間の開始日は、当該親投資信託の期首日であります。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1 口当たり情報)

| | [2025年 3月10日現在] |
|--------------|-------------------|
| 1口当たり純資産額 | 6.1963円 |
| (1万口当たり純資産額) | (61,963円) |

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

(単位 : 円)

| | 銘柄 | 株式数 | 評価額 | | 備考 |
|------|-----------------|-------|----------|------------|----|
| | | | 単価 | 金額 | |
| 1605 | I N P E X | 5,500 | 1,954.00 | 10,747,000 | |
| 1812 | 鹿島建設 | 8,700 | 3,048.00 | 26,517,600 | |
| 1928 | 積水ハウス | 5,800 | 3,355.00 | 19,459,000 | |
| 1942 | 関電工 | 5,900 | 2,634.50 | 15,543,550 | |
| 5076 | インフロニア・ホールディングス | 9,700 | 1,199.50 | 11,635,150 | |

| | | | | | |
|------|----------------------|---------|----------|------------|--|
| 2264 | 森永乳業 | 3,800 | 3,036.00 | 11,536,800 | |
| 2871 | ニチレイ | 1,500 | 3,568.00 | 5,352,000 | |
| 2875 | 東洋水産 | 3,500 | 8,788.00 | 30,758,000 | |
| 3402 | 東レ | 18,900 | 1,034.00 | 19,542,600 | |
| 4046 | 大阪ソーダ | 9,500 | 1,522.00 | 14,459,000 | |
| 4188 | 三菱ケミカルグループ | 10,300 | 794.10 | 8,179,230 | |
| 4901 | 富士フィルムホールディングス | 5,000 | 3,075.00 | 15,375,000 | |
| 4578 | 大塚ホールディングス | 2,000 | 7,391.00 | 14,782,000 | |
| 5021 | コスモエネルギーホールディングス | 1,100 | 6,540.00 | 7,194,000 | |
| 5401 | 日本製鉄 | 2,200 | 3,380.00 | 7,436,000 | |
| 5801 | 古河電気工業 | 5,500 | 5,835.00 | 32,092,500 | |
| 5805 | S W C C | 5,200 | 5,700.00 | 29,640,000 | |
| 5929 | 三和ホールディングス | 3,200 | 5,048.00 | 16,153,600 | |
| 6301 | 小松製作所 | 1,500 | 4,407.00 | 6,610,500 | |
| 6465 | ホシザキ | 2,200 | 6,146.00 | 13,521,200 | |
| 6490 | P I L L A R | 1,400 | 3,620.00 | 5,068,000 | |
| 6501 | 日立製作所 | 3,900 | 3,703.00 | 14,441,700 | |
| 6723 | ルネサスエレクトロニクス | 13,200 | 2,338.50 | 30,868,200 | |
| 6758 | ソニーグループ | 10,400 | 3,458.00 | 35,963,200 | |
| 7751 | キヤノン | 800 | 4,799.00 | 3,839,200 | |
| 7752 | リコー | 16,700 | 1,647.00 | 27,504,900 | |
| 6902 | デンソー | 7,400 | 1,972.00 | 14,592,800 | |
| 7012 | 川崎重工業 | 4,300 | 8,500.00 | 36,550,000 | |
| 7202 | いすゞ自動車 | 3,000 | 1,965.00 | 5,895,000 | |
| 7203 | トヨタ自動車 | 13,100 | 2,829.00 | 37,059,900 | |
| 7259 | アイシン | 9,600 | 1,775.00 | 17,040,000 | |
| 7267 | 本田技研工業 | 13,700 | 1,444.00 | 19,782,800 | |
| 7269 | スズキ | 13,900 | 1,792.00 | 24,908,800 | |
| 7911 | T O P P A N ホールディングス | 4,400 | 4,410.00 | 19,404,000 | |
| 9503 | 関西電力 | 9,200 | 1,804.00 | 16,596,800 | |
| 9531 | 東京瓦斯 | 3,600 | 4,490.00 | 16,164,000 | |
| 9532 | 大阪瓦斯 | 3,500 | 3,296.00 | 11,536,000 | |
| 9020 | 東日本旅客鉄道 | 4,200 | 2,998.50 | 12,593,700 | |
| 9101 | 日本郵船 | 2,500 | 5,270.00 | 13,175,000 | |
| 9201 | 日本航空 | 2,000 | 2,639.00 | 5,278,000 | |
| 9301 | 三菱倉庫 | 15,000 | 1,003.50 | 15,052,500 | |
| 9432 | 日本電信電話 | 137,000 | 147.40 | 20,193,800 | |
| 9984 | ソフトバンクグループ | 4,000 | 8,067.00 | 32,268,000 | |
| 8002 | 丸紅 | 6,400 | 2,405.00 | 15,392,000 | |
| 8015 | 豊田通商 | 4,200 | 2,586.50 | 10,863,300 | |
| 8020 | 兼松 | 2,600 | 2,591.00 | 6,736,600 | |
| 8031 | 三井物産 | 13,100 | 2,781.50 | 36,437,650 | |

| | | | | | |
|------|---------------------|---------|----------|---------------|--|
| 8058 | 三菱商事 | 16,300 | 2,580.50 | 42,062,150 | |
| 3382 | セブン&アイ・ホールディングス | 14,200 | 2,120.00 | 30,104,000 | |
| 7186 | コンコルディア・フィナンシャルグループ | 27,100 | 914.20 | 24,774,820 | |
| 7381 | 北國フィナンシャルホールディングス | 4,100 | 5,410.00 | 22,181,000 | |
| 8306 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 42,700 | 1,920.00 | 81,984,000 | |
| 8308 | りそなホールディングス | 33,200 | 1,229.50 | 40,819,400 | |
| 8316 | 三井住友フィナンシャルグループ | 8,300 | 3,710.00 | 30,793,000 | |
| 8411 | みずほフィナンシャルグループ | 10,900 | 4,114.00 | 44,842,600 | |
| 8630 | SOMPホールディングス | 6,200 | 4,573.00 | 28,352,600 | |
| 8750 | 第一生命ホールディングス | 8,300 | 4,382.00 | 36,370,600 | |
| 8766 | 東京海上ホールディングス | 7,100 | 5,311.00 | 37,708,100 | |
| 8253 | クレディセゾン | 3,600 | 3,465.00 | 12,474,000 | |
| 8591 | オリックス | 3,600 | 3,122.00 | 11,239,200 | |
| 3231 | 野村不動産ホールディングス | 3,700 | 4,286.00 | 15,858,200 | |
| 8802 | 三菱地所 | 5,900 | 2,204.00 | 13,003,600 | |
| 合 計 | | 629,300 | | 1,294,307,850 | |

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

2 【ファンドの現況】

【三菱UFJ カーブス・グロースファンド】

【純資産額計算書】

2025年 3月31日現在
(単位:円)

| | |
|-----------------|----------------|
| 資産総額 | 1,198,645,422 |
| 負債総額 | 1,232,504 |
| 純資産総額(-) | 1,197,412,918 |
| 発行済口数 | 1,235,684,912口 |
| 1口当たり純資産価額(/) | 0.9690 |
| (10,000口当たり) | (9,690) |

【三菱UFJ カーブス・グロースファンド】

【純資産額計算書】

2025年 3月31日現在
(単位:円)

| | |
|-----------------|--------------|
| 資産総額 | 488,002,747 |
| 負債総額 | 553,304 |
| 純資産総額(-) | 487,449,443 |
| 発行済口数 | 318,666,109口 |
| 1口当たり純資産価額(/) | 1.5297 |
| (10,000口当たり) | (15,297) |

【三菱UFJ カーブス・グロースファンド】

【純資産額計算書】

2025年 3月31日現在
(単位:円)

| | |
|-----------------|----------------|
| 資産総額 | 1,607,950,525 |
| 負債総額 | 3,058,217 |
| 純資産総額(-) | 1,604,892,308 |
| 発行済口数 | 1,263,353,962口 |
| 1口当たり純資産価額(/) | 1.2703 |
| (10,000口当たり) | (12,703) |

【B Wマネープールファンド】

【純資産額計算書】

2025年 3月31日現在
(単位:円)

| | |
|------|------------|
| 資産総額 | 11,943,101 |
| 負債総額 | 2,254 |

| | |
|-----------------|-------------|
| 純資産総額(-) | 11,940,847 |
| 発行済口数 | 11,898,209口 |
| 1口当たり純資産価額(/) | 1.0036 |
| (10,000口当たり) | (10,036) |

(参考)

グロースマザーファンド

純資産額計算書

2025年 3月31日現在

(単位:円)

| | |
|-----------------|----------------|
| 資産総額 | 1,991,129,161 |
| 負債総額 | 307,701 |
| 純資産総額(-) | 1,990,821,460 |
| 発行済口数 | 1,133,263,394口 |
| 1口当たり純資産価額(/) | 1.7567 |
| (10,000口当たり) | (17,567) |

バリューマザーファンド

純資産額計算書

2025年 3月31日現在

(単位:円)

| | |
|-----------------|---------------|
| 資産総額 | 1,292,073,072 |
| 負債総額 | 1,124,576 |
| 純資産総額(-) | 1,290,948,496 |
| 発行済口数 | 206,052,322口 |
| 1口当たり純資産価額(/) | 6.2651 |
| (10,000口当たり) | (62,651) |

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

(1)名義書換等

該当事項はありません。

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まり、委託会社は、この信託の受益権を取扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。なお、受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

(2)受益者等に対する特典

該当事項はありません。

(3)譲渡制限の内容

該当事項はありません。

（4）受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記 の申請のある場合には、上記 の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記 の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。

上記 の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めたときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

（5）受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

（6）質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権に係る収益分配金の支払い、解約請求の受け付け、解約代金および償還金の支払い等については、信託約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

第二部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

(1) 資本金の額等

2025年3月末現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、211,581株を発行済です。最近5年間における資本金の額の増減はありません。

(2) 委託会社の機構

・会社の意思決定機構

業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務の執行を監督する機関として、取締役会を設置します。取締役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席する株主総会にてその議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとします。また、取締役会で決定した基本方針に基づき、経営管理全般に関する執行方針その他重要な事項を協議・決定する機関として、経営会議を設置します。

・投資運用の意思決定機構

投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

運用戦略の決定

運用戦略・管理委員会において、
で策定された投資環境見通しに沿って運用戦略を決定します。

運用計画の決定

で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

運用部門による自律的な運用管理

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、運用部門内の管理担当部署は逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。また、運用戦略・管理委員会を通じて運用状況のモニタリングを行い、運用部門内での自律的牽制により運用改善を図ります。

管理担当部署による運用管理

運用部から独立した管理担当部署は、(a)運用に関するパフォーマンス測定・分析のほか、(b)リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、(a)についてはファンド管理委員会を経て運用担当部・商品開発担当部にフィードバックされ、(b)についてはリスク管理委員会を通じて運用担当部にフィードバックされ、必要に応じて部署間連携の上で是正・改善の検討が行われます。

ファンドに係する法人等の管理

受託会社等、ファンドの運営に係する法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、商品企画委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

運用・管理に関する監督

内部監査担当部署は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

2 【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）等を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業および投資助言業務を行っています。

2025年3月31日現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

| 商品分類 | 本数 (本) | 純資産総額 (百万円) |
|------------|-----------|----------------|
| 追加型株式投資信託 | 803 | 40,205,122 |
| 追加型公社債投資信託 | 16 | 1,489,273 |
| 単位型株式投資信託 | 82 | 356,306 |
| 単位型公社債投資信託 | 42 | 101,777 |
| 合計 | 943 | 42,152,478 |

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

3 【委託会社等の経理状況】

（1）財務諸表及び中間財務諸表の作成方法について

委託会社である三菱UFJアセットマネジメント株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」（以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、財務諸表等規則第282条及び第306条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

なお、財務諸表及び中間財務諸表に掲載している金額については、従来、千円未満の端数を切り捨てて表示しておりましたが、当中間会計期間より百万円未満の端数を切り捨てて表示することに変更しました。

（2）監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第39期事業年度（自2023年4月1日至2024年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第40期事業年度に係る中間会計期間（自2024年4月1日至2024年9月30日）の中間財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより中間監査を受けております。

（1）【貸借対照表】

（単位：千円）

| 第38期 (2023年3月31日現在) | 第39期 (2024年3月31日現在) |
|------------------------|------------------------|
|------------------------|------------------------|

(資産の部)

流動資産

| | | | | |
|---------|---|------------|---|------------|
| 現金及び預金 | 2 | 51,733,041 | 2 | 58,206,340 |
| 有価証券 | | 1,579,691 | | 15,283 |
| 前払費用 | | 770,747 | | 679,199 |
| 未収入金 | | 81,854 | | 138,388 |
| 未収委託者報酬 | | 16,753,855 | | 21,064,747 |
| 未収収益 | 2 | 688,142 | 2 | 1,485,701 |
| 金銭の信託 | | 10,400,000 | | 10,500,500 |
| その他 | | 745,576 | | 371,400 |
| 流動資産合計 | | 82,752,908 | | 92,461,561 |

固定資産

有形固定資産

| | | | | |
|----------|---|-----------|---|-----------|
| 建物 | 1 | 181,551 | 1 | 2,936,036 |
| 器具備品 | 1 | 730,357 | 1 | 1,531,857 |
| 土地 | | 628,433 | | 628,433 |
| 建設仮勘定 | | 1,111,177 | | 45,140 |
| 有形固定資産合計 | | 2,651,520 | | 5,141,467 |

無形固定資産

| | | | | |
|-----------|--|-----------|--|-----------|
| 電話加入権 | | 15,822 | | 15,822 |
| ソフトウェア | | 4,183,644 | | 5,008,987 |
| ソフトウェア仮勘定 | | 1,907,739 | | 1,587,548 |
| 無形固定資産合計 | | 6,107,206 | | 6,612,357 |

投資その他の資産

| | | | | |
|------------|---|-------------|---|-------------|
| 投資有価証券 | | 12,022,365 | | 13,788,071 |
| 関係会社株式 | | 159,536 | | 159,536 |
| 投資不動産 | 1 | 807,066 | 1 | 1,788,120 |
| 長期差入保証金 | | 689,492 | | 689,867 |
| 前払年金費用 | | 118,832 | | 47,573 |
| 繰延税金資産 | | 1,675,132 | | 1,088,836 |
| その他 | | 45,230 | | 45,230 |
| 貸倒引当金 | | 23,600 | | 23,600 |
| 投資その他の資産合計 | | 15,494,056 | | 17,583,636 |
| 固定資産合計 | | 24,252,782 | | 29,337,461 |
| 資産合計 | | 107,005,691 | | 121,799,022 |

(単位：千円)

第38期
(2023年3月31日現在) 第39期
(2024年3月31日現在)

(負債の部)

流動負債

| | | | | |
|---------|---|-----------|---|-----------|
| 預り金 | | 507,559 | | 807,451 |
| 未払金 | | | | |
| 未払収益分配金 | | 114,094 | | 105,550 |
| 未払償還金 | | 7,418 | | 43,553 |
| 未払手数料 | 2 | 6,139,595 | 2 | 7,523,485 |
| その他未払金 | 2 | 955,697 | 2 | 885,002 |
| 未払費用 | 2 | 5,778,896 | 2 | 8,611,140 |
| 未払消費税等 | | 439,657 | | 623,219 |
| 未払法人税等 | | 2,375,281 | | 2,235,007 |

| | | |
|---------|------------|------------|
| 賞与引当金 | 849,840 | 1,182,242 |
| 役員賞与引当金 | 154,872 | 175,992 |
| その他 | 5,517 | 12,303 |
| 流動負債合計 | 17,328,431 | 22,204,949 |

固定負債

| | | |
|-----------|------------|------------|
| 退職給付引当金 | 1,333,882 | 1,608,101 |
| 役員退職慰労引当金 | 75,667 | 30,105 |
| 時効後支払損引当金 | 254,296 | 250,350 |
| 資産除去債務 | - | 1,428,586 |
| その他 | - | 29,109 |
| 固定負債合計 | 1,663,846 | 3,346,253 |
| 負債合計 | 18,992,277 | 25,551,202 |

(純資産の部)

| | | |
|----------|------------|------------|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,000,131 | 2,000,131 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 3,572,096 | 3,572,096 |
| その他資本剰余金 | 41,160,616 | 41,160,616 |
| 資本剰余金合計 | 44,732,712 | 44,732,712 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 342,589 | 342,589 |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | 6,998,000 | 6,998,000 |
| 繰越利益剰余金 | 33,267,700 | 40,236,787 |
| 利益剰余金合計 | 40,608,289 | 47,577,377 |
| 株主資本合計 | 87,341,133 | 94,310,221 |

(単位:千円)

| | 第38期 (2023年3月31日現在) | 第39期 (2024年3月31日現在) |
|--------------|------------------------|------------------------|
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 672,279 | 1,937,598 |
| 評価・換算差額等合計 | 672,279 | 1,937,598 |
| 純資産合計 | 88,013,413 | 96,247,820 |
| 負債純資産合計 | 107,005,691 | 121,799,022 |

(2) 【損益計算書】

(単位:千円)

| | 第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|---------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 営業収益 | | |
| 委託者報酬 | 84,121,445 | 98,635,342 |
| 投資顧問料 | 2,750,601 | 3,117,320 |
| その他営業収益 | 10,412 | 148,442 |
| 営業収益合計 | 86,882,459 | 101,901,104 |

営業費用

| | | | | |
|-----------|---|------------|---|------------|
| 支払手数料 | 4 | 31,461,274 | 4 | 34,494,219 |
| 広告宣伝費 | | 798,894 | | 593,586 |
| 公告費 | | 375 | | 1,017 |
| 調査費 | | | | |
| 調査費 | | 2,849,042 | | 3,537,103 |
| 委託調査費 | | 19,236,505 | | 27,296,058 |
| 事務委託費 | | 1,751,807 | | 1,861,577 |
| 営業雑経費 | | | | |
| 通信費 | | 113,480 | | 137,737 |
| 印刷費 | | 367,379 | | 390,143 |
| 協会費 | | 58,128 | | 68,869 |
| 諸会費 | | 18,447 | | 20,108 |
| 事務機器関連費 | | 2,238,382 | | 2,531,009 |
| その他営業雑経費 | | - | | 139,012 |
| 営業費用合計 | | 58,893,717 | | 71,070,444 |
| 一般管理費 | | | | |
| 給料 | | | | |
| 役員報酬 | | 416,461 | | 400,592 |
| 給料・手当 | | 6,565,766 | | 7,202,711 |
| 賞与引当金繰入 | | 849,840 | | 1,182,242 |
| 役員賞与引当金繰入 | | 154,872 | | 175,992 |
| 福利厚生費 | | 1,279,885 | | 1,424,215 |
| 交際費 | | 8,942 | | 10,054 |
| 旅費交通費 | | 75,274 | | 108,782 |
| 租税公課 | | 403,955 | | 397,138 |
| 不動産賃借料 | | 719,707 | | 728,550 |
| 退職給付費用 | | 388,176 | | 381,449 |
| 固定資産減価償却費 | | 2,418,341 | | 2,469,755 |
| 諸経費 | | 444,313 | | 490,104 |
| 一般管理費合計 | | 13,725,534 | | 14,971,590 |
| 営業利益 | | 14,263,207 | | 15,859,070 |

(単位:千円)

第38期
(自 2022年4月1日
至 2023年3月31日)

第39期
(自 2023年4月1日
至 2024年3月31日)

営業外収益

| | | | | |
|-------------|---|---------|---|---------|
| 受取配当金 | | 47,353 | | 54,618 |
| 受取利息 | 4 | 10,279 | 4 | 12,836 |
| 投資有価証券償還益 | | 609,102 | | 204,527 |
| 収益分配金等時効完成分 | | 94,351 | | 17,722 |
| 受取賃貸料 | 4 | 65,808 | 4 | 162,111 |
| その他 | | 36,894 | | 44,734 |
| 営業外収益合計 | | 863,788 | | 496,550 |

営業外費用

| | | | | |
|-------------|--|--------|--|---------|
| 投資有価証券償還損 | | 32,995 | | 234,700 |
| 時効後支払損引当金繰入 | | 31,951 | | - |
| 事務過誤費 | | 2,680 | | 10,822 |

| | | |
|--------------|------------|------------|
| 賃貸関連費用 | 14,262 | 108,773 |
| その他 | 32,394 | 25,903 |
| 営業外費用合計 | 114,284 | 380,199 |
| 経常利益 | 15,012,711 | 15,975,421 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 387,113 | 464,927 |
| 固定資産売却益 | - | 16,229 |
| 資産除去債務履行差額 | - | 87,050 |
| 特別利益合計 | 387,113 | 568,207 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券売却損 | 15,828 | 57,011 |
| 投資有価証券評価損 | 104,554 | 31,651 |
| 固定資産除却損 | 32,791 | 20,246 |
| 固定資産売却損 | - | 65,427 |
| 減損損失 | 315,350 | - |
| 企業結合関連費用 | - | 1,187,136 |
| 特別損失合計 | 468,524 | 1,361,473 |
| 税引前当期純利益 | 14,931,300 | 15,182,154 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,860,444 | 4,542,085 |
| 法人税等調整額 | 271,471 | 102,468 |
| 法人税等合計 | 4,588,973 | 4,644,553 |
| 当期純利益 | 10,342,327 | 10,537,601 |

(3) 【株主資本等変動計算書】

第38期(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | |
|---------------------|-----------|-----------|------------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 |
| 当期首残高 | 2,000,131 | 3,572,096 | 41,160,616 | 44,732,712 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | |
| 当期純利益 | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | |
| 当期変動額合計 | | | | |
| 当期末残高 | 2,000,131 | 3,572,096 | 41,160,616 | 44,732,712 |

| | 利益剰余金 | | | | 株主資本合計 | |
|--------|---------|-----------|------------|------------|------------|--|
| | 利益準備金 | その他利益剰余金 | | 利益剰余金合計 | | |
| | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | | |
| 当期首残高 | 342,589 | 6,998,000 | 29,000,498 | 36,341,088 | 83,073,932 | |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | 6,075,125 | 6,075,125 | 6,075,125 | |

| | | | | | |
|---------------------|---------|-----------|------------|------------|------------|
| 当期純利益 | | | 10,342,327 | 10,342,327 | 10,342,327 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | | | 4,267,201 | 4,267,201 | 4,267,201 |
| 当期末残高 | 342,589 | 6,998,000 | 33,267,700 | 40,608,289 | 87,341,133 |

| | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|------------|------------|
| | その他有価証券評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | |
| 当期首残高 | 1,626,775 | 1,626,775 | 84,700,707 |
| 当期変動額 | | | |
| 剰余金の配当 | | | 6,075,125 |
| 当期純利益 | | | 10,342,327 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 954,495 | 954,495 | 954,495 |
| 当期変動額合計 | 954,495 | 954,495 | 3,312,705 |
| 当期末残高 | 672,279 | 672,279 | 88,013,413 |

第39期(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | |
|---------------------|-----------|-----------|------------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 |
| 当期首残高 | 2,000,131 | 3,572,096 | 41,160,616 | 44,732,712 |
| 当期変動額 | | | | |
| 企業結合による増加 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | |
| 当期純利益 | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | |
| 当期変動額合計 | | | | |
| 当期末残高 | 2,000,131 | 3,572,096 | 41,160,616 | 44,732,712 |

| | 利益剰余金 | | | | | 株主資本合計 | |
|---------------------|---------|-----------|------------|------------|------------|--------|--|
| | 利益準備金 | その他利益剰余金 | | 利益剰余金合計 | | | |
| | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | | | |
| 当期首残高 | 342,589 | 6,998,000 | 33,267,700 | 40,608,289 | 87,341,133 | | |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 企業結合による増加 | | | 1,602,526 | 1,602,526 | 1,602,526 | | |
| 剰余金の配当 | | | 5,171,039 | 5,171,039 | 5,171,039 | | |
| 当期純利益 | | | 10,537,601 | 10,537,601 | 10,537,601 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | | | 6,969,087 | 6,969,087 | 6,969,087 | | |

| | | | | | |
|-------|---------|-----------|------------|------------|------------|
| 当期末残高 | 342,589 | 6,998,000 | 40,236,787 | 47,577,377 | 94,310,221 |
|-------|---------|-----------|------------|------------|------------|

| | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|-------------------------|----------------------|----------------|------------|
| | その他 有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 当期首残高 | 672,279 | 672,279 | 88,013,413 |
| 当期変動額 | | | |
| 企業結合による増加 | | | 1,602,526 |
| 剰余金の配当 | | | 5,171,039 |
| 当期純利益 | | | 10,537,601 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 1,265,319 | 1,265,319 | 1,265,319 |
| 当期変動額合計 | 1,265,319 | 1,265,319 | 8,234,406 |
| 当期末残高 | 1,937,598 | 1,937,598 | 96,247,820 |

[注記事項]

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

3. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 5年～50年

器具備品 2年～20年

投資不動産 3年～50年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3)役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5)役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(6)時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

6. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主要な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

(1)委託者報酬

投資信託の信託約款に基づき信託財産の運用指図等を行っております。委託者報酬は、純資産総額に一定の報酬率を乗じて日々計算され、確定した報酬を投資信託によって主に年2回受領しております。当該報酬は投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。

(2)投資顧問料

顧客との投資一任及び投資助言契約に基づき運用及び助言を行っております。投資顧問料は、純資産総額に一定の報酬率を乗じて計算され、確定した報酬を主に年4回受領しております。当該報酬は契約期間にわたり収益として認識しております。

7. その他財務諸表作成のための基礎となる事項

グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。

（貸借対照表関係）

1. 有形固定資産及び投資不動産の減価償却累計額

| | 第38期 (2023年3月31日現在) | 第39期 (2024年3月31日現在) |
|-------|------------------------|------------------------|
| 建物 | 1,006,606千円 | 498,805千円 |
| 器具備品 | 1,985,072千円 | 1,643,689千円 |
| 投資不動産 | 163,978千円 | 211,090千円 |

2. 関係会社に対する主な資産・負債

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

| | 第38期 (2023年3月31日現在) | 第39期 (2024年3月31日現在) |
|--------|------------------------|------------------------|
| 預金 | 40,165,058千円 | 39,776,992千円 |
| 未収収益 | 15,046千円 | 12,312千円 |
| 未払手数料 | 790,279千円 | 886,173千円 |
| その他未払金 | 77,007千円 | 105,407千円 |
| 未払費用 | 277,358千円 | 599,493千円 |

（損益計算書関係）

1. 固定資産売却益の内訳

| | 第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 器具備品 | - | 16,229千円 |
| 計 | - | 16,229千円 |

2. 固定資産売却損の内訳

| | 第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 器具備品 | - | 65,427千円 |
| 計 | - | 65,427千円 |

3. 固定資産除却損の内訳

| | 第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 建物 | 1,047千円 | 15,825千円 |
| 器具備品 | 29,762千円 | 3,986千円 |
| ソフトウェア | 1,981千円 | 434千円 |
| 計 | 32,791千円 | 20,246千円 |

4. 関係会社に対する主な取引

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

| | 第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 支払手数料 | 4,893,312千円 | 5,006,309千円 |
| 受取利息 | 10,236千円 | 12,747千円 |
| 受取賃貸料 | 68,168千円 | 152,876千円 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,947,200千円 | 132,303千円 |

5. 減損損失

第38期(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

当社は、以下のとおり減損損失を計上しました。

| 場所 | 用途 | 種類 | 金額 |
|-------------|--------|--------|-----------|
| 東京都千代田区(本社) | ホームページ | ソフトウェア | 315,350千円 |

当社は資産運用業の単一セグメントであるため、事業用資産に区別はなく、全社を1つのグルーピングとしております。

ホームページのリニューアルに伴い、現行のホームページについて将来の利用終了が見込まれるため帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、回収可能価額として使用価値を用いておりますが、割引率については使用見込期間が短いため考慮していません。

第39期(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

当事業年度については、該当事項はありません。

6. 企業結合関連費用

第38期(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

前事業年度については、該当事項はありません。

第39期(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

企業結合に伴うものであり、主にシステム統合費用などあります。

(株主資本等変動計算書関係)

第38期(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

| | 当事業年度期首 株式数 (株) | 当事業年度増加 株式数 (株) | 当事業年度減少 株式数 (株) | 当事業年度末 株式数 (株) |
|-------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式 | 211,581 | - | - | 211,581 |
| 合計 | 211,581 | - | - | 211,581 |

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

2022年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

| | |
|----------|-------------|
| 配当金の総額 | 6,075,125千円 |
| 1株当たり配当額 | 28,713円 |
| 基準日 | 2022年3月31日 |
| 効力発生日 | 2022年6月29日 |

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2023年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

| | |
|----------|-------------|
| 配当金の総額 | 5,171,039千円 |
| 配当の原資 | 利益剰余金 |
| 1株当たり配当額 | 24,440円 |
| 基準日 | 2023年3月31日 |
| 効力発生日 | 2023年6月29日 |

第39期(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

| | 当事業年度期首 株式数 (株) | 当事業年度増加 株式数 (株) | 当事業年度減少 株式数 (株) | 当事業年度末 株式数 (株) |
|-------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式 | 211,581 | - | - | 211,581 |
| 合計 | 211,581 | - | - | 211,581 |

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

2023年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

| | |
|----------|-------------|
| 配当金の総額 | 5,171,039千円 |
| 1株当たり配当額 | 24,440円 |
| 基準日 | 2023年3月31日 |
| 効力発生日 | 2023年6月29日 |

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2024年6月26日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

| | |
|----------|--------------|
| 配当金の総額 | 45,747,620千円 |
| 配当の原資 | 利益剰余金 |
| 1株当たり配当額 | 216,218円 |
| 基準日 | 2024年3月31日 |
| 効力発生日 | 2024年6月27日 |

(リース取引関係)

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

| | 第38期 (2023年3月31日現在) | 第39期 (2024年3月31日現在) |
|-----|------------------------|------------------------|
| 1年内 | 962,809千円 | 681,212千円 |
| 1年超 | 1,532,728千円 | 851,515千円 |
| 合計 | 2,495,537千円 | 1,532,728千円 |

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、金銭の信託（合同運用指定金銭信託）で運用し、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、市場価格のない株式等は、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

第38期(2023年3月31日現在)

| | 貸借対照表 計上額(千円) | 時価(千円) | 差額(千円) |
|------------|------------------|------------|--------|
| (1) 有価証券 | 1,579,691 | 1,579,691 | - |
| (2) 金銭の信託 | 10,400,000 | 10,400,000 | - |
| (3) 投資有価証券 | 12,022,365 | 12,022,365 | - |
| 資産計 | 24,002,056 | 24,002,056 | - |

(注1) 「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未払手数料」については短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2) 市場価格のない株式等

関連会社株式（前事業年度の貸借対照表計上額 159,536千円）は、市場価格がないため、記載しておりません。

(注3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

(注4) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第38期(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

| | 1年以内 | 1年超 5年以内 | 5年超 10年以内 | 10年超 |
|-------------------|------------|-------------|--------------|------|
| 現金及び預金 | 51,733,041 | - | - | - |
| 金銭の信託 | 10,400,000 | - | - | - |
| 未収委託者報酬 | 16,753,855 | - | - | - |
| 有価証券及び投資有価証券 | | | | |
| その他有価証券のうち満期があるもの | | | | |
| 投資信託 | 1,579,691 | 4,859,714 | 1,433,213 | - |
| 合計 | 80,466,587 | 4,859,714 | 1,433,213 | - |

第39期(2024年3月31日現在)

| | 貸借対照表 計上額(千円) | 時価(千円) | 差額(千円) |
|------------|------------------|------------|--------|
| (1) 有価証券 | 15,283 | 15,283 | - |
| (2) 金銭の信託 | 10,500,500 | 10,500,500 | - |
| (3) 投資有価証券 | 13,788,071 | 13,788,071 | - |
| 資産計 | 24,303,855 | 24,303,855 | - |

- (注1) 「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未払手数料」については短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。
- (注2) 市場価格のない株式等
関連会社株式（当事業年度の貸借対照表計上額159,536千円）は、市場価格がないため、記載しておりません。
- (注3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明
金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいますため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。
- (注4) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第39期(2024年3月31日現在)

(単位：千円)

| | 1年以内 | 1年超 5年以内 | 5年超 10年以内 | 10年超 |
|-------------------|------------|-------------|--------------|--------|
| 現金及び預金 | 58,206,340 | - | - | - |
| 金銭の信託 | 10,500,500 | - | - | - |
| 未収委託者報酬 | 21,064,747 | - | - | - |
| 有価証券及び投資有価証券 | | | | |
| その他有価証券のうち満期があるもの | | | | |
| 投資信託 | 15,283 | 5,351,373 | 347,505 | 11,696 |
| 合計 | 89,786,871 | 5,351,373 | 347,505 | 11,696 |

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

- レベル1の時価： 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価
- レベル2の時価： 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価
- レベル3の時価： 観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価
時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

第38期(2023年3月31日現在)

| 区分 | 時価(千円) | | | |
|--------|-----------|------------|------|------------|
| | レベル1 | レベル2 | レベル3 | 合計 |
| 有価証券 | - | 1,579,691 | - | 1,579,691 |
| 金銭の信託 | - | 10,400,000 | - | 10,400,000 |
| 投資有価証券 | 1,794,704 | 10,227,661 | - | 12,022,365 |
| 資産計 | 1,794,704 | 22,207,352 | - | 24,002,056 |

(注) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

有価証券及び投資有価証券

ETF（上場投資信託）は相場価格を用いて評価しております。ETFは活発な市場で取引されているため、レベル1の時価に分類しております。

ETF（上場投資信託）以外の投資信託は基準価額を用いて評価しております。基準価額は観察可能なインプットを用いて算出しているため、レベル2の時価に分類しております。

金銭の信託

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しており、レベル2の時価に分類しております。

第39期(2024年3月31日現在)

| 区分 | 時価(千円) | | | |
|--------|-----------|------------|------|------------|
| | レベル1 | レベル2 | レベル3 | 合計 |
| 有価証券 | - | 15,283 | - | 15,283 |
| 金銭の信託 | - | 10,500,500 | - | 10,500,500 |
| 投資有価証券 | 2,014,968 | 11,773,103 | - | 13,788,071 |
| 資産計 | 2,014,968 | 22,288,887 | - | 24,303,855 |

(注) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

有価証券及び投資有価証券

ETF(上場投資信託)は相場価格を用いて評価しております。ETFは活発な市場で取引されているため、レベル1の時価に分類しております。

ETF(上場投資信託)以外の投資信託は基準価額を用いて評価しております。基準価額は観察可能なインプットを用いて算出しているため、レベル2の時価に分類しております。

金銭の信託

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しており、レベル2の時価に分類しております。

(有価証券関係)

1. 子会社株式及び関連会社株式

第38期(2023年3月31日現在)及び第39期(2024年3月31日現在)

関連会社株式(貸借対照表計上額は159,536千円)は、市場価格がないため、記載しておりません。

2. その他有価証券

第38期(2023年3月31日現在)

| | 種類 | 貸借対照表計上額 (千円) | 取得原価 (千円) | 差額(千円) |
|--------------------------|-----|------------------|--------------|-----------|
| 貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの | 株式 | - | - | - |
| | 債券 | - | - | - |
| | その他 | 8,983,713 | 7,558,314 | 1,425,399 |
| | 小計 | 8,983,713 | 7,558,314 | 1,425,399 |
| 貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの | 株式 | - | - | - |
| | 債券 | - | - | - |
| | その他 | 15,018,343 | 15,474,760 | 456,417 |
| | 小計 | 15,018,343 | 15,474,760 | 456,417 |
| 合計 | | 24,002,056 | 23,033,074 | 968,982 |

(注)「その他」には、貸借対照表の「金銭の信託」(貸借対照表計上額は10,400,000千円、取得原価は10,400,000千円)を含めてあります。

第39期(2024年3月31日現在)

| | 種類 | 貸借対照表計上額 (千円) | 取得原価 (千円) | 差額(千円) |
|--------------------------|-----|------------------|--------------|-----------|
| 貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの | 株式 | - | - | - |
| | 債券 | - | - | - |
| | その他 | 17,364,277 | 14,269,984 | 3,094,293 |
| | 小計 | 17,364,277 | 14,269,984 | 3,094,293 |
| 貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの | 株式 | - | - | - |
| | 債券 | - | - | - |
| | その他 | 6,939,577 | 7,241,136 | 301,559 |
| | 小計 | 6,939,577 | 7,241,136 | 301,559 |
| 合計 | | 24,303,855 | 21,511,121 | 2,792,733 |

(注)「その他」には、貸借対照表の「金銭の信託」(貸借対照表計上額は10,500,500千円、取得原価は

10,500,000千円)を含めてあります。

3. 売却したその他有価証券

第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

| 種類 | 売却額(千円) | 売却益の合計額(千円) | 売却損の合計額(千円) |
|-----|-----------|-------------|-------------|
| 株式 | 17,240 | - | 14,120 |
| 債券 | - | - | - |
| その他 | 1,551,405 | 387,113 | 1,708 |
| 合計 | 1,568,645 | 387,113 | 15,828 |

第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

| 種類 | 売却額(千円) | 売却益の合計額(千円) | 売却損の合計額(千円) |
|-----|-----------|-------------|-------------|
| 株式 | - | - | - |
| 債券 | - | - | - |
| その他 | 3,750,272 | 464,927 | 57,011 |
| 合計 | 3,750,272 | 464,927 | 57,011 |

4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、有価証券について104,554千円(その他有価証券のその他104,554千円)減損処理を行っております。

当事業年度において、有価証券について31,651千円(その他有価証券のその他31,651千円)減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度(積立型制度)及び退職一時金制度(非積立型制度)を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

| 退職給付債務の期首残高 | 第38期 | | 第39期 | |
|------------------|-------------------------------|----|-------------------------------|----|
| | (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | | (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) | |
| | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 退職給付債務の期首残高 | 3,723,521 | 千円 | 3,582,778 | 千円 |
| 勤務費用 | 196,190 | | 182,947 | |
| 利息費用 | 25,925 | | 39,626 | |
| 数理計算上の差異の 発生額 | 186,130 | | 79,379 | |
| 退職給付の支払額 | 176,727 | | 300,286 | |
| 過去勤務費用の発生額 | - | | - | |
| 企業結合による影響額 | - | | 226,499 | |
| 退職給付債務の期末残高 | 3,582,778 | | 3,652,185 | |

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

| 年金資産の期首残高 | 第38期 | | 第39期 | |
|------------------|-------------------------------|----|-------------------------------|----|
| | (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | | (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) | |
| | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 年金資産の期首残高 | 2,583,927 | 千円 | 2,425,752 | 千円 |
| 期待運用収益 | 46,453 | | 43,626 | |
| 数理計算上の差異の 発生額 | 103,934 | | 227,699 | |

| | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 事業主からの拠出額 | - | - |
| 退職給付の支払額 | 100,694 | 204,536 |
| 年金資産の期末残高 | 2,425,752 | 2,492,542 |

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

| | 第38期 (2023年3月31日現在) | 第39期 (2024年3月31日現在) |
|-------------------------|------------------------|------------------------|
| 積立型制度の 退職給付債務 | 2,468,195 千円 | 2,250,427 千円 |
| 年金資産 | 2,425,752 | 2,492,542 |
| | 42,442 | 242,114 |
| 非積立型制度の退職給付債 務 | 1,114,583 | 1,401,758 |
| 未積立退職給付債務 | 1,157,025 | 1,159,643 |
| 未認識数理計算上の差異 | 281,343 | 558,841 |
| 未認識過去勤務費用 | 223,319 | 157,957 |
| 貸借対照表に計上された負 債と資産の純額 | 1,215,049 | 1,560,527 |
| 退職給付引当金 | 1,333,882 | 1,608,101 |
| 前払年金費用 | 118,832 | 47,573 |
| 貸借対照表に計上された負 債と資産の純額 | 1,215,049 | 1,560,527 |

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

| | 第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|---------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 勤務費用 | 196,190 千円 | 182,947 千円 |
| 利息費用 | 25,925 | 39,626 |
| 期待運用収益 | 46,453 | 43,626 |
| 数理計算上の差異の 費用処理額 | 6,532 | 29,581 |
| 過去勤務費用の費用処理額 | 65,361 | 65,361 |
| 退職給付制度の統合に係る 調整額 | - | 34,505 |
| その他 | 1,600 | 2,196 |
| 確定給付制度に係る 退職給付費用 | 236,091 | 251,429 |

(注) 「その他」は受入出向者に係る出向元への退職給付費用負担額及び退職金です。「退職給付制度の統合に係る調整額」は企業結合関連費用の一部として特別損失に計上しております。

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

| | 第38期 (2023年3月31日現在) | 第39期 (2024年3月31日現在) |
|-----|------------------------|------------------------|
| 債券 | 63.6 % | 62.0 % |
| 株式 | 34.2 | 35.9 |
| その他 | 2.2 | 2.1 |
| 合計 | 100 | 100 |

長期期待運用收益率の設定方法

年金資産の長期期待運用收益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と年金資産

を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎

| | 第38期 (2023年3月31日現在) | 第39期 (2024年3月31日現在) |
|-----------|------------------------|------------------------|
| 割引率 | 0.066 ~ 1.13% | 1.39 ~ 1.41% |
| 長期期待運用收益率 | 1.5 ~ 1.8% | 1.5 ~ 1.8% |

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度152,084千円、当事業年度164,524千円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

| | 第38期 (2023年3月31日現在) | 第39期 (2024年3月31日現在) |
|------------------|------------------------|------------------------|
| 繰延税金資産 | | |
| 減損損失 | 499,742千円 | 389,750千円 |
| 投資有価証券評価損 | 47,876 | 30,021 |
| 未払事業税 | 169,997 | 126,161 |
| 賞与引当金 | 260,221 | 362,002 |
| 役員賞与引当金 | 29,828 | 33,564 |
| 役員退職慰労引当金 | 23,169 | 9,218 |
| 退職給付引当金 | 408,434 | 492,400 |
| 減価償却超過額 | 227,100 | 199,986 |
| 差入保証金 | 52,869 | - |
| 資産除去債務 | - | 16,900 |
| 時効後支払損引当金 | 77,865 | 76,657 |
| その他 | 212,315 | 227,182 |
| 繰延税金資産 小計 | 2,009,420 | 1,963,847 |
| 評価性引当額 | - | - |
| 繰延税金資産 合計 | 2,009,420 | 1,963,847 |
| 繰延税金負債 | | |
| 前払年金費用 | 36,386 | 14,567 |
| その他有価証券評価差額金 | 296,702 | 855,135 |
| その他 | 1,199 | 5,308 |
| 繰延税金負債 合計 | 334,288 | 875,010 |
| 繰延税金資産の純額 | 1,675,132 | 1,088,836 |

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

第38期(2023年3月31日現在)及び第39期(2024年3月31日現在)

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

3. 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、グループ通算制度を適用しております。また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号2021年8月12日)に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

(企業結合等関係)

当社は、2023年7月31日開催の取締役会において、三菱UFJ不動産投資顧問株式会社(旧商号：MU投資顧問株式会社)と吸收分割契約を締結することを決議し、同日、吸收分割の効力発生日を2023年10月1日とする吸收分割契約を締結いたしました。本吸收分割契約に基づき、当社と三菱UFJ不動産投資顧問株式会社は、2023年10月1日付で吸收分割を実施いたしました。

なお、2023年10月1日付で当社は「三菱UFJアセットマネジメント株式会社」へ商号変更しました。

1.取引の概要

(1)被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 三菱UFJ不動産投資顧問株式会社
事業の内容 投資顧問業、私募投資信託の設定・運用等

(2)企業結合日

2023年10月1日

(3)企業結合の法的形式

当社と兄弟会社である三菱UFJ不動産投資顧問株式会社を吸收分割会社、当社を吸收分割承継会社とする無対価吸收分割

(4)結合後企業の名称

分割会社：三菱UFJ不動産投資顧問株式会社
承継会社：三菱UFJアセットマネジメント株式会社

(5)企業結合を行った主な理由

法人投資家の運用ニーズが拡大しており、両社で取り組みを強化している法人投資家ビジネスにかかる運用・営業等の関連機能を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に統合することで、リソースやノウハウの集約を通じた運用機能等の強化を図ってまいります。

2.会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準（企業会計基準第21号2019年1月16日）」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針（企業会計基準適用指針第10号2019年1月16日）」に基づき、共通支配下の取引として処理いたしました。

（資産除去債務関係）

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1.当該資産除去債務の概要

建物の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

2.当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から15年と見積り、割引率は1.1%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

3.当該資産除去債務の総額の増減

| | 第38期 (2023年3月31日現在) | 第39期 (2024年3月31日現在) |
|----------------|------------------------|------------------------|
| 期首残高 | - | - |
| 有形固定資産の取得に伴う増加 | - | 1,420,750千円 |
| 時の経過による調整額 | - | 7,835千円 |
| 期末残高 | - | 1,428,586千円 |

（収益認識関係）

1.顧客との契約から生じる収益を分解した情報

収益及び契約から生じるキャッシュ・フローの性質、金額、時期及び不確実性に影響を及ぼす主要な要因に基づく区分に当該収益を分解した情報については、重要性が乏しいため記載を省略しております。

2.顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、「（重要な会計方針）の6.収益および費用の計上基準」に記載のとおりであります。

3.顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から翌事業年度以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

第38期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）及び第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第38期（自2022年4月1日 至 2023年3月31日）及び第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

第38期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金 | 事業の内容 | 議決権等の所有(被所有)割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額(注5) | 科目 | 期末残高(注5) |
|-----|-----------------------------|-----------------|------------------|-------------|---------------------|---|---------------------------------------|-----------------|--------|---------------|
| 親会社 | 株式会社UFJ フィナンシャル・ グループ | 東京都 千代田 区 | 2,141,513 百万円 | 銀行持株 会社業 | 被所有 間接 100.0% | 連結納税等 | 連結納税等に 伴う支払 (注1) | 3,947,200 千円 | その他未払金 | 77,007 千円 |
| 親会社 | 三菱UFJ 信託銀行株式会社 | 東京都 千代田 区 | 324,279 百万円 | 信託業、 銀行業 | 被所有 直接 100.0% | 当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等 | 投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2) | 4,893,312 千円 | 未払手数料 | 790,279 千円 |
| | | | | | | 投資の助言 役員の兼任 | 投資助言料 (注3) | 463,416 千円 | 未払費用 | 253,093 千円 |

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金 | 事業の内容 | 議決権等の所有(被所有)割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額(注5) | 科目 | 期末残高(注5) |
|----|--------|-----|-----|-------|----------------|-----------|-------|----------|----|----------|
| | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-----|------------------------------|-----------------|------------------|-------------|---------------------|---|--|--------------------------------------|-------------------|------------------------------------|
| 親会社 | (株)三菱UFJ フィナンシャル・ グループ | 東京都 千代田 区 | 2,141,513 百万円 | 銀行持株 会社業 | 被所有 間接 100.0% | グループ通算制 度 | グループ通算 制度に伴う通 算税効果額 (注4) | 132,303 千円 | その他未払金 | 105,407 千円 |
| 親会社 | 三菱UFJ 信託銀行(株) | 東京都 千代田 区 | 324,279 百万円 | 信託業、 銀行業 | 被所有 直接 100.0% | 当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等 投資の助言 役員の兼任 | 投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2) 投資助言料 (注3) | 5,006,309 千円 463,831 千円 | 未払手数料 未払費用 | 886,173 千円 260,800 千円 |

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 連結納税制度及びグループ通算制度に基づく法人税の支払予定額であります。
- 2. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。
- 3. 投資助言料については、市場実勢を勘案して決定しております。
- 4. グループ通算制度に基づく通算税効果額であります。
- 5. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

(2)財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

第38期(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

| 種類 | 会社等の 名称 | 所在地 | 資本金 | 事業の 内容 | 議決権等 の所有 (被所有) 割合 | 関連当事者 との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (注2) | 科目 | 期末残高 (注2) |
|-----------------------------|----------------------------------|-----------------|------------------|-----------|----------------------------|---|---------------------------------------|-----------------|-------|-----------------|
| 同一の 親会社 を 持つ 会社 | (株)三菱UFJ 銀行 | 東京都 千代田 区 | 1,711,958 百万円 | 銀行業 | なし | 当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等 | 投資信託に 係る事務代 行手数料 の支払 (注1) | 4,052,979 千円 | 未払手数料 | 868,785 千円 |
| 同一の 親会社 を 持つ 会社 | 三菱UFJ モルガン・ スタンレー 証券(株) | 東京都 千代田 区 | 40,500 百万円 | 証券業 | なし | 当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等 | 投資信託に 係る事務代 行手数料 の支払 (注1) | 6,661,991 千円 | 未払手数料 | 1,218,051 千円 |

第39期(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

| 種類 | 会社等の 名称 | 所在地 | 資本金 | 事業の 内容 | 議決権等 の所有 (被所有) 割合 | 関連当事者 との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (注2) | 科目 | 期末残高 (注2) |
|----|------------|-----|-----|-----------|----------------------------|---------------|-------|--------------|----|--------------|
|----|------------|-----|-----|-----------|----------------------------|---------------|-------|--------------|----|--------------|

| | | | | | | | | | | |
|-------------|--------------------|---------|--------------|-----|----|-------------------------------|-----------------------|-------------|-------|-------------|
| 同一の親会社を持つ会社 | 株三菱UFJ銀行 | 東京都千代田区 | 1,711,958百万円 | 銀行業 | なし | 当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等 | 投資信託に係る事務代行手数料の支払(注1) | 4,354,007千円 | 未払手数料 | 1,028,586千円 |
| 同一の親会社を持つ会社 | 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株 | 東京都千代田区 | 40,500百万円 | 証券業 | なし | 当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等 | 投資信託に係る事務代行手数料の支払(注1) | 7,493,449千円 | 未払手数料 | 1,449,414千円 |

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。
2. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

2. 親会社に関する注記

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(東京証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場)

三菱UFJ信託銀行株式会社(非上場)

(1株当たり情報)

| | | 第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1株当たり純資産額 | | 415,979.76円 | 454,898.22円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | | 48,881.17円 | 49,804.10円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | | 第38期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 当期純利益金額(千円) | | 10,342,327 | 10,537,601 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | - | - |
| 普通株式に係る当期純利益金額(千円) | | 10,342,327 | 10,537,601 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | | 211,581 | 211,581 |

中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

第40期中間会計期間
(2024年9月30日現在)

(資産の部)
流動資産

| | | |
|---------|--|--------|
| 現金及び預金 | | 28,443 |
| 有価証券 | | 7 |
| 前払費用 | | 812 |
| 未収入金 | | 145 |
| 未収委託者報酬 | | 23,384 |
| 未収収益 | | 1,003 |
| 金銭の信託 | | 1,999 |
| その他 | | 324 |
| 流動資産合計 | | 56,120 |

| | | |
|------------|---|--------|
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 1 | 2,853 |
| 器具備品 | 1 | 1,306 |
| 土地 | | 628 |
| 建設仮勘定 | | 193 |
| 有形固定資産合計 | | 4,981 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | | 3,983 |
| ソフトウェア仮勘定 | | 1,356 |
| 無形固定資産合計 | | 5,340 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | | 12,099 |
| 関係会社株式 | | 159 |
| 投資不動産 | 1 | 1,750 |
| 長期差入保証金 | | 690 |
| 前払年金費用 | | 14 |
| 繰延税金資産 | | 1,692 |
| その他 | | 45 |
| 貸倒引当金 | | 23 |
| 投資その他の資産合計 | | 16,428 |
| 固定資産合計 | | 26,750 |
| 資産合計 | | 82,871 |

(単位:百万円)

第40期中間会計期間
(2024年9月30日現在)

| | | |
|---------|---|--------|
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | | |
| 預り金 | | 943 |
| 未払金 | | |
| 未払収益分配金 | | 114 |
| 未払償還金 | | 151 |
| 未払手数料 | | 8,340 |
| その他未払金 | | 679 |
| 未払費用 | | 8,675 |
| 未払消費税等 | 2 | 845 |
| 未払法人税等 | | 2,907 |
| 賞与引当金 | | 1,176 |
| 役員賞与引当金 | | 115 |
| その他 | | 9 |
| 流動負債合計 | | 23,958 |

| | | |
|---------|--|-------|
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | | 1,644 |

| | |
|-----------|--------|
| 役員退職慰労引当金 | 25 |
| 時効後支払損引当金 | 249 |
| 資産除去債務 | 1,436 |
| その他 | 29 |
| 固定負債合計 | 3,384 |
| 負債合計 | 27,343 |

(純資産の部)

| | |
|----------|--------|
| 株主資本 | |
| 資本金 | 2,000 |
| 資本剰余金 | |
| 資本準備金 | 3,572 |
| その他資本剰余金 | 41,160 |
| 資本剰余金合計 | 44,732 |
| 利益剰余金 | |
| 利益準備金 | 342 |
| その他利益剰余金 | |
| 繰越利益剰余金 | 6,910 |
| 利益剰余金合計 | 7,253 |
| 株主資本合計 | 53,986 |

(単位:百万円)

第40期中間会計期間
(2024年9月30日現在)

| | |
|--------------|--------|
| 評価・換算差額等 | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,542 |
| 評価・換算差額等合計 | 1,542 |
| 純資産合計 | 55,528 |
| 負債純資産合計 | 82,871 |

(2)中間損益計算書

(単位:百万円)

第40期中間会計期間
(自 2024年4月1日
至 2024年9月30日)

| | |
|---------|--------|
| 営業収益 | |
| 委託者報酬 | 56,145 |
| 投資顧問料 | 1,713 |
| その他営業収益 | 2 |
| 営業収益合計 | 57,862 |
| 営業費用 | |
| 支払手数料 | 19,522 |
| 広告宣伝費 | 203 |
| 公告費 | 0 |
| 調査費 | |
| 調査費 | 2,206 |
| 委託調査費 | 15,946 |
| 事務委託費 | 1,042 |
| 営業雑経費 | |
| 通信費 | 80 |
| 印刷費 | 215 |
| 協会費 | 41 |
| 諸会費 | 11 |
| 事務機器関連費 | 1,405 |
| 営業費用合計 | 40,676 |

| | |
|-----------|-------|
| 一般管理費 | |
| 給料 | |
| 役員報酬 | 232 |
| 給料・手当 | 3,459 |
| 賞与引当金繰入 | 1,089 |
| 役員賞与引当金繰入 | 115 |
| 福利厚生費 | 725 |
| 交際費 | 4 |
| 旅費交通費 | 60 |
| 租税公課 | 281 |
| 不動産賃借料 | 325 |
| 退職給付費用 | 189 |
| 固定資産減価償却費 | 1 |
| 諸経費 | 1,218 |
| 一般管理費合計 | 524 |
| 営業利益 | 8,224 |
| | 8,960 |

(単位：百万円)

第40期中間会計期間

(自 2024年4月1日
至 2024年9月30日)

| | |
|--------------|-------|
| 営業外収益 | |
| 受取配当金 | 49 |
| 受取利息 | 4 |
| 投資有価証券償還益 | 22 |
| 収益分配金等時効完成分 | 3 |
| 受取賃貸料 | 112 |
| その他 | 3 |
| 営業外収益合計 | 195 |
| 営業外費用 | |
| 投資有価証券償却損 | 6 |
| 時効後支払損引当金繰入 | 19 |
| 事務過誤費 | 7 |
| 賃貸関連費用 | 1 |
| その他 | 94 |
| 営業外費用合計 | 10 |
| 経常利益 | 137 |
| 特別利益 | 9,017 |
| 投資有価証券売却益 | 497 |
| 特別利益合計 | 497 |
| 特別損失 | |
| 投資有価証券売却損 | 58 |
| 固定資産除却損 | 18 |
| 固定資産売却損 | 3 |
| 減損損失 | 2 |
| 事業譲渡関連損失 | 1,306 |
| 特別損失合計 | 285 |
| 税引前中間純利益 | 1,672 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 7,842 |
| 法人税等調整額 | 2,847 |
| 法人税等合計 | 428 |
| 中間純利益 | 2,418 |
| | 5,423 |

(3)中間株主資本等変動計算書

第40期中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

| 資本金 | 株主資本 | | | |
|---------------------------|-------|----------|---------|--------|
| | 資本剰余金 | | | |
| | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | |
| 当期首残高 | 2,000 | 3,572 | 41,160 | 44,732 |
| 当中間期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | |
| 中間純利益 | | | | |
| 別途積立金の取崩 | | | | |
| 株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額) | | | | |
| 当中間期変動額合計 | | | | |
| 当中間期末残高 | 2,000 | 3,572 | 41,160 | 44,732 |

| 利益準備金 | 利益剰余金 | | | 株主資本合計 | |
|---------------------------|----------|---------|---------|--------|--|
| | その他利益剰余金 | | | | |
| | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | 342 | 6,998 | 40,236 | 47,577 | |
| 当中間期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | 45,747 | 45,747 | |
| 中間純利益 | | | 5,423 | 5,423 | |
| 別途積立金の取崩 | | 6,998 | 6,998 | | |
| 株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額) | | | | | |
| 当中間期変動額合計 | | 6,998 | 33,326 | 40,324 | |
| 当中間期末残高 | 342 | | 6,910 | 7,253 | |
| | | | | 53,986 | |

| | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|---------------------------|----------------------|----------------|--------|
| | その他 有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 当期首残高 | 1,937 | 1,937 | 96,247 |
| 当中間期変動額 | | | |
| 剰余金の配当 | | | 45,747 |
| 中間純利益 | | | 5,423 |
| 別途積立金の取崩 | | | |
| 株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額) | 395 | 395 | 395 |
| 当中間期変動額合計 | 395 | 395 | 40,719 |
| 当中間期末残高 | 1,542 | 1,542 | 55,528 |

[重要な会計方針]

1. 有価証券の評価基準及び評価方法
 - (1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

3. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 5年～50年

器具備品 3年～20年

投資不動産 3年～50年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上しております。

(6) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

5. 収益および費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主要な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

(1) 委託者報酬

投資信託の信託約款に基づき信託財産の運用指図等を行っております。委託者報酬は、純資産総額に一定の報酬率を乗じて日々計算され、確定した報酬を投資信託によって主に年2回受領しております。当該報酬は投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。

(2) 投資顧問料

顧客との投資一任及び投資助言契約に基づき運用及び助言を行っております。投資顧問料は、純資産総額に一定の報酬率を乗じて計算され、確定した報酬を主に年4回受領しております。当該報酬は契約期間にわたり収益として認識しております。

6. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

7. その他中間財務諸表作成のための重要な事項

グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。

[注記事項]

(中間貸借対照表関係)

1 減価償却累計額

| 第40期中間会計期間 (2024年9月30日現在) | |
|------------------------------|----------|
| 建物 | 590百万円 |
| 器具備品 | 1,894百万円 |
| 投資不動産 | 249百万円 |

2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。

(中間損益計算書関係)

1 減価償却実施額

| 第40期中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | |
|---|--------|
| 有形固定資産 | 331百万円 |
| 無形固定資産 | 886百万円 |
| 投資不動産 | 38百万円 |

2 減損損失

当社は、以下のとおり減損損失を計上しました。

| 場所 | 用途 | 種類 | 金額 |
|-----------|---------------|--------|----------|
| 東京都港区（本社） | インターネット直販サービス | ソフトウェア | 1,306百万円 |

当社は資産運用業の単一セグメントであるため、事業用資産に区別はなく、全社を1つのグループингとしております。

現行のソフトウェアについて将来の利用終了が見込まれるため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、回収可能価額として使用価値を用いておりますが、割引率については使用見込期間が短いため考慮しておりません。

(中間株主資本等変動計算書関係)

第40期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

| | 当事業年度期首 株式数(株) | 当中間会計期間 増加株式数(株) | 当中間会計期間 減少株式数(株) | 当中間会計期間末 株式数(株) |
|-------|-------------------|---------------------|---------------------|--------------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式 | 211,581 | - | - | 211,581 |
| 合計 | 211,581 | - | - | 211,581 |

2. 配当に関する事項

2024年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

| | |
|----------|------------|
| 配当金の総額 | 45,747百万円 |
| 配当の原資 | 利益剰余金 |
| 1株当たり配当額 | 216,218円 |
| 基準日 | 2024年3月31日 |
| 効力発生日 | 2024年6月27日 |

(リース取引関係)

第40期中間会計期間(2024年9月30日現在)

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

| | |
|-----|----------|
| 1年内 | 681百万円 |
| 1年超 | 510百万円 |
| 合計 | 1,192百万円 |

(金融商品関係)

第40期中間会計期間(2024年9月30日現在)

1. 金融商品の時価等に関する事項

2024年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、市場価格のない株式等は、次表には含まれておりません(注2)参照)。

| | 中間貸借対照表 計上額(百万円) | 時価(百万円) | 差額(百万円) |
|------------|---------------------|---------|---------|
| (1) 有価証券 | 7 | 7 | - |
| (2) 金銭の信託 | 1,999 | 1,999 | - |
| (3) 投資有価証券 | 12,099 | 12,099 | - |
| 資産計 | 14,106 | 14,106 | - |

(注1)「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未払手数料」については短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2)市場価格のない株式等

関連会社株式(中間貸借対照表計上額 159百万円)は、市場価格がないため、記載しておりません。

(注3)金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

2. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットが

それぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

時価をもって中間貸借対照表計上額とする金融資産

| 区分 | 時価（百万円） | | | |
|--------|---------|--------|------|--------|
| | レベル1 | レベル2 | レベル3 | 合計 |
| 有価証券 | - | 7 | - | 7 |
| 金銭の信託 | - | 1,999 | - | 1,999 |
| 投資有価証券 | 2,686 | 9,412 | - | 12,099 |
| 資産計 | 2,686 | 11,419 | - | 14,106 |

（注）時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

有価証券及び投資有価証券

ETF（上場投資信託）は相場価格を用いて評価しております。ETFは活発な市場で取引されているため、レベル1の時価に分類しております。

ETF（上場投資信託）以外の投資信託は基準価額を用いて評価しております。基準価額は観察可能なインプットを用いて算出しているため、レベル2の時価に分類しております。

金銭の信託

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しており、レベル2の時価に分類しております。

（有価証券関係）

第40期中間会計期間（2024年9月30日現在）

1. 子会社及び関連会社株式

関連会社株式（中間貸借対照表計上額 159百万円）は、市場価格がないため、記載しておりません。

2. その他有価証券

| | 種類 | 中間貸借対照表 計上額（百万円） | 取得原価 (百万円) | 差額（百万円） |
|--------------------------------|-----|---------------------|---------------|---------|
| 中間貸借対照表 計上額が取得原価を 超えるもの | 株式 | - | - | - |
| | 債券 | - | - | - |
| | その他 | 10,113 | 7,534 | 2,578 |
| | 小計 | 10,113 | 7,534 | 2,578 |
| 中間貸借対照表 計上額が取得原価を 超えないもの | 株式 | - | - | - |
| | 債券 | - | - | - |
| | その他 | 3,993 | 4,349 | 355 |
| | 小計 | 3,993 | 4,349 | 355 |
| 合計 | | 14,106 | 11,883 | 2,222 |

（注）「その他」には、中間貸借対照表の「金銭の信託」（中間貸借対照表計上額1,999百万円、取得価額2,000百万円）を含めております。

（資産除去債務関係）

資産除去債務のうち中間貸借対照表に計上しているもの

当該資産除去債務の総額の増減

第40期中間会計期間

（自 2024年4月1日

至 2024年9月30日）

| | |
|----------------|----------|
| 期首残高 | 1,428百万円 |
| 有形固定資産の取得に伴う増加 | - |
| 時の経過による調整額 | 7百万円 |
| 中間期末残高 | 1,436百万円 |

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

収益及び契約から生じるキャッシュ・フローの性質、金額、時期及び不確実性に影響を及ぼす主要な要因に基づく区分に当該収益を分解した情報については、重要性が乏しいため記載を省略しております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

第40期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第40期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

（1）営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

（2）有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

1株当たり純資産額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 第40期中間会計期間 (2024年9月30日現在) | |
|--------------------------------------|-------------|
| 1株当たり純資産額 (算定上の基礎) | 262,445.12円 |
| 純資産の部の合計額（百万円） | 55,528 |
| 普通株式に係る中間期末の純資産額（百万円） | 55,528 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた 中間期末の普通株式の数（株） | 211,581 |

1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 第40期中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | |
|---|------------|
| 1株当たり中間純利益金額 (算定上の基礎) | 25,633.62円 |
| 中間純利益金額（百万円） | 5,423 |
| 普通株主に帰属しない金額（百万円） | - |
| 普通株式に係る中間純利益金額（百万円） | 5,423 |
| 普通株式の期中平均株式数（株） | 211,581 |

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

4 【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)。

運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)。

通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等(委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。)または子法人等(委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。)と有価証券の売買その他の取引または店頭デリバティブ取引を行うこと。

委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額もしくは市場の状況に照らして不必要的取引を行うことを内容とした運用を行うこと。

上記に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為

5 【その他】

定款の変更等

定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

訴訟事件その他重要事項

該当事項はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託会社

名称：三菱UFJ信託銀行株式会社

(再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

資本金の額：324,279百万円(2024年9月末現在)

事業の内容：銀行業務および信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

| 名称 | 資本金の額 (2024年9月末現在) | 事業の内容 |
|-----------------------|-----------------------|-------------------------------|
| 株式会社SBT証券 | 54,323 百万円 | 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。 |
| 楽天証券株式会社 | 19,495 百万円 | 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。 |
| 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 | 40,500 百万円 | 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。 |

2【関係業務の概要】

(1) 受託会社：ファンドの受託会社として、信託財産の保管・管理等を行います。

(2) 販売会社：ファンドの募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱い等を行います。

3【資本関係】

該当ありません。(2025年3月末現在)

(注)関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

第3【参考情報】

ファンドについては、当計算期間において以下の書類が提出されております。

| 提出年月日 | 提出書類 |
|-------------|---------------|
| 2024年12月 9日 | 有価証券届出書の訂正届出書 |
| 2024年12月 9日 | 有価証券報告書 |

独立監査人の監査報告書

2024年6月7日

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ
東京事務所

指定有限責任社員
業務執行
行社員 山田信之

指定有限責任社員
業務執行
行社員 田嶋大士

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJアセットマネジメント株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの第39期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱UFJアセットマネジメント株式会社の2024年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められている他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2025年5月14日

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
取締役会御中

PwC Japan有限責任監査法人
東京事務所
指定有限責任社員 公認会計士 久保 直毅
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 西郷 篤
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンドの2024年9月11日から2025年3月10日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱UFJスタイルセレクト・グロースファンドの2025年3月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三菱UFJアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

三菱UFJアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2025年5月14日

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
取締役会御中

PwC Japan有限責任監査法人
東京事務所
指定有限責任社員 公認会計士 久保 直毅
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 西郷 篤
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンドの2024年9月11日から2025年3月10日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱UFJスタイルセレクト・バリューファンドの2025年3月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三菱UFJアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

三菱UFJアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2025年5月14日

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
取締役会御中

PwC Japan有限責任監査法人
東京事務所
指定有限責任社員 公認会計士 久保 直毅
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 西郷 篤
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンドの2024年9月11日から2025年3月10日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱UFJスタイルセレクト・ブレンドファンドの2025年3月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三菱UFJアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

三菱UFJアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2025年5月14日

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
取締役会御中

PwC Japan有限責任監査法人
東京事務所
指定有限責任社員 公認会計士 久保 直毅
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 西郷 篤
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているBWマネーブールファンドの2024年9月11日から2025年3月10日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、BWマネーブールファンドの2025年3月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三菱UFJアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

三菱UFJアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2024年12月3日

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

取締役会御中

有限責任監査法人トーマツ
東京事務所

指定有限責任社員
行社員 業務執
公認会計士 鶴見将史

指定有限責任社員
行社員 業務執
公認会計士 田嶋大士

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJアセットマネジメント株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの第40期事業年度の中間会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJアセットマネジメント株式会社の2024年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。